

分二十九萬四千俵の納入を終了した。

には向はんとするものなりと確信する。

寧ろ貸付金の減少を見つゝあるもの多し、また他面物資統制上の必要資金増加し貸付金総額は前年に比し若干増加せりつゝある。

9、單位組合の系統機關利用状況
物資窮屈化は殆ど大部分が割當制度となつた爲、原則として系統機關に依存することとなり從來の系統運動は益々一環性を加へつゝあり。物資配給を迅速ならしめつゝあるが、單位組合の要望を満足せしむるに足る配給は望まれず之が爲單位組合は意外の苦心を嘗めつゝある。

本炭は二月十九日時を以て本炭配給統制規則施行細則實施され産業組合の一元集荷の方針確立されたるも山村産業組合の組織全からず遺憾乍ら未だ製炭業者は舊慣の中に拘束されつゝありと謂ども漸次理想的統制に向はんとしつゝある。

6、貯金増加並金利平準化運動
本縣産業組合は百億貯蓄運動に参加して其の割當額七百萬圓増加を目標とした既に十二月末に於て九百九十萬圓を増加して三千三百七十萬圓に達し成績顯著なるものがある之に關聯して金利の平準化は屢々論議せられ且實行に移されて現在は目標年三分七厘以下例外年四分以下を目指して殆ど實行を爲し國債消化の圓滑化を圖りつゝある。

8、餘裕金の増大
貯金は近年順に増加し一方貸付金は寧ろ反對的現象を示し且つ他の事業資金も亦制約を受けつゝある爲勢ひ餘裕金は増大せざるを得ない状態にして前年に比し殆ど二倍の數字を示し餘裕金の運用は産業組合界の重大なる關心事となりつゝある 而して之が増加割合を見るに有價證券第一にして二倍強なるは國債所有の増加と餘裕金運用の傾向を示

肥料は割當制度實施と共に強力に生産者團體たる産業組合一元配給を主張しつゝありたるも春肥は四割六分に過ぎず適正配給の實を完全に發揮し得ざるは最も遺憾とするところなり然れども業者の配給実績より見るも當然一元配給

7、貸付金の増減
通貨の膨脹は漸次地方にも現はれ貸付金の回収は良好を示し、一面新規貸出は鈍化し

3、都市産業組合運動並其の經營狀態
A 市街地信用組合
市街地信用組合に於ける貯

蓄増加も亦著しきものありて依然縣内信用組合の主要部分を占め金利は年三分六厘を標準に統一され極めて統制ある活動をつづけつゝある。而して市街地信用組合として最も中心的問題は餘裕金運用の問題にして經濟界並金融界の動向と相俟つて相當慎重を期す要がある。

1、情勢の變化に伴ふ組合活動並經營上に及ぼした諸障害
物資の不足は割當配給となり割當配給は實績主義となり産業組合の如き發展過程を常に辿りつゝあるものは官僚統制に依つて制肘せられ一面巷間の閑取引は取締徹底を缺きしかも産業組合は之等階段に依つて流通しつゝある物資獲得の方途なく之等が原因して組合員を納得せしむるに足る配給を爲し得ず組合員の物資供給上に於ける困迷は深刻にして之が生産擴充、生活安定に及ぼす影響甚大なるものあり、從て産業組合の粒々辛苦の結晶たる組合員の統制力は脆弱となり經營にも大なる障害となり協同運動、協 精神の根柢を衝かんとしつゝあるは注視すべき事態なりと云ふべきである。

2、今後の活動方針に對する意見
一、昭和十四年度産業組合運動の概観
産業組合は克く公益と協同の本質に則り物資の配給に當つては、公定價格に依る圓滑適正なる配給をなし、組合員の經濟生活の確保に努むると共に配給諸機構の整備を主張しつゝ不正取引の根柢に努力したのである。

二、昭十四年度産業組合運動の概観
産業組合は克く公益と協同の本質に則り物資の配給に當つては、公定價格に依る圓滑適正なる配給をなし、組合員の經濟生活の確保に努むると共に配給諸機構の整備を主張しつゝ不正取引の根柢に努力したのである。

B、市街地購買組合

物資配給不圓滑は直接經營に重大なる影響を與へた如く今後の經營に關しては何等かの助長策を痛感される。

四、

物資配給の鍵は監督官廳にあるを以て其の方針は物資配給を左右するものが多い、然るに現在産業組合の合理性を充分認識しつゝあるに不拘統制經濟運行上に於ける革新性少なく極めて現狀維持的となつてゐる。商工業者團體の反産運動は其

經濟 (農業) 産業組合情勢

五、産業組合活動に對する批判

其の他自轉車業者の産業組合配給品の修理拒否運動、農機具配給の反對運動其の他統制經濟下の凡有物資配給に多かれ少かれ業者が其の統制に即應し得ざる悔みを訴へられそれが外面的には反産運動となつて現はれるのである。

2、今後の活動方針に對する意見

尙縣に於ては本年より物資配給の計畫的調整を圓滑ならしむるため各課の資材關係を統合する經濟統制課を新設し遺憾なき體制の下に之が運用に當つてゐる。

左に十四年度の産業組合活動の主要事項を二期に分割して略述せんとす。

第一期即ち十四年一月以降九・一八價格停止令に至る期間の諸問題を觀るに、

第一期

(一)資材問題

イ、釘針金、鐵線

線材は十四年六月以降農漁山村の逼迫と、配給の偏在を是正するため地方配給協議會より配給するものゝ中、一定量が農水産用として特定分離され其他共同出荷々造用、共同施設事業用は全購聯、全漁聯が大口需要者として、中央配給協議會より

一括配給を受くべき「農林水産用釘針金、鐵線配給統制要項」の公布を見たのである、本縣に於ては特に農林水産用小口需要を産業組合をして配給せしむる事となり左記統制要項の制定を見たことは特筆される。

岩手縣農林水産用釘、針金、鐵線配給統制要項

一、別記團體及び其の所屬團體の需要量は大口需要として中央釘、針金、鐵線配給協議會より配給す。

二、別記團體は縣を經由して其の所屬團體の需要量を中央釘針金、鐵線配給協議會に申込むこと。

三、別記團體及び其の所屬團體の需要以外のもの即ち小口需要用、農水産業用として割當を受けたるものに付ては、縣保有及び一般配給の二途に

分ち本要綱により之を配給す
四、一般配給量の決定を見たる場合縣は、經濟更生委員會資材配給統制部の審議を経て市町村別割當配給計畫を決し、同時に各市町村長に對し購入票(様式第一號及第二號)を發給す。

五、前項の割當通知を受けたる場合、市町村長を速かに經濟更生委員會に對し適正なる配給の方途に關し諮問し、同委員會の審議を経たる上、管内配給計畫を樹立すべし。

前項に於て決定せる計畫に基き産業組合をして配給せしむるため、市町村長は縣の發給に係る購入票の②を産業組合に回付すべし但し、地方の實情より見て止むを得ざる場合は漁業組合をして配給せしむるため漁業組合に回付する

ことを得。

六、農林水産業用、釘、針金、鐵線の供給を圓滑ならしむるため、縣購買販賣組合聯合會(以下單に聯合會と稱す)をして、地方間屋商業組合員の、入荷數量の内より、縣の指定する、割合により一般配給量に相當する現物を引受けしめ之を市町村長より回付せられたる購入票②を引替に聯合會同出張所、又は聯合會の指定する倉庫に於て市町村産業組合に配給せしむ。

前項但書の場合に於ては、聯合會は漁業組合に對し、現物入手の斡旋をなすべきものとす。

七、農林水産業に關する特殊需要に應ずるため、左の場合縣保有量より配給す。
(一)豫め計畫し得ざる突發

的なる必要

(一) 増産計畫達成上必要なる助成事業に對する必要

(二) 農林水産物増産上直接間接に必要な補助的施設の必要

八、前項縣保有より配給を受けんとするものは別記様式(様式第五號)により申請書を提出し購入票の(様式第四號及第五號)の發給を受くべし

九、市町村産業組合は毎月、日迄に前月中の配給実績を市町
長及び聯合會會長報告すべし
市町 及び聯合會會長は各期末後十日以内に前期分配給実績を縣に提出すべし

石油

全國農 漁村の石油の逼迫、都市への流出は愈々甚大となり政府は農林水産用燈油、輕油の配給統制要綱を公布して農林水産用を特定して他用途への流出を防止したのであるが、需要者團體を無視して中央卸より小賣

這一貫して營利業者に配給する方法を探つた結果配給供出量は例年に比して充分なるにも拘らず依然として他用途への流用が盛んに行はれたのである。

此間産業組合は需要者一元配給の主張を堅持して全國的運動に参加協力して來たのであるが結局農林水産用一元配給の主張は葬られ僅かに実績に依つて配給する事となつたのである。

隨つて本縣も業者、産組の二系統に依り配給する事となつたのであるが他方面への流出配給の不圓滑、實情しみが行はれた、之がため縣下農漁山村は全く困窮し松根等を石油代用として労働に従事する等の事態を現出したのである、之等窮状を打開すべしとの輿論は漸次縣下を捲ひ

廣く農漁山村より需要者自ら縣廳等を訪問、配給を陳情する等問題愈々窮迫の現狀に鑑み遂に縣は配給機構の改革を圖り農林水産用は部落團體の共同購入と

して産業組合若しくは漁業組合により一括配給する方針を決定するに至つた。

第二期

(一) 農山漁民同盟の結成

伍堂卓雄氏の農林行政は石油問題を始めとして各種生産必需資材に互り全く需要者團體を無視する政策の實施により全國農山漁村のゴウゴウたる非難として現はれ聖戰下生産力の維持増進の重大任務を擔當する農山漁村は一丸となり、戦時農林政策の確保を期すべしとの輿論は澎湃として湧き上り遂に農漁山村同盟の全國的設置を見たのであるが、本縣に於ける結成の端緒は十三年九月廿日開催の縣下農漁山村團體緊急協議會に之を觀るのである。

即ち縣農會、縣漁聯、縣水産會、縣農産協、産青聯、縣聯合會の五農林團體は期せずして伍堂農政に對する不滿の意を積極的に表明し急據盛岡市縣公會堂に

幹部一千名を招集し

一、農林水産用必需資材確保

ニ關スル件

二、専任農相設置ニ關スル件
三、農山漁村問題解決ノ爲恒久的共同機關設置ニ關スル件

について協議を遂げ夫々決議を擧げて之が解決に邁進し、共同機關の設置は萬場一致可決され速かに結成するよう五團體に一任越えて十月十六日縣購買聯に五團體代表者會議が開かれ、岩手縣農漁山村團體聯盟の結成が爲され、力強い活動の火蓋が切られたのである。

戦時農林漁業政策の確立と之が實現を圖るため前記五團體を以て構成し、事務所を縣農會に置き特に専任農林大臣の設置、主要農林水産物の増産達成、部落團體の活動強化に依る努力の計畫的調整と生産物並必需物資の一元統制の確立を目指し、理事長に縣農會會長、各關係團體

長を理事として萬全の活動體形は整備され、以來問題發生の都度農山漁村連帯の運動として問題を採りあげ強力なる全體運動を展開し來つたのである。後段示すが如く魚粕移出禁止並協定價格の設定に對する運動は本聯盟に於て果敢なる活動をなし遂に之が實現を見たる等各方面に互つて活動を續け十一月二十九日に開催された團體聯盟理事長會議に於ては農林水産用生産必需資材對策並に食糧問題に對する態度を左の如く正式に決定した。

尙資材問題等に關する全國的運動については其の都度代表者を上京せしめて運動に當つてゐる。

(2) 産業組合課税問題
産業組合に對する課税は公益と協同の本質を無視し、組合經營を危殆に導くものとして主税局試案の發表以來、絶對反對の態度を堅持し中央諸機關との密

接なる連絡協調を圖り、常時産業組合を動員して、反對運動を繼續して來たが十二月七日、農林省、大藏省妥協案成立に當り直ちに「産業組合課税妥協案反對」の態度を決定したが、尙々反對運動強化の必要に迫られ急據卅九名の委員を選出、課税對策委員會を設置し、十二月十五日第一回委員會を招集して今後の具體的運動方針を協議し、十五名の常任委員を決定、必要に應じて上京陳情に當る外縣町村會と充分の連絡の下に反對運動を強化すること、縣選出代議士には各郡より依頼狀を發送すること、尙産組關係縣會議員の協力を得て、開會中の本會議に反對意見書を提出すること、なし委員會の要項を左の通り決定したのである。

を以て産業組合課税對策委員會を設置する事
二、對策委員會は岩手支會内に設置し、中央機關と密接なる連絡を圖り隨時委員會を開催の上、目的達成のため強力なる運動を爲すものとす
三、委員は郡市より二名以上選出すること
四、委員中より拾名以上の常任委員を置き必要に應じ適宜交替の方法を講ずること
五、委員會に關する事務は岩手支會に於て取扱ふこと
尙縣會意見書の提出は産組關係議員の絶對的支持を得、遂に最終本會議に於て全員を以て左記意見の可決を見たのである。
(意見書省略)
以上を通じて果敢なる反對運動を繼續し代議士並課税委員に對し縣下組合より發送した依頼電報は拾數回に及ぶ外中央の指令に應じて逸早く委員を上京せしむる等周到なる用意と對策の

の調整を圖り、政府割當米は主として業者が之に當り、買上米は産業組合に依て集荷すべく決定を見たが以來産業組合は數次に互る組合長會議郡別協議會等を開催して趣旨の徹底に努力した結果割當一六八、〇〇〇石を十四年一月より二月末迄に出荷の完了を見たことは集荷機關としての適確性を語るものとして注目に價する。

二、農村産業組合運動並其組合經營狀態
前記昭和十四年度産業組合運動の一般的狀況に略述せる如く配給機構の不備に基く缺陷は各物資に互つて發生し爲に農業生産力維持増進すら不可能ならしめんとする状態を示したのである。茲に於て産業組合は戦時農林政策の 本的革新の急務を強調し農林諸團體の密接なる連絡提携は前記に記述せる如く農山漁村團體聯盟の結成となり之が輿論化を促進すると同時に他方

諸物資の配給は公價を嚴守して適正配給を行つたのであるが配給數量は過去の取扱實績に依るため屢に實施した未加入解消運動に依る膨大なる組合員に逼る協同組織の恩恵を與へ得なかつた事實並に品不足に基く開取引と、配給の偏在等に依り全面的に組合員の經濟生活を確保し得ざる状態に置かれたるは甚だ遺憾とする所である。

實行組合は産業組合との有機的事業の連絡を圖りつゝ、部落協同化の道を追進しつつある現状であつて支會の積極的指導と相俟つて今後の組織活動は期待すべきものがある。

經濟 (農業)

産業組合情勢

2、公定價格制度並協定價格

硫 安	四、〇〇	三、八六
石 灰	一、九二	一、八六
流 石	六、八七	七、〇〇
大 豆	二、五五	二、六六
過 磷	一、八三	二、一〇
支 米	三、一六	三、六〇
一 月	三、八六	三、八六
十 月	一、九二	一、九二
十 一 月	七、〇〇	七、〇〇
十 二 月	二、六六	二、六六
十 三 年	三、一六	三、一六
十 四 年	三、六〇	三、六〇

斯る困亂の中にあつて、所謂九・一八價格停止令の實施を見たのであるが、政府の日暮的物價政策は本統制令に於ても數多くの遺憾の現象を見たのである。即ち有機質肥料につき之を觀るとき魚粕の九・一八價格十二圓八十錢は開取引に依り二十圓を突破し、縣内の需要を外に各縣に流出した。更に大豆粕は七圓五十錢バラ粕は十二圓を以て

取引される等全く開相場の蹂躪激しく、此間公益と協同の精神に則り政府の價格政策に協力する産業組合は殆んど現物を入手し得ざる状態に置かれたのである。産業組合は此の實狀を默視し得ず速かに適正價格を設定するよう、凡ゆる機會を捉へて縣に陳情運動を續けた結果、魚粕は十二月廿二日に至り、遂に縣令に依り縣外移出を禁止し、

時に一等一七圓〇五錢、二等一六圓九〇錢、三等一六圓七五錢の指示價格を發表したのである

大豆粕は二月廿九日四圓四〇錢、バラ粕は本年四月に至り六圓九四錢に夫々價格の決定を見た。以上を一般的に觀るに昨年度下半期は生産必需諸物資の相場場を防止すべき公定價格乃至は協定價格の決定が遷延した結果縣下農業界に與へた不安動搖は甚大であり、更に産業組合の經營に齎らした影響は蓋し鮮少なからざるものあるを痛感するものである。

あるは甚だ遺憾とする所である。綿製品は十三年十一月第一回の割當ある農山漁村向として

れつゝあるもの相當多く需要者の組織を無視せる自由配給制度の不適正を證左するものである

△肥料

△銀材

十三年 一月一七月

農林水産用釘、針金、鐵線の産業組合獲得割合は十三年四、六月の六割、七、九月もの五割十、十二月もの四割であるが本稿第一産業組合運動の概觀中資料關係に記述せる如く、縣に於ては業者第一主義の配給政策を廢し、需要者團體たる産業組合の適正配給を認め之が要綱の設定を見たことは本縣の實狀に照らし、特に注目される所である。

商組 五八%

△地下足袋

産組 四二%

地下足袋は十四年十月以降共販機關たる岩手縣地下足袋卸商業組合に依て配給されてゐるが本年より一般用から特定分離された農林水産用は産業組合に依て配給せしめらるゝ様運動せるも實現を見ず、商人を以て全縣下に組織する地下足袋配給所を通じて配給されてゐる状態である。

商組 五八%

△農具

産組 四二%

産業組合に得て確保した農機具は十四年一月より三月分は五割、四月は四割、七月、九月は五割であるが町村長に交附せられた切符の中、業者に依る配給分は速かに現物化されず、町村長或ひは需要者の手に死蔵され、切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

商組 五八%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

産組 四二%

切符制度の實施せられる物資に付て觀るに

十三年度を通じて捲き起された物資需給の破極的困亂は配給統制機構の矛盾、即ち農漁山村の合理的配給機關たる協同組織を無視し、利潤追求第一主義の偏重政策を實施した結果に依るものであり、不圓滑にして適正ならざる狀況は各項に略述し

ある。關西、中國、四國、九州の等旱害と集荷配給機構の缺陷は全國的に異狀な混亂を捲き起し關取引に依る買廻りの爲本縣の米穀事情も容易ならざる需給状態を現出したのである。

茲に於て縣内需給並移出の調整に迫られ逸早く他縣に卒先して昨年十一月岩手縣米穀配給協議會を設置し、之が統制に當つたのである。即ち

一、米穀の集荷配給の統制は凡て岩手縣米穀配給協議會に於て之をなすこと。

4、非統制物資の偏在、價格騰貴

本稿にあつては特記すべき事項はないが、パルプ不足のため古新聞紙が暴騰を來し或は農村の要求頻りなる紙は殆んど品物なく、尙雜詰野菜其他食料品は九・一八價格を遙かに突破して昂騰を續けてゐる状態であつて速かに統制物資以外に對しても適正價格或は協定價格を制定して開相場の徹底的取締をなし、國民の戦時經濟生活を安固ならしむる要あるを痛感するものである。

二、市町村に於ては農會が集荷斡旋に當り、産業組合及び商人系統は配給に當ること。

三、略

6、米、木炭等の一元的集荷運動、肥料飼料等の一元的配給運動

經 濟 (農業) 産業組合情勢

五五三

毎に當局に對し産業組合に依る集荷配給一元化の陳情運動を續けてゐるが、未だ實現、具體化に至らない。然し部分的であるが、政府買上米の供出は産組に依て一元的に統制されてゐる。尙本縣の木炭生産額は一、三〇〇萬俵で其中八割を縣外に移出し、殘二割を縣内に於て消費する實狀であつたが、事變の勃發以來消費著しく増加した結果全國的に需給の圓滑を缺き、本縣への注文が殺到し、此間思惑取引が行はれたため異狀なる移出増加を示し、遂に縣内消費に不足を來す現狀に當面したのである。隨て米穀と同様、縣内の需給の確保移出の調整に迫られ、

舊臘各關係機關を以て岩手縣木炭配給協議會を設置して木炭界混亂の統制を圖りつゝあつたのである。本縣産業組合の木炭統制の現状は産額一、三〇〇萬俵の中九十二萬俵中購販聯取取扱量は六十萬俵であつて其地位極めて低く移出の大半は凡て業者に依り統制され、木炭生産者は業者より生産資金、經濟資金の供給を受け現物を以て返る濟す關係から從來全く其隸屬下に置かれてをり、統制前迄は自己の生産木炭價が如何に評價決定せられ、舊債に振向けられ、負債残が幾何なるかも詳知せざる者少なからざる状態であつた。

産業組合は此の現状を打開するため産地營林署と緊密なる連絡の下に木炭農事實行組合の設立を通じて集荷の統制に當つてゐるが、本年に至り産業組合員の生産する木炭は原則的に凡て産業組合に集荷統制すべき「木炭統制省令」の公布に依り長らく山村資本の壓迫下に呻吟してゐた生産者を解放し山村更生を目指して邁進すべく縣統制規則に依り全縣下産業組合は異狀な決意と緊張を以て木炭は統一元の實現に猛進してゐる。更に肥料關係を觀るに歐洲戰亂勃發以來加里曼の輸入が激減し硫酸石灰窒素、過磷酸石灰等は電力石炭、其他原料の不足に基く生

産減に依り著しく供給を減少し農業生産力の擴充を危殆に陥れつゝある現状である。

尙配給の状態を觀るに産業組合に於ては配給すべき組合員が確定されてをり、適正な配給がなされたが、一方商人の配給を受けたる農民中指定商人が遠隔の地にある場合は運賃其他の關係により必要金額以外の失費をなし、或は現金引渡等の爲、資金の用意なき農民は購入に多大の不便を感じる等諸般の點に不利不便を見たのである。茲に於て産業組合は配給の適正を圖るため商人割當數量を一括購入し無手数料を以て末端の適正配給

を爲さんとしたのであるが、商人の大多數は之に應ぜず遂に生産計畫に合致せる計畫的配給を實現し得なかつた事を遺憾とする。

尙飼料關係を觀るに畜牛、養豚、養鶏方面の飼料は十一年度に於て非常な逼迫を告げ一時六十萬羽を數へた鶏は五十萬羽以下となり此儘に放置するとせば有畜農業縣としての本縣の農業政策は重大な危機に當面するものと懸念される。飼料の入手難は捨値を以て種々手離す傾向にあり憂慮される。

7、貯蓄の増加並金利平準化

運動

本縣の昨年度貯蓄増加目標は三五〇萬圓であり之が達成のため縣支會、聯合會を一丸とする貯蓄報國運動本部を結成し郡別並町村協議會等の開催に當り、本部より督勵員を派遣し組合員の指導督勵に努力した結果十四年十二月に於て増加額五、六〇八、〇〇〇圓總額一七、〇五六、〇〇〇圓に及び目標額を二、一〇〇、〇〇〇圓を突破するの好成績を収めたのである、更に金利の平準化に付ては一昨年末盛岡市に本支店を有する銀行並市街地信用組合、信用組合聯合會を以て金融懇談會を設置して極力金利の低下に努力しており一方町村産業組合も金融懇談會の金利申合事項に随ひ漸次引下を爲すよう指導督勵を興へてゐる尙國債消化に就ては十四年度貯蓄増加目標の割五分 二五、〇〇〇圓を消化すべく信聯、市街地信用組合に目標額を決定し

經濟 (農業)

産業組合情勢

8、貸付金の停頓
前記の如く貯蓄獎勵に伴ふ貯金の累進的増加は目覚しきものがあり、此原因は時局認識の徹底と農産物等の値上り等に依るものである。隨て貯金の躍進的増大の反面十四年度産組貸付は十三年度に比較して僅かに三、九〇四圓の増加を示したのみであつて漸次激減の傾向を辿つてゐる。

9、餘裕金の増大
貯金の増加と貸付金の停頓とに依り漸次餘裕金の増加を見ても昨年度の餘裕金は一〇、〇五七、七一五圓で十三年度末に比較して三、五二七、三五八圓を増加しており之が運用に就ては積極的に組合事業の擴充を爲すよう指導督勵を興へてゐる。

10、組合役職員の應召、他産業への轉出状況
事業發生以來、縣下産業組合より應召した役職員は〇〇〇名に上つており、他方待遇の劣悪に伴ひ、軍需産業大陸への轉出等を含すれば二百數十名の多きに及び、組合の人的資源が極度に不足を告げてゐる實狀である、本縣産業組合職員の平均俸給は廿二圓程度であり、就職以來日夜勤勞的活動を續けてゐるが、停止することなき物價高は極度に經濟生活を脅してゐる現狀であつて、待遇の改善は喫緊の要事と認めらるゝのである。

五五五

11、單位組合の系統機關利用状況
十四年度末における各種事業の系統機關利用率を各種事業につき之を觀るに預金七、四三二、三四四圓、借入金四、九五一、六六圓の中九割餘は信聯を利用

五五五

12、農村勞働力の不足、賃銀昂騰、小作料の漸騰傾向、土地價格の昂騰
事業以來、應召並他産業への轉出等によつて勞働力の不足は深刻化した、十四年八月末現在の勞働人員は三六〇、〇〇〇人で之を事業前に比較すると一、〇〇〇〇〇人、三割の減少を示してゐる。

隨て之が對策として共同作業の徹底的獎勵と潜在勞力の活用(老人、兒童)農村青年層の徹底的勞力動員、學生勞力の活用を圖り部落を根幹とする計畫的農業經營等が實踐に移さるべきである。更に賃銀の昂騰は事業前に比較すると、

十三年度 十四年度

養蠶 男 七六 女 七三
稻刈 六六 七〇
麥蒔 六三 六五

右の如く六割の昂騰を示して
ある、小作料も漸騰の傾向を見
たが、十四年度に於ては特記す
るに至らない。尙土地は六、七
割の昂騰を示し、地方により十
割に及び暴騰を見てゐる状態
である。

第三 都市産業組合運動並其經營状態

A 市街地信用組合
本縣市街地信用組合の十四年
十二月末貯金高は三七〇萬で昨
年末に比較し九〇萬圓の激増を
示してゐる、これに對し貸出金
は十三年度に比較して僅かに廿
三萬圓を増加せるのみであつて
餘裕金の増大となり、之が運用
の大部分は有價證券に投資され
てゐる。
金利の引下については縣金融

懇談會の申合により、極力引下
に努め十一月の懇談會に於て

定期 三分五厘以下
定額 三分以下
普通 三分以下
小口當座 日歩五厘以下
當座 同 二厘以下
に申合實行してゐる。

B 市街地購買組合
本縣の市街地購買組合は、
消費購買一組合で事務以、物資
の統制に伴ひ、之が仕入に相當
の困難を來してゐるが、系統機
と密接なる連絡を保ちつ、組合
員の經濟生活の確保に全力を舉
げてゐる。經營の狀態は十四年
末組合員五四二人で事務發生以
來六〇名を増加し、購品品の賣
却は十二年度七八、〇〇〇圓で
あつたが、十四年度末に至り九
〇、〇〇〇圓に累進し來り、經
濟統制下に於ける組合經營者の
苦心が現はれ、事務發生以來現
在迄の同組合の状態は非常な努
力と責任とに依り幸ひ順調な成
績を見てゐるが、今後益々進展

強化する經濟體制に對處するは
相當の困難を豫想せらるゝので
ある。

四、反産運動
最近に於ける反産運動の形態
は、過去に觀るが如き露骨なる
對外的悪宣傳の傾向を脱し、物
資の配給、生産物の統制等を通
じて直接生産者、消費者を對象
とする運動に轉化しつゝある状
態である、業者の統制ある團體
的反産運動は昨年度に於ては特
記すべき事項を認めないが統制
經濟の強化策として政府或は民
間業者に依り販賣國策會社の設
立されんとする氣運に乗じ、本
縣に於ても左の如き事態の發生
を見たことは遺憾である即ち本
縣米産地たる江刺郡に於て郡農
會職員が町村農會と提携し農家
組合を株主とし農産社と稱する
組合組織を以て郡下米穀の販賣
統制を圖らんとせるもので之等
は健全に發達し來れる農村の協
同組織を破壊するものであると

五、産業組合活動に對する批判
並今後の方針
情勢の變化に伴ふ組合活動並
經營上に及ぼしたる諸障害は前
記各項に略述せる所であるが、
特に物資の全面的不足と公定價
格の設定は愈々組合經營に容易
ならざる影響を與へてゐるが、
他方諸物資の確保については、
特に萬遺憾なき體制の整備を圖
るべきであり、その有力なる手
段として産業組合の政治活動を
旺盛ならしむべきであらう。從
來は所謂上部的な政治活動に終
始したのであるが、今後は下か
らの運動として農漁山村民の要
求が政治的に結果與論化せらる
べく指導すべきであらう。尙今
後の組合經營は部落協同體たる
農事實行組合を根幹とする經營
組織に發展的轉換を急ぐべきで
あり、之が具體的要件として農
事實行組合が從來の産業組合法

團内より更に全面的に部落團體
の法人化に擴大改變されねばな
らぬ、而して生産、配給、統制
に亘る各部を整備して、産業
組合に對しては、從來の任意加
入から強制加入制度となすべき
である、他方農會に對しても加
入の途を開き、産組、農會、の
指導統制分野を明確にして綜合
的な體制を整備すべきである、
斯くして産業組合は經營の合理
化を圖ると共に其目標たる部落
協同化の促進がなされるべきで
ある。(岩手支會)

山形

一、昭和十四年度産業組合運動の概観
一、資材問題
資材の配給については品不足
と配給の不圓滑の爲め各組合共
常に苦衷を訴へ居る状況なるを
以て之が獲得の爲運動を繼續し
つゝある。
二、課税問題

經濟 (農業) 産業組合情勢

課税問題に關しては中央部と
十分な連絡を保ち且つ地方に於
ては兩聯合會等と協力して課税
反對を行ひ或は關係方面に反對
陳情運動を行つた本年三月八日
に縣下産業組合役員大會を開催
し産組課税反對を決議しその旨
關係當局又は縣選出貴衆兩議員
に打電しその他組合關係者とし
て本縣選出の貴衆兩議員に對し
書面又は上京了解を求めしめた
三、農山漁民同盟の結成
本縣に於ては昭和十四年十月
十日産業團體會合し山形縣農林
水産團體同盟を組織し事務所を
縣農會に設置し活動した。

昭和三十四年度本縣産米の實收
高二百三十六萬石以上にして
米の供出割當状況は左の如し
六十八萬七千石

協力を保ちつゝあり、更に農山
漁村同盟を組織し、層此の間の
連絡協調に努めつゝある。
以上の情勢により第一期第二
期とも大差ない。
二、農村産業組合運動並其の經營状態
一、組合員増加、部落の組織化
其の他組織活動
一般に比し組合關係は物資の
配給圓滑の爲め組合加入者續出
し自然増加の状況にある。
部落の組織化に付ては機會あ
る毎に獎勵を加へつゝあり特に
八月中は産組教育部主任者協議
會を、日間開催し農事實行組合
(若は其他部落協同組織)の組織
促進を計つた爲益々増加の傾向
にある。
専ら農事改良、増産計畫、肥
料配合等の外共同炊事、託兒所
の設置、災害共濟施設、農機具
協同利用等に活動しつゝある。
二、公定價格制度並協定價格制
度

四、物價問題
一、一般に關取引盛なりと稱せ
らるゝも、産業組合の取引は常
に公定價格を遵守し關取引の
如き不祥事なし。
二、貯蓄獎勵、消費節約、國債
消化等により物價高騰を抑制
する方法を講じつゝある。
米の供出問題

商人
政府買上割當額 三十六萬四千石
政府以外の供出割當 一萬六千石
計 三十八萬石
政府買上割當額 三十萬石
政府以外の供出割當 十萬七千石
計 四十萬七千石
米の供出に關しては縣購販聯
に於て政府買上並他府縣供出割
當米に付て夫々各組合別に出荷
割當を爲し商業組合と買付價格
を協定し兩者間の摩擦を避け圓
滑なる遂行に努めた。
五、團體間の協力
各種産業團體間の連絡極めて
良好にして資材の獲得配給、供
出等増産計畫の遂行等には常に

公定價格制度のある物に付ては縣の公定價格を定め之によらしめ又公定價格制度のない物に付ては協定價格を定め知事の認可を得させる。

3、物資割當制度又は切符制度統制品に付ては何れも割當制度を實施し其の割當方法は各品目毎に異なる。

次に切符割を採用せるは肥料釘、針金、農器具等とす。

縣購、販輸に於て米の移出とリンク制によりたるもの左の如し。

穀 一五〇噸
 鶏糞 八〇噸
 大豆 一二二噸
 米 一一二噸
 糠 二九〇噸

嶺リンク先は大阪、神戸、愛知、神奈川、群馬等である。

(イ) 肥料
 肥料が統制となり割當せられ

たるもの左の如し。

昭和十四年度秋肥の配給状況

硫酸アンモニア 一、四〇〇噸
 石炭 窒素 六、八三四噸
 過磷酸石灰 一、四〇〇噸
 加里 鹽 三、六七〇噸

右の數量中産業組合に對する割當は五六・四%、商業組合に對する割當四三・六%である。

昭和十五年(自一月至七月)春肥の配給状況。

硫酸アンモニア 一五、八七〇噸
 石炭 窒素 二、三三八噸
 過磷酸石灰 一九、〇七八噸
 加里 鹽 一、二四二噸

右の數量中産業組合に對する割當は四九・六%、商業組合に對する割當は五〇・四%である

以上は過去の実績と申請數量とを參照して定めた。

(ロ) 綿製品
 買上綿製品本縣の割當は左の通り。

種別	産業組合の取扱數量	商業組合の取扱數量	計
小巾モノ	一〇、七三四反	七、一五六反	一七、八九〇反
綿	四、四八二	二、九八八	七、四七〇
綿	九〇〇	六〇〇	一、五〇〇
織色木綿	六、二六	四、〇八四	一〇、二四〇
裏地木綿	一、五二八	一、〇二二	二、五五〇
石底地	三六	二四	六〇
晒及生木綿	一九、三九八	一一、九三三	三一、三三〇
綿	三、三三〇	二、三三〇	五、五五〇
綿	四、五二四	三、〇一六	七、五四〇
計	六六、五二四	三三、〇一六	九九、五四〇
廣巾モノ	ヤール 一、二七七	ヤール 七八四	ヤール 一九六一
雲	一八、二五五	一一、二六九	三〇、四二四
綾	五、七五三	三、八三三	九、五八七
粗	六八、五八	四四、七二六	一一三、三〇六
天	一一、八六一	七、九〇七	一九、七六八
細	一一、六六八	七、七〇九	一九、四七七
小倉	一三、八九三	八三、二六一	九六、一五三
綿	四四四	二九六	七四〇
コ	一、四三六	九五一	二、三三七
プロ	二四、〇六一	一、五七〇反	二五、六三六反
計	一一、四三六	一、五七〇反	一三、〇〇六反
尙工場嶺山向として本縣に割當てられたもの左の如し。			八二、五五三碼

産業組合に依らず商業組合其の他に依り配給せる分は切符制である。

4、非統制物資の偏在、價格騰貴

一般的には廣汎に失し不明なるも産業組合に在つてはその例なし。

5、闇取引の實情

産業組合には實例なし。

6、米、木炭等の一元的集荷運動、肥料等の一元的配給運動の概況並其の結果

産業組合に依る一元的集荷並配給運動は客年八月八日農漁村團體緊急時局大會を初め機會ある毎にその運動を行ひ其の貫徹に邁進しつゝある。

7、貯金増加並金利平準化運動。國民貯蓄運動の趣旨に則り極力奨励せる結果次の成績を擧ぐるに至つた。

昭和十三年十二月末現在貯金額(町村組合數二五〇)

一四、六四八、七四七圓

經濟 (農業)

産業組合情勢

同十四年十二月末現在貯金額

二二、一九〇、二二七圓

差引増加額

七、五四一、四八〇圓

金利平準化運動として昭和十三年十一月同十四年七月及同年十月産業組合長會議を開催し昭和十四年十二月一日より左記の通り實施することとした。

尙本金利は金融懇談會に於て他の金融機關と協定成りたる利率とす。

信用組合聯合會の貯金利率

年三分六厘以内とすること

二、信用組合の貯金利率

年三分五厘以内とすること

8、貸付金の減少

昭和十三年十二月末現在貸付高

一二、二五一、九八四圓

昭和十四年十二月末現在貸付高

一二、一五一、三八九圓

差引減 一〇〇、五九五圓

貸付金の減少は農産物の米、

9、餘裕金の増大

昭和十三年十二月末現在

五、七七九、九二二圓

昭和十四年十二月末現在

一一、二二七、八三四圓

差引増五、三四七、九一二圓

増加の原因は主として貯金の増加による。

10、組合役職員の應召他産業への轉出状況

本縣産業組合常務役職員中應召入替者〇〇名他産業への轉出せるもの相當多數なり。

11、單位組合の系統機關利用状況

信用組合聯合會

所屬組合數 二三九組合

貯金奨励、廉價騰貴及政府買上米等に依り組合員の財政好調から組合貯金増加し自然單位組合から信聯に貯金するもの多く

五五九

12、勞働力不足を緩和する爲め利用事業の發達を促し共同作業に進みつゝある。

勞力不足の爲賃銀は著く騰貴し土地價格は益々昂騰の傾向である。

尙本年は移動勞働班を組織し勞力の緩急を計り相當効果を收めた。

13、旱害なし。

14、其の他なし。
三、郷市産業組合運動並其の他經營狀態

A 本縣に於ける市街地信用組合は、組合あるも規模小さく組合の活動見るべきものなきも貯金は漸増組合員も増加の傾向にある。
B 本縣に於ける市街地購買組合は五組合にして内二組合は昭和十一年中に設立のものである。

組合活動狀況並經營に及ぼした變化等は農村組合の項目に述べた狀況と大差なし特に消費者に對する組織活動の促進狀況に付ては特記すべき事項なき廻り消費組合協働社にあつては古くより鶴岡消費組合婦人會を組織し會員四〇四、主なる事業は諸種の講習會開催、愛國貯蓄の奨勵に努めつゝある。

四、反産運動
顯著なるものなし。
五、産業組合活動に對する批判

並今後の方針

1、情勢の變化に伴ふ組合活動並經營上に及ぼした諸障害

肥料其の他農業用資材の品不足配給の不圓滑等により組合は其の獲得に専念し、又役職員中應召者多く事務處理上甚だ困難せるものがある。
2、今後の活動方針に關する意見。

産業組合精神たる協、化を益々強化し部落の組織化を計り肥料、飼料、生産資材等の配給は産業組合による一元化を計り農山漁村生産品は汎へて産業組合の一本立を以て販賣統制せしむること。(山形支會)

秋田

一、昭和十四年度産業組合運動の概観

○課税問題 大藏省主税局案の發表を見るや組合界に駭からざる衝撃を興へたが、中央の處置に信頼し動搖を見たるが

如きことはない。

○農山漁民同盟の結成、團體間の協力從來本縣に於ては農村關係各團體の連絡提携には間然するところがなかつたが全国的運動に順應し此の連絡を形象化し一段の緊密を加へた

二、農村産業組合運動並其の組合經營狀態
1、組合員の増加、部落の組織化、其の他組織活動
昭和十四年十二月末組合員數一五七、四〇五(前年同期に比し増四三八)、昭和十四年度區域農倉、醫療利用組合の改組により三、〇一七人の二重加入者の減少を見たるを以て實質上三、四五五人の増加を見た昭和十四年十二月末加入農事實行組合數四九二(前年同期に比し増七九)、農事實行組合數は申合組合をも合算すれば其の總數約八〇〇にして内産業組合に加入したものは六〇〇餘に過ぎないが、肥料其の他農林水産用必需資材の配

給、勞力不足の對策等其の活動分野は著しく擴張せられ、其の活動亦自主性を加へ全町村に互り實行組合網の完成を見たるも數ヶ町村を算するに至つた。
2、公定價格制度並協定價格制度
3、物資割當制度又は切符制度
4、非統制物質の偏在、價格騰貴

イ、農機具 主として動力用農機具の第一回公定價格制定せられたが、九、一八當時の市場價格より相當低價に決定せられたるを以て現品は市場に出廻らず製造業者は公定價格の制定なきものを造り出すに至つた。而して産業組合に於ては農機具はともかく、動力用農機具の獲得に當り業者より公定價格にて入手し得るものは殆んどなき現狀である。又購入に當つては需要申請に依る町村割當にて、需要者は切符を獲得するも前記の割取引

の横行に依り産業組合は現物の入手極めて困難なる爲組合員の信頼を保持し難く延いては經營上大なる支障を感ずる。石油 現在に於ては九、一八價格以外公定價格又は協定價格なし、而して全購聯より配給を受くる數量は絶對的に少なきも産業組合は聯合會より配給を受くる理由の爲、業者よりの入手極めて困難なる爲米の供出等に當つては尠からざる支障があつた。

燈油は町村役場より、機械用は農産物検査所(産業組合分は町村役場)より、夫々切符を發行せるは絶體量極めて少き場合の臨機措置として適當なるも業者は從來の特約店、小賣店の實績によるを以て必ずしも一町村一單位と限られなかつたので現品入手上多大の不利不便あり、適期使用上に重大なる障害をなした

ハ、地下足袋、ゴム靴、農業、

經濟(農業)

産業組合情勢

一、八六〇俵(總出荷數量の

カーバイト、セメント等生産資材及生活必需物資につき公定價格、協定價格制定せられたが、配給機構の改正せられたる限り産業組合に流るゝ資材は絶體に少きを以て、公正なる價格の維持には殆ど無力であり、經營上の苦痛より寧ろ現品の配給なき爲著るしき苦痛を感じつゝある實情である。

5、米、木炭等の一元的集荷運動、肥料等の一元的配給運動の概況並其の結果

イ、米については政府の政策に協力し、數次農倉の協議會を開催して供出促進のため種々の協議をなし、單俵移出の許可、政府指定倉庫の増加等を求め、又販購聯第二事務所職員(東京市池袋)を秋田市に長期出張せしめ事務の敏活を圖つた。

而して三月十五日迄九九

五四%を出荷した。前記の如く勞力不足、資材の關係等より出荷の促進を圖るため三月末日迄單俵移出を許可せられた結果生産者に有利となり(公定價格は二重包裝經費俵當三十錢を規定せられたが實際は四十錢乃至四十五錢を要す)出荷を促進したが、其の反面に各農倉は改装人夫の殆どが不要に歸したが之を解雇すれば再び雇傭すること困難なる爲之等への賃銀支拂は經營上甚しき困難を見てゐる。又既に出荷した數量は昭和十三年産米の縣販購聯取扱高に比し九萬九千五百五十九俵の増加を見たが、從來の平均賣の指導方針を一變して政府米其他の供出をなした結果保管料收支の激減したのも亦經營上看過し難き事項なりとする。

ロ、木炭 北海道産木炭移入途絶の結果需給關係著しく圓滑を缺いたので、縣に於て配給

統制要綱を制定せられたところ、木炭生産地の各産業組合は統制組合の事業を代行した而して右統制要綱の制定を見たのは既に降雪期に入つたので資金其の他從來の慣行等より一元的集荷に相當の支障があつたが之を契機として相當の進展を見た。

ハ、肥料十四年秋肥は産業組合七割五分、商人二割五分の割當であつたが、十五年春肥は産業組合六割五分五厘商人三割四分五厘と從來の實績以下に決定を見たのは遺憾に堪えざるところである。然し縣販購聯は農會其の他の協力の下に適期配給を確保する爲種々の困難なる事情を克服、其の獲得に努め、既に現品の入荷を見たところ、商人の入荷數量は未だ極めて少く施肥期を控へ不安なき能はざる狀況で産業組合の眞面目を示しつゝある。

二、飼料米穀等のリンク制による

り穀の移入を圖り、又は米の委託搗精による米糠の確保に努め、飼料問題の解決に努力したが、穀は開取引以外入手

- 昭和十四年度末貯金高 前年末に比し増
- 昭和十四年度末貸付金高 前年末に比し減
- 昭和十四年度末餘裕金 前年末に比し増

昭和十四年度に於ける本縣貯金増加目標は六千萬圓にして、産業組合は其の割の六百萬圓を目標として貯金増加を計畫したところ、農産物の豊作、價格騰貴、時局産業其の他に依る收支の増加は、精神運動と相俟て前記の如く目標の達成を見たが他面貸付金の減少著しく、餘裕金増加し、信用事業經營上金利の引下及餘裕金の運用は漸く本縣に於ても當面の課題となるに至つた。而して十四年に銀行、産業組合に依り構成せられたる

し難き情勢にて依然甚しき困難を見つゝある。

- 6、貯金並金利平準化運動
- 7、貸付金の減少
- 8、餘裕金の増大

昭和十四年度末貯金高 前年末に比し増
 昭和十四年度末貸付金高 前年末に比し減
 昭和十四年度末餘裕金 前年末に比し増

金融懇談會の申合に基き、信聯は乙種銀行と同様定期三分六厘とし、主要信用組合は三分八厘以上のものは二厘下と決定した

而して前記の金融情勢と相俟つて漸次金利の低下を見つゝある。

9、組合役職員の應召、他産業への轉出状況

産業組合に於ける待遇の劣悪は他産業への轉出を見、他面事業分量の増大は愈々事務の繁劇を加へつゝあるが、職員の補充困難の情勢にある。又應召役職

員は最近漸く一部の歸還を見てゐるが、補充は益々困難の状況にある。

10、單位組合の系統機關利用状況

昭和十四年度末に於ける信聯貯金の單位組合の預金に對する比率は六四%にして、前年末に比し六%の減少を見、信聯貸付金の單位組合借入金に對する比率は七〇%で前年末に比し七%の増加を示した。

單位組合の金利は前記の如く漸次低下しつゝあるが急激なる引下を爲し得ない爲め、依然相當の高利なるもの多く、貯金の預入先は之を他に求めんとするが如き傾向がないではないが、未だ特記すべき事項なし。

11、農村勞働力の不足はトラクタ、農具の導入を不可避ならしめ、トラクタの如きは既に二百餘臺の使用を見つゝあり、此處に産業組合の新たな事業分野の展開

を見つゝある。

三、都市産業組合運動並其の經營狀態

都市に於ける産業組合は貯金著しく増加し、それに伴ひ餘裕金増大の情勢にして、之が資金運用に困難しつゝある。其の他特記すべき事項なし。

四、反産運動 特記すべき事項なし。(秋田支會)

青森

産業組合法發布直後設立を見た有限責任青森信用組合(大正十年解散)を嚆矢とし漸次産業組合の増加を觀大正三年に至り其の數三一九に達し一時的進展をとげた。是れ即ち所謂過渡的現象であつた。蓋し本縣農村の大部分は米穀生産の單一農業經營を行ひ且他地方に比し著しく資本主義化の過程より遅れて居る現實は本縣農村に於て産業組合の組織普及の必要性を痛感せ

しめたのである。大正十一年以後の一般經濟界は戦後好況の退潮期にあたり他地方は各々その餘波を受け全國一般的に産業組合數が激減したが本縣は合併、解散等不振組合の整理を斷行し昭和五年に於てはその數一九七に減じた。

此の時期に於ける組合崩壞の過程は根本的には一般的經濟界のそれに歸し得べきも、組合それ自體に於て觀ると理事者職員の無能、腐敗の一般民、疲弊による組合それ自體の弱少、組合連絡機關の欠陥、産業組合に對する農民の無理解等に原因すべきもの多々あつたのである。

だがこの數に於ての減少は、或る觀點よりすれば組合精神の徹底的認識、組合の素質向上、革新氣運の濃厚等到来せるものと認められた。この時に於て産業組合運動も誠に多事多端なる時運に遭遇したのである。昭和八年に至り乾坤一擲組合擴充五

經濟(農業)

産業組合情勢

ケ年計畫を斷行し未設置町村の完全解消に乗り出すとともに極力組合の振興擴充を企圖實施せる結果、昭和十三年に至り年來の懸案たる未設置町村を解消した。

尙其の數も二三三を算した。又各種數別組合の數字的變遷を觀ると創立當初即ち明治三五年頃には、信用組合は最高を占め次いで販賣購買の二種兼營の組合であつた。而して現在最多數を占むる四種兼營は皆無であつたのである。大正四年に至り信用、販賣、購買の三種兼營組合は著しく頭角をあらはし王者たる信用組合に迫つた。

昭和二年に至り四種兼營組合は徐々にその歩を速め、昭和三年に致り信用、信販利三種兼營信、販、購利の四種と共に響を並べて同一水準の域に達した。即ち信用は七七、信販利四二、昭和四年に至りこの數字的均

衡が破れ、四種兼營組合は遂に最高を占むるに至り、即ち信用三〇、信販利二五、四種一一五となり、昭和十二年に至り信用一〇、信販利九、四種は一八三となるに至つたのである。他は見るべきものなく昭和十三年に於て二三三を算するに至つた。毎年組合數の増加するに従ひ組合員數も亦比例的に増加し、増加率を年數別に見ると、大正元年には組合員數は僅か九、四八〇人で一組合平均七二人弱であつた。大正五年には一八、八四八人となり殆んど倍加の躍進をとげ次いで大正十年に至つて二〇、四一七人となり、大正十四年に二九、〇三一人となつて算術級數的なる遞増率を示した而して一組合平均の組合員數一四六人となつた。

昭和元年に至り組合員數は三二、六九二人となつた、次いで昭和十一年に至り九五、七三〇人にして昭和十二年に於て一〇

五六三

② 拂込濟出資金

八年順調に増加し大正元年は三二一、四五五圓大正二年四一八、二二四圓、大正十四年二、七五五、六三〇圓と飛躍的進展の一途を辿り昭和四年に四、〇一四、三五〇圓、昭和十二年末に總額五、一九七、六二五圓となつた。これを一組合平均出資金について觀ると大正元年當時一組合平均僅かに二、九二四圓であつた、大正十四年に至りその額を増し一四、〇一八圓に、昭和四年二一、八一七圓に達した、昭和十二年に二八、一七二圓、昭和三十五年五、七九五、〇七五圓となつた。

④借入金
 大正十四年度六三二、四八二圓にして一組合平均三、一九四圓にして昭和四年に一、四〇七、一三八圓となり、一組合平均額も七、六四七圓昭和十二年度に五、三三一、五八七圓となり、一組合平均二七、二〇二圓となった。これ一面負債の増大となつて組合運営上芳しからざるものありと雖も一面亦この金額の投資、有價証券消化等組合の運営活動益々盛んなることを裏書するものとみとめらる。昭和十三年三、八三九、〇五一圓となり、一組合平均一六、四七六圓となつた。

③諸積立金

大正十二年一八二、四三二圓より昭和二年三七一、一四九圓となつて殆んど二倍半に増加、昭和四年に四五五、七〇四圓となつた。一組合平均についてみると大正十二年八〇九圓昭和四年二、四四二圓となり爾後漸増の一途を辿り昭和十二年度末に於て一、五七三、九七七圓となり一組合平均八、〇三〇圓昭和十三年度末に於て一、七四八、二二五圓となつて著しき進展を見た。

⑤運轉資金

運轉資金(拂込済出資金、諸積立金、借入金及貯金)は逐年増加著しく大正十二年三、二五〇、七四一圓であつたが昭和元年に六、六九八、八〇五圓となり殆んど倍加し、一組合平均一五、四八〇圓より四〇、〇七〇圓に激増した。これ蓋し組合運営活動の活潑、擴大を裏書するものなりとみとめられる。

第三十三回東北産業組合大會決議

(四月二十八日)

第二次産業組合擴充三ヶ年計畫第一年度事業遂行方針に關する決議
 産業組合は擴充五ヶ年計畫の遂行に依り組合史上轉機を劃すべき發展を來たし茲に不拔の國民經濟的地位を確保するに至り更に此の國家重大時局に當り第二次産業組合擴充三ヶ年計畫を樹立し其の實行に邁進しつゝあり吾人は須く國民精神總動員の趣旨を體し堅忍持久以て生産力の維持擴大と國民生活の安定向上を企圖し協力一致新計畫の第一年度事業の遂行を爲すの覺悟を新にせざるべからず即ち産業組合は全體制の精神力を振作し人的要素の刷新充實を圖り全組織の運行に和衷と迫力を浴かしむることに努め産業組合網の完整、事業の大衆化、全系統組織の綜合的運営の成果を擧ぐると共に戰時體制下に於ける各般の任務の遂行を全ふし以て産業組合をして國防國家の重要な支柱たらしむべく全力を傾倒することを要す仍て第二次擴充計畫第一年度事業遂行に對する全國的方針の重要點を左記に置き其の實施に力を致すと共に各道府縣に於ては夫々地方的實情に即しなる方針を確立し全國的に聯進的發展を期せんとす

滿洲開拓農民

地方別開拓區數並に戸口數 (昭和十四・七・一拓務省調)

省別	總數	地方別開拓區數並に戸口數 (昭和十四・七・一拓務省調)								現在戸數	割合%	現在人口	割合%
		第一次	第二次	第三次	第四次	第五次	第六次	第七次	第八次				
三江省	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
北安省	二五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
濱江省	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東安省	二四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
龍江省	二七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
吉林省	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
牡丹江省	二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一八九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

集團開拓農民の戸數並人口 (昭和十四年七月一日現在)

年次	現在團員數	妻	總數		其他家族	總人口	一月當平均構成員數
			子	供			
第一	三三六	三〇六	五五八	一五八	一、一〇六	一、一〇六	一・〇
第二	三九七	三五八	四四八	一七九	一、一〇七	一、一〇七	一・〇
第三	二〇一	一九七	三〇四	一〇九	一、一〇一	一、一〇一	一・〇
第四	一四一	一三三	二二八	一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一・〇
第五	一〇六	九三	一七九	八二	一、〇〇一	一、〇〇一	一・〇
第六	一〇四	九三	一七九	八二	一、〇〇一	一、〇〇一	一・〇
第七	三、九三二	三、九三二	七、八六四	三、九三二	一、一七五、八二八	一、一七五、八二八	一・〇

經濟 (農業) 滿洲開拓農民

五六五

第八次 11,011 11,170 11,024

出身府縣並開拓團構成府縣 (十四・七) 地方名又は府縣名

- 第一次 一一 東北(六) 關東(兩毛) 中部(新潟)
- 第二次 一六 東北(岩手) 關東(葉なし) 中部(東海三)
- 第三次 一六 東北(宮城、福) 中部(新潟、長野)
- 第四次 三八 全國(東京、大阪、兵庫、滋賀、島根)
- 第五次 四一 全國(大分、滋賀、奈良)
- 第六次 四五 全國(沖繩なし)
- 第七次 四六 全國
- 第八次 四六 全國

右の表に明瞭なる如く、第一次より第三次迄の開拓民送出府縣は全國府縣数の四分の一乃至三分の一に過ぎざるが、第四次以降は全國に亘り送出せらるゝに至つた。

之を開拓團構成の状態より見るに第一次より第四次迄は府縣聯合型態なるも、第五次より縣單位の開拓團(黑臺信濃村-長野縣)並分村計畫を含む開拓團(黑臺開拓團の南郷村-宮城縣)出現し、第六次に於ては六割に當る十一開拓團(宮城、山形、福島、長野、新

年次	各府縣聯合單位	縣單位	鄉單位	村單位	計
第一次乃至第四次	5	1	1	1	8
第五次	3	1	1	1	6
第六次	2	1	1	1	5
第七次	1	1	1	1	4
第八次	1	1	1	1	4
計	20	8	8	8	44

湯、群馬、埼玉、静岡、廣島、茨城、熊本)が縣單位の開拓團より成り第七次に於ては約七割に當る十五開拓團(宮城二、山形二、長野二、福島、新潟、群馬、埼玉、茨城、廣島、熊本、大分、香川)は縣單位の開拓團にて而も其の中には村單位の開拓團(大日向村-長野縣)及鄉單位の開拓團(庄内村-山形縣)も發生するに至つた。更に第六次第七次に於ける府縣聯合開拓團は概ね地方別に結合せられてゐる更に第八次に於ては八割の開拓團(長野九、山形五、宮城三、石川三、埼玉二、新潟二、香川二、秋田二、青森、東京、福島、熊本、山梨、岩手)は縣單位となり、其の中七開拓團(鹿西、町野、白山、石川縣、下伊那、藤科、長野縣、庄内、東村山-山形縣)は鄉單位で七開拓團(千代、上久野、讀書、泰阜、富士見、長野、中川、埼玉、栗熊、香川)は分村計畫に基く村單位である。

集團開拓團昭和十三年度農作物作付面積及家畜家禽頭羽數

年次	開拓團名	作付面積	一戸當平均	牛	家畜	羊	豚	鶏	蜜	蜂
第一	彌	2,113.11	5.4	14	500	78	1,852	14	1	1
第二	千	1,941.10	5.6	7	1,000	1,137	688	1	1	1
第三	瑞	1,951.00	9.7	1	500	636	578	1	1	1
第四	城	1,273.35	4.6	1	400	226	485	1	1	1
第五	哈	1,008.80	5.9	7	466	207	236	1	1	1
第六	永	816.65	5.0	9	400	111	180	1	1	1
第七	朝	1,133.50	8.0	6	750	111	324	1	1	1
第八	黑	721.68	4.9	3	550	381	349	1	1	1
第九	黑	1,018.30	1.8	1	300	70	9,600	1	1	1
第十	黑	427.15	1.1	2	100	7	54	1	1	1
第十一	東	355.90	1.1	2	174	4	4	1	1	1
第十二	西	235.00	0.9	1	17	4	4	1	1	1
第十三	六	114.37	0.4	1	1	4	4	1	1	1
第十四	北	303.85	1.0	7	40	8	40	1	1	1
第十五	南	270.50	0.8	7	15	8	46	1	1	1
第十六	龍	432.55	1.1	1	15	28	86	1	1	1
第十七	熊	353.31	1.1	1	1	3	60	1	1	1
第十八	宮	418.00	1.0	1	1	3	60	1	1	1
第十九	福	397.50	1.0	1	1	3	60	1	1	1
第二十	茨	247.80	0.7	1	1	3	60	1	1	1
第二十一	靜	237.59	1.1	6	1	6	60	1	1	1

經濟 (農業) 滿洲開拓農民

福島 一 岡村、北平田村) (備考) 本表は第八次、第九次以降に亘つて分村、分郷を行ふ

石川郡(野木澤村、泉村、川東村、小塩江村、大森田村、須釜村、母畑村)信夫郡、(水保村)河沼郡

集開拓農民(世帯主)府縣別送出數 (昭和十三年四月末日調) (昭和十二年)

昭和七年 (第一次) 昭和八年 (第二次) 昭和九年 (第三次) 昭和十年 (第四次) 昭和十一年 (第五次) 昭和十二年 (第六次) 昭和十三年 (第七次) 昭和十四年 (第八次)

北府 年次別 道 森 手 城 田 形 山 福 全

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

Table with columns for rank (順位), prefecture (府縣), and number of personnel sent (送出數). Includes sub-tables for '各府縣青少年義勇軍並幹部送出數順位' and '青少年義勇軍送出數'.

拓務省委託開拓民訓練所一覽表

昭和十四年四月調

訓練責任者 (身分) 收容人員

宮城	南郷國民高等學校	遠田郡南郷村	前田勝美	100
秋田	青年修練農場	南秋田郡天王村	森村昨三郎	100
山形	縣立國民高等學校	南村山郡上山町	大沼與吉	100
山形	青年修練農場	北村山郡大高根村	大沼與吉	100
福島	練農農場	西白河郡中畑村	平山久衛	100

(地方農林技師)

移住地に於ける出産率

團別	年次別	有配偶婦人數	出産數	出産率(%)	昭和十一年	昭和十二年	出生數	死亡數	死亡率(%)
彌榮村	昭和一〇年	三三三	五九	一七・五	九六	一〇一	一〇	一〇	一〇・〇
	昭和一一年	三三三	五九	一七・五	九六	一〇一	一〇	一〇	一〇・〇
千振郷	昭和一一年	三六二	一一二	三〇・九	八五	一〇六	一一	一一	一〇・六
	昭和一二年	三六九	一一七	三一・二	八五	一〇六	一一	一一	一〇・六
瑞穂村	昭和一一年	二六五	二二九	八六・四	五〇	六一	一〇	一〇	一〇・〇
	昭和一二年	二八四	二二二	七八・一	五〇	六一	一〇	一〇	一〇・〇

(平均四・〇) (平均四・〇) (平均二・七強)

移住地に於ける乳児死亡率 (昭和十二年度)

参考 (イ) 移住地に於ける主婦の年齢は一九歳乃至三十歳が大部分である。
(ロ) 日本内地に於ける一九歳乃至三十歳の婦人の出産率は三〇・八である。

水産業

府縣別水産業概勢 (昭和十三年度末現在)

地方別	水産業者	漁船隻	沿岸漁獲	養殖産額	製造産額	遠洋漁業
北海道	一九、四八一	五八、四一八	六二、六九三、〇五二	一八〇、九七五	八四、三二四、五五九	一四、二四、五九一
青森	四三、九三三	九、四六三	七、〇〇九、一三〇	一一、四三一	五、六五八、九七五	二、八〇一、七二四
岩手	四八、八五〇	一〇、九八七	五、五九三、三三一	二六九、八三九	三、〇九八、〇三三	二、六八八、四八六
宮城	三八、五八五	八、五九二	二、三三一、四五九	七九〇、六三〇	一三、六〇九、一〇九	一〇、五三三、八八八
秋田	一五、四五六	二、六七〇	一、二八六、二二七	一四六、六七〇	四六八、五五三	五五七、三一六
山形	一〇、八三五	一、六五九	六二七、五三三	三三二、六八八	一五四、七七〇	三、四四六、五七四
福島	三三、三三三	二、〇三三	三、九〇四、四八〇	一六七、〇六五	三、四四六、五七四	二、一六五、四四六
茨城	二七、九四五	六、〇八一	四、四四五、一八七	四三、八五〇	三、九六六、三二二	一、二九六、二六三
栃馬	四、七九九	五、六三三	三、三〇、〇三九	九五、八八七	八四、七二〇	一
群馬	一、九一〇	一、七四一	一、五九、七二八	四四〇、一九四	四四、七四五	一
千葉	三、二六九	一、七四一	一、五九、七二八	三、五三七	一〇七、〇二七	一
東京	七三、八八五	一七、九九六	六、五九六、九七九	二、五五三、一九〇	九、七三九、二九九	七、〇二八、三三三
神奈川	三六、八五三	八、〇四四	二、七二六、二二一	四、七四七、三一一	一三、九三三、五二二	一九三、〇〇一
新潟	三六、四〇九	六、六四六	四、三三三、〇九六	八九二、一四三	二、九七五、三三七	八三三、三三〇
富山	三三、七五三	七、八四三	三、四六九、四五〇	四一四、九九四	一、〇五八、六六一	五四三、〇三三
石川	三三、〇二〇	二、六四七	三、四八二、二九八	五、四九九	二、四〇九、六五三	四七、〇一六
福井	三三、七七一	三、三三三	五、一六六、一九一	四、八七七	一、四七七、〇一九	一、七七一、二一九
山梨	一一、四四三	三、七四七	三、三三三、〇八七	三、〇六五	一、三〇六、〇三三	三、六〇、三〇三
岐阜	一一、四四三	三、七四七	三、三三三、〇八七	三、〇六五	一、三〇六、〇三三	三、六〇、三〇三
長野	三、二八三	〇八	三〇八、八二八	九〇、五三三	二、二〇八	一

鮫類の水揚地
昭和十四年八月八日に「輸出入品臨時措置法」にもとづく農林省令が公布され、水産皮革原料のうち先づ鮫類一切の配給が統制されたが、同十月六日農林省告示によつて、鮫類の水揚地五十一ヶ所が指定された。そのうち東北關係は次の通り。
青森市、八戸市、釜石市、宮古町、石巻市、塩釜町、渡波町、女川町、氣仙沼町、折村、江名町、小名濱町、四倉町。
(漁業) 漁業工業組合
日本漁業工業組合聯合會所屬の漁業用及び漁網用漁業關係組合(東北)は次の通り。
東北漁網漁業工業組合(岩手縣水澤町、理事長 福田清治)
鶴岡漁網漁業工業組合(鶴岡市荒町、鶴岡漁網漁業工業組合)
漁村經濟更生指定町村
(十三年末現在)
宮城 一五
福島 五
五七三

長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	
一八、四三三	二一、五六九	三〇、八六八	四〇、三六五	五〇、四三〇	六一、五九八	七二、七七一	八三、八七〇	九四、九六〇	一〇五、〇五〇	一一六、一四〇	一二七、二三〇	一三八、三二〇	一四九、四一〇	一六〇、五〇〇	一七一、五九〇	一八二、六八〇	一九三、七七〇	二〇四、八六〇	二一五、九五〇	二二六、〇四〇	二三七、一三〇	二四八、二二〇	二五九、三一〇	二七〇、四〇〇	
七二六	三五三	八、〇六八	七、一八三	一三、六〇六	一、二四九	三、三九九	二、七三七	一〇、八九〇	五、七	七、四八六	二、六四七	八、四六九	六、三三二	一〇、六五一	一五、八六二	二一、〇一八	二六、一七四	三一、三三〇	三六、四八六	四一、六四二	四六、七九八	五二、〇五四	五七、二一〇	六二、三六六	
四、五八〇、〇九九	八三三、三三六	九、六五〇、四七八	六、一三八、一三八	六、七九四、七六五	九、四九六、七二八	二、一六八、七九八	二、七九九、七九八	六、三三五、〇六一	一、四〇〇、八三六	四、六二二、八六四	一、四九八、八三九	五、六二七、一八七	三、六二八、三三五	五、二五五、六四五	九、九〇一、四一五	三、四八八、三九一	二、五二五、五八五	七、五七〇、三三八	七、五二五、七四〇	七、一六六、〇五五	七、一六六、〇五五	二、八六〇、七九八	一、六四六、一六六	三、七九四、八〇七	四、三三〇、一四一
七、七四、五六八	一八八、四八〇	五、三三三、九三三	三、六九〇、八〇三	二、四九五、三〇三	三、四四六、六三五	一、四一、二六〇	三、四九、九〇九	一、八六、七五八	六〇、三三三	一〇三、二五五	八五、三六七	五八、六八九	一八、八三一	一、九六、八三〇	三三三、二四三	二九、五六四	一九、八二七	八九、四八五	一七六、八四八	一、六六、四九五	一、八四〇、五五五	三、二一一、一五	五、六四、九八七	六、九、六二五	一九〇、六八一
一六五、四八一	一一、二四	二、七三〇、五〇一	六、五八七、〇七三	五、一三三、三三三	八〇、八七五	二、一三六、九〇八	四、五二九、七四六	四、二四八、三三三	三、八、六八五	二、三六六、八〇四	八〇九、三九一	二、五九六、八〇七	六、八三、四七一	四、二五八、三三六	五、八七四、六三八	三、四九、五五五	一、八二〇、五六八	六、五〇一、八五五	三、八〇五、六八五	四、五九、五五五	一、八四〇、五六八	九、八八、八六五	二、二一一、一九	三、五五〇、五八五	一九〇、六八一
三、七〇、六四四	五、三三、六六六	九、七四、四八〇	九、七四、四八〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇	四、〇七八、四〇〇	三、五八、〇二〇

岩手 二二一
青森 三四
山形 六
秋田 九
全国總數 七、九六九

漁聯の情勢

宮城縣

保證責任宮城縣漁業組合聯合會(仙臺市外記町)は昭和十二年三月三十日設立許可、加入組合五四出資口数二〇八、出資一口の金額三百圓、保證出資一口五百圓であつたが、昭和十四年六月末の現勢は加入組合数七二、出資口数四三六、出資總額一三〇、八〇〇圓、拂込出資額一九、〇一〇圓となつた。十二年中は銷延繩漁船に對する餌料柔魚の供給と、氣仙沼町、鮎川村に重油タンクを建設して燃料の配給を確立した外は、準備時代に終始した。十三年度には海産類の共販に着手し、十月全漁聯の設立を契機として、これと提携、縣下

宮崎 一五、四九六
鹿兒島 四三、六三三
沖繩 二、八三三

北海道 一三五
青森 二四
岩手 一五
宮城 二二
秋田 七
山形 二
福島 九
仙臺支所計 二二
本所計 二二
大阪支所計 三三
門司支所計 八一
合計 五九

産業組合中央金庫漁業組合關係貸出現況

件数	申込受付額		貸付決定		貸付済額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一三五	五、一五九、五〇〇	一三	四、五三三、四〇〇	一〇一	四、〇七八、四〇〇	
二四	三、九四〇、〇〇〇	一九	三、八五〇、〇二〇	一五	三、五八、〇二〇	
一五	八、二二七、七三六	一一	九、四〇、七五六	一一	七、四四、二〇〇	
二二	三、三三三、〇〇〇	一九	二、九二六、〇〇〇	一八	一、九三、六〇〇	
七	三、三三三、〇〇〇	七	三、三三三、〇〇〇	六	三、三三三、〇〇〇	
二	一〇、〇〇〇	一	一、七、〇〇〇	一	一、七、〇〇〇	
九	一、八三三、〇〇〇	九	一、七、〇〇〇	九	一、七、〇〇〇	
二二	六、九一三、五六	一九	五、八八八、一四六	一六	五、四三三、五九三	
二二	六、九〇四、一〇八	一三	六、二五三、八九六	一〇	五、六〇三、二九三	
三三	二、二八二、六六一	一〇七	一、八五九、〇一一	九〇	一、四〇九、七一	
八一	三、五九一、四一一	七三	三、〇五五、八四一	一三	三、六九一、〇一六	
五九	一、八、六二九、五七六	四八六	一、五、九六六、八九四	四七六	一、五、三三三、六一二	

本吉郡を主産地とする、若布、に一、二二五圓の販賣手数料を
細布を受託販賣して二八、四一 計上した。
八圓を賣上げ、その他で年度内 購買事業としては前記二ヶ所 着手した、年度内の購買取扱高

經濟 (水産業)

度事業としては統制物資の購買並に購入斡旋を主とし其の供給額三九、九九五圓(内綿糸一四、千圓、ワイヤロープ九千圓、染料一、二千圓、麻製品四千圓に達したが、外に燃油の購入斡旋をなした。本會直接の施設たる四倉町製氷工場の初年度生産高は二、二二三圓で、販賣事業は若布及び昆布の斡旋をなし扱高八四〇貫八六三圓である。十四年度九月末日現在には販賣一、千圓購買五、五千圓。

(役員) 會長水野政次郎、専務理事鈴木賢二、理事加澤一造、飯塚勝太郎、監事渡邊國之助、新妻吉之助
(職員) 主事岩並三郎
岩手縣

保證責任岩手縣漁業組合聯合會(盛岡市内丸)は、昭和十二年三月二十七日設立許可、設立當會時加入組合數五三、出資口數四二〇、出資一口の金額五百圓、の保證金額一口五百圓であつたが

昭和十四年六月末日現在には、加入組合五五、出資總額二二、五〇〇圓、拂込出資額四九、八八二圓に飛躍した。
昭和十四年度販賣事業として受託販賣九三九、七四二圓、買取販賣四八、五〇〇圓、合計一、〇五二、八四二圓を計畫した。購買事業は昭和十二年度に於いて礦油の購買斡旋に着手したが、本年取扱高を増加し、本年度に於ける豫定は、礦油八六七、一四〇圓、統制品(漁業用品)一六五、三六二圓、製造用品(筵、繩、空箱等)四一、一一五圓、經濟用品三七、四四〇圓である。
(役員) 會長村上徳一郎、理事菊池長右衛門、山下松太、鈴木吉平、千代川隆一、千崎熊太郎、箱石藤右衛門、澤田權左衛門、岡本勘平、佐々木大三郎、新沼長吉郎、崎山善雄。
(職員) 主事伊藤佐十郎
青森縣

(青森市舘貝町)は昭和十二年二月三日設立許可、初年度末(十二度)加入組合四九、出資口數十六二、出資總額三萬千圓拂込年濟資額四千四百二十五圓、出資口五百圓、保證金額一口千圓出あつたが(十三年度)には加入一組合數五五、出資口數六六、出資總額三萬三千圓、拂込濟出資額六千六百七十五圓となつた。
昭和十二年度内に於ける販賣は鮮魚(約七千三百圓)介業(百六十餘圓)合計約七千五百圓でその手數料は四百七十五圓、十三年度販賣取扱總額は約二十五萬四千圓、うち主なるものは鮮魚介約二十三萬二千圓、鰯干、鱈干約二萬圓である。十三年度の購買總額約八萬圓、主なるものを舉げると礦油(約二萬七千圓)染料(約一萬七千圓)マニラ製品(約一萬八千圓)綿糸(約六千圓)白米(約四千五百圓)等となつてゐる
十四年十月三日現在販賣累計

約六十二萬三千圓で主なるものは鮮魚介(約十四萬七千圓)昆布(約三十七萬八千圓)海草類(約五萬千圓)鹽干燒干(約四萬六千圓)等である。十四年十月三日現在購買累計約十二萬七千五百圓で、主なるものはマニラ製品(約三萬五千圓)染料(約二萬八千圓)ゴム製品(約一萬八千圓)網地(約一萬四千圓)礦油(約一萬圓)線材(約八千五百圓)カイバイト(約八千圓)綿糸(約七千圓)等である。
十三年度内には青森市舘川河口に總工費八萬八千圓で冷蔵庫及附屬建物を建設した。
(役員) 會長理事吉澤喜之助、理事吉田契造、林竹治、鹿内忠助、種市忠七、監事關橋耕作、小山内萬次郎、小鹿多七。
(職員) 主事工藤晃、澤谷善行、奥村鐵三郎。
山形縣

保證責任山形縣漁業組合聯合會(鶴岡市馬場町)は昭和十三

五月十六日設立許可、加入組合數七、出資一口の金額五百圓、保證金額一口五百圓、出資總額三萬圓。

十四年度鰯船、鰯油の共同販賣斡旋及天草、エゴ草等約一萬五千貫の全漁聯出荷をなした。十四年六月末の購買品供給額は約二千圓で、統制資材の共同購入並に購入斡旋をなし、殊に礦油類の購入、配給斡旋のため、重油タンク三基を建設した。利用事業は遠洋漁船白鷗丸(鋼鐵船一四四トン、三〇〇馬力)の船延繩漁船の經營をなしてゐる。
尙十四年度内事業として東北興業株式會社より小型漁船二〇

隻を借受けたが、所屬組合に貸付利用せしめ、鰯流網、烏賊釣、鰯鮫延繩漁業に従事せしめる。
(役員) 會長白幡仲治、専務理事高橋幸三郎、理事高橋久夫、梶原源吉、榎本甚右衛門
(職員) 主事豊田吉治
秋田縣

保證責任秋田縣漁業組合聯合會(秋田市肴町)は昭和十一年十一月十六日設立許可、當時の加入組合數は四六、出資一口の金額二百圓、出資口數二七八、保證金額一口二百圓。
販賣事業は初年度總額四萬八

千餘圓を取扱ひ、主なるものは鱈、鰯等鮮魚介で購買事業は購買品供給總額一萬四千三百餘圓であつた。十三年度には販賣取扱總額七萬一千三百餘圓、購買總額二萬四千四百圓で主なるものは鱈(八千餘圓)鰯(七千圓)鰺(五千六百餘圓)鮪(五千圓)等。購買の主なるものは礦油類(一)マニラ製品(二千二百餘圓)綿糸及染料(一千八百餘圓)釘類(一千二百餘圓)等であつた。
十三年度の資金貸付總額九千八百四圓、償還總額一萬三千一百三圓、殘高九千二百二十一圓
(職員) 主事菊地源彌

漁業組合組織狀況(東北) 昭和十四年十二月現在

組合總數	無限	有限	非出資責任組合	改組組合	未改組
青森	108	3	72	103	1
岩手	103	1	72	103	7
宮城	103	1	72	103	7
秋田	103	1	72	103	7
合計	317	6	216	317	26

經濟(水産業)

地方別	內地沖合遠洋漁業產額 (昭和十二年 單位千圓)										
	福山	山形	秋田	宮城	岩手	青森	地方別總數	魚類總額	鰻	鮭	鯖
福山	110	9	26	2	0	1	25	26	1	1	1
山形											
秋田											
宮城											
岩手											
青森											
地方別總數	1,399	9	36	2	0	1	25	26	1	1	1

地方別	沿岸魚類產額表 (昭和十二年、單位千圓)										
	福山	山形	秋田	宮城	岩手	青森	地方別總數	貝類總額	海藻等產額	其他	計
福山	101	2	2	9	1	0	115	102	1	1	1
山形											
秋田											
宮城											
岩手											
青森											
地方別總數	101	2	2	9	1	0	115	102	1	1	1

年齡・干支 早見表

年號	紀元	干支	年齡	年號	紀元	干支	年齡	年號	紀元	干支	年齡
天保一	二五〇三	壬寅	一〇〇	明治	二五二八	戊辰	七四	大正	二五五三	癸巳	八九
弘化	二五〇四	癸卯	九九	一	二五二九	己巳	七三	一	二五五四	甲午	七八
嘉永	二五〇六	乙未	九七	二	二五三〇	丙申	七二	二	二五五五	乙未	七七
安政	二五〇九	丁酉	九五	三	二五三一	庚申	七〇	三	二五五六	丙申	七六
文萬久延	二五一一	辛戌	九三	四	二五三二	辛未	六九	四	二五五七	丁酉	七五
慶元	二五二二	己酉	八八	五	二五三三	壬申	六八	五	二五五八	戊戌	七四
應治	二五二七	丁卯	八三	六	二五三四	癸酉	六七	六	二五五九	己亥	七三
				七	二五三五	甲戌	六六	七	二五六〇	庚子	七二
				八	二五三六	乙亥	六五	八	二五六一	辛丑	七一
				九	二五三七	丙子	六四	九	二五六二	壬寅	七〇
				〇	二五三八	丁丑	六三	〇	二五六三	癸卯	六九
				一	二五三九	戊寅	六二	一	二五六四	甲辰	六八
				二	二五四〇	己卯	六一	二	二五六五	乙巳	六七
				三	二五四一	庚辰	六〇	三	二五六六	丙午	六六
				四	二五四二	辛巳	五九	四	二五六七	丁未	六五
				五	二五四三	壬午	五八	五	二五六八	戊申	六四
				六	二五四四	癸未	五七	六	二五六九	己酉	六三
				七	二五四五	甲申	五六	七	二五六〇	庚戌	六二
				八	二五四六	乙酉	五五	八	二五六一	辛亥	六一
				九	二五四七	丙戌	五四	九	二五六二	壬子	六〇
				〇	二五四八	丁亥	五三	〇	二五六三	癸丑	五九
				一	二五四九	戊子	五二	一	二五六四	甲寅	五八
				二	二五五〇	己丑	五一	二	二五六五	乙卯	五七
				三	二五五一	庚寅	五〇	三	二五六六	丙辰	五六
				四	二五五二	辛卯	四九	四	二五六七	丁巳	五五
				五	二五五三	壬辰	四八	五	二五六八	戊午	五四
				六	二五五四	癸巳	四七	六	二五六九	己未	五三
				七	二五五五	甲午	四六	七	二五六〇	庚申	五二
				八	二五五六	乙未	四五	八	二五六一	辛酉	五一
				九	二五五七	丙申	四四	九	二五六二	壬戌	五〇
				〇	二五五八	丁酉	四三	〇	二五六三	癸亥	四九
				一	二五五九	戊戌	四二	一	二五六四	甲子	四八
				二	二五六〇	己亥	四一	二	二五六五	乙丑	四七
				三	二五六一	庚子	四〇	三	二五六六	丙寅	四六
				四	二五六二	辛丑	三九	四	二五六七	丁卯	四五
				五	二五六三	壬寅	三八	五	二五六八	戊辰	四四
				六	二五六四	癸卯	三七	六	二五六九	己巳	四三
				七	二五六五	甲辰	三六	七	二五六〇	庚午	四二
				八	二五六六	乙巳	三五	八	二五六一	辛未	四一
				九	二五六七	丙午	三四	九	二五六二	壬申	四〇
				〇	二五六八	丁未	三三	〇	二五六三	癸酉	三九
				一	二五六九	戊申	三二	一	二五六四	甲戌	三一
				二	二五六〇	己酉	三一	二	二五六五	乙亥	三〇
				三	二五六一	庚戌	三〇	三	二五六六	丙子	二九
				四	二五六二	辛亥	二九	四	二五六七	丁丑	二八
				五	二五六三	壬子	二八	五	二五六八	戊寅	二七
				六	二五六四	癸丑	二七	六	二五六九	己卯	二六
				七	二五六五	甲寅	二六	七	二五六〇	庚辰	二五
				八	二五六六	乙卯	二五	八	二五六一	辛巳	二四
				九	二五六七	丙辰	二四	九	二五六二	壬午	二三
				〇	二五六八	丁巳	二三	〇	二五六三	癸未	二二
				一	二五六九	戊午	二二	一	二五六四	甲申	二一
				二	二五六〇	己未	二一	二	二五六五	乙酉	二〇
				三	二五六一	庚申	二〇	三	二五六六	丙戌	一九
				四	二五六二	辛酉	一九	四	二五六七	丁亥	一八
				五	二五六三	壬戌	一八	五	二五六八	戊子	一七
				六	二五六四	癸亥	一七	六	二五六九	己丑	一六
				七	二五六五	甲子	一六	七	二五六〇	庚寅	一五
				八	二五六六	乙丑	一五	八	二五六一	辛卯	一四
				九	二五六七	丙寅	一四	九	二五六二	壬辰	一三
				〇	二五六八	丁卯	一三	〇	二五六三	癸巳	一二
				一	二五六九	戊辰	一二	一	二五六四	甲午	一一
				二	二五六〇	己巳	一一	二	二五六五	乙未	一〇
				三	二五六一	庚午	一〇	三	二五六六	丙申	〇九
				四	二五六二	辛未	〇八	四	二五六七	丁酉	〇八
				五	二五六三	壬申	〇七	五	二五六八	戊戌	〇七
				六	二五六四	癸酉	〇六	六	二五六九	己亥	〇六
				七	二五六五	甲戌	〇五	七	二五六〇	庚子	〇五
				八	二五六六	乙亥	〇四	八	二五六一	辛丑	〇四
				九	二五六七	丙子	〇三	九	二五六二	壬寅	〇三
				〇	二五六八	丁丑	〇二	〇	二五六三	癸卯	〇二
				一	二五六九	戊寅	〇一	一	二五六四	甲辰	〇一

東北六縣産業組合

青森縣

(印は購買高)

昭和十三年末現在

(縣名は順不同)

聯合會及組合	所在地	設立年月	會長及組合長	組織員	出資金	拂込濟	販賣高	購買高	利用料
青森縣信用聯合會	青森市古川	大七、六	福井義弘	三二二	八〇、五〇〇	五三〇、六七九	—	—	—
青森縣販購利聯合會	青森市古川	昭五、九	小野龍治郎	三〇九	二五三、〇〇〇	一六一、五二八	—	—	—
東津輕郡農村工業販購利聯合會	東津輕郡平館村	一〇、二	鈴木要次郎	三	—	三五〇	—	—	—
南津輕郡農村工業販購利聯合會	南津輕郡黒石町	一〇、二	鳴海文四郎	一四	—	四、六一〇	—	—	—
上北郡農村工業販購利聯合會	上北郡三本木	一〇、二	大坂七郎	一三	—	四、六五〇	—	—	—
下北郡農村工業販購利聯合會	下北郡田名部町	一〇、二	河野榮藏	一	—	一、〇〇〇	—	—	—
北津輕郡五所川原町	北津輕郡五所川原町	一三、二	佐々木哲造	三〇	—	八、六〇〇	—	—	—
三戸郡留崎村	三戸郡留崎村	三、二	山下禎三	一五七	—	九、四八〇	—	—	—
留崎信販購利聯合會	留崎村	三、二	寺澤要一郎	二九四	—	一三、七八〇	—	—	—
又重陸友同	倉石村	三、二	橋向長次郎	二三三	—	五、二四〇	—	—	—
中市同	同	七、六	畑山豐吉	一七四	—	五、四一〇	—	—	—
中澤村同	同	三、九	市澤安惠	四六六	—	一九、三三〇	—	—	—
島守同	同	二、九	坂中孫吉	二八三	—	一四、三三〇	—	—	—
斗川村共榮同	同	三、九	田中實	四〇四	—	七三、一七〇	—	—	—
田子同	同	三、九	古田直實	四〇二	—	二六、五〇〇	—	—	—
上郷同	同	三、九	穗積重二	四一七	—	二一、六〇〇	—	—	—
三戶信販購利聯合會	三戶町	三、九	松尾清三	二七三	—	一五、四六〇	—	—	—
名久井信販購利聯合會	名久井村	三、九	工藤清吾	三四九	—	二三、八五〇	—	—	—
田部村同	同	三、九	岩間千之助	三七三	—	一五、〇八〇	—	—	—

東北六縣産業組合一覽

東北六縣銀行會社

昭和十五年七月現在

△東北六縣に本店又は本社を有する資本金十萬圓以上の銀行會社
 △配列は各縣市郡部別設立年月順
 △株は株式會社、資は合資會社、名は合名會社の略
 △公稱は公稱資本金、拂込は拂込資本金

銀行

宮城縣

- 所在地 設立年月 頭取
 株・宮城銀行 仙臺市元寺小路 昭6・七氏 家清吉
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 二九五、〇〇〇圓
 株・七十七銀行 同 大町丁目 昭7・一氏 家清吉
 公稱 九、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四、四〇六、三三五圓
 株・東北貯蓄銀行 同 大町丁目 昭7・一谷 井文藏
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇〇、〇〇〇圓

- 株・仙南銀行 宮城縣刈田郡白石町
 公稱 三、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭3・四 渡邊 貞一
 一、四六〇、〇〇〇圓
 株・福島縣農工銀行 福島市置賜町 明31・六 白石 禎美
 拂込 濟 四、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・福島貯蓄銀行 同 大町 大7・八 松田 幸次郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 株・會津銀行 若松市大町 明29・五 谷 半兵衛
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、〇五〇、〇〇〇圓
 株・郡山商業銀行 郡山市本町 大9・四 佐藤 傳兵衛
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 株・三春銀行 石川郡三春町 明30・七 川 又 彦十郎
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三八五、〇〇〇圓
 株・磐東銀行 石城郡植田町 明29・三 江 尻 博孝
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一四七、五〇〇圓
 株・猪苗代銀行 耶麻郡猪苗代町 明30・九 半澤 庄平
 拂込 濟 五〇〇、〇〇〇圓
 株・白河瀨谷銀行 西白河郡白河町 明31・四 瀨谷 伊藏

岩手縣

- 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三二五、〇〇〇圓
 株・岩瀨興業銀行 岩瀨郡須賀川町 大9・二 小橋 銀松
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四九九、九二五圓
 株・矢吹銀行 西白河郡矢吹町 大10・七 大木 代吉
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 二三四、三四五圓
 株・田村實業銀行 田村郡小野新町 大10・三 永山 徳一
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓

青森縣

- 株・岩手貯蓄銀行 盛岡市紺屋町 大10・三 伊藤 四郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二一八、七五〇圓
 株・岩手殖産銀行 同 昭7・五 板井 賛次郎
 拂込 濟 二、一〇〇、〇〇〇圓
 株・陸中銀行 岩手縣一關町 昭13・三 池田 嘉壽彦
 拂込 濟 一、三五四、六〇〇圓

- 株・青森銀行 青森市大町 明29・六 渡邊 佐助
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 六四〇、〇〇〇圓
 株・青瀨貯蓄銀行 同 明32・十 大阪 金助

東北六縣銀行會社一覽

福島縣

- 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一八五、〇〇〇圓
 株・青森商業銀行 同 濱町 明27・七 大阪 金助
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 九一五、〇〇〇圓
 株・青森貯蓄銀行 同 米町 大10・十 菊池 仁康
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 株・五十九銀行 弘前市觀方町 明11・三 宇野 勇作
 公稱 一〇、八〇〇、〇〇〇圓 拂込 五、九二七、五〇〇圓
 株・弘前商業銀行 同 百石町 明29・四 菊池 長之
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 六七五、〇〇〇圓
 株・津輕銀行 同 百石町 明31・九 高谷 英誠
 公稱 二、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、一五〇、〇〇〇圓
 株・八戸銀行 八戸市三日町 昭3・四 浦山 助太郎
 公稱 二、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、六七二、〇〇〇圓
 株・尾上銀行 南郡尾上村 明33・五 菊池 武憲
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓
 株・板柳銀行 北郡板柳町 明33・六 菊池 仁康
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三二五、〇〇〇圓
 株・佐々木銀行 北津輕郡五所川原町 大6・十 佐々木 嘉太郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓

山形縣

株・兩羽銀行 山形市七日町 明29・四長谷川 吉三郎
 公稱 三、八七〇、〇〇〇圓 拂込 二、八九五、〇〇〇圓
 株・山形商業銀行 同 十日町 明29・五中村 喜兵衛
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・山形貯蓄銀行 同 旅籠町 大10・七渡邊 吉兵衛
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 二、五〇〇、〇〇〇圓
 株・三浦銀行 同 七日町 昭7・十三浦 宗次郎
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 株・高野銀行 米澤市銅屋町 大4・七高野 源五郎
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三、四三、七五〇圓
 株・六十七銀行 鶴岡市三日町 明11・九菅 實
 拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・鶴岡銀行 同 五日町 明31・二木村 九兵衛
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四七五、〇〇〇圓
 株・風間銀行 同 一日市町 大6・二風間 幸右衛門
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二五、〇〇〇圓
 株・莊内貯蓄銀行 同 五日町 大10・十一菅 實
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、二五〇、〇〇〇圓
 株・出羽銀行 酒田市本町四丁目大9・一本間 光祐
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二五、〇〇〇圓
 株・羽前長崎銀行 東村山郡長崎町 明30・六柏倉 九左衛門

公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 五五〇、〇〇〇圓
 株・天童銀行 同 天童町 明31・二佐藤 莊右衛門
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三四六、〇〇〇圓
 株・羽陽銀行 西村山郡左澤町 明32・八今井 五郎八
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓
 株・東根銀行 北村山郡東根町 大8・四横尾 新
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、二五〇、〇〇〇圓
 株・東根銀行 東置賜郡宮内町 明33・六長谷川 平内
 拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・村山銀行 北村郡大石田町 昭2・三佐藤 茂兵衛
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四三七、五〇〇圓
 株・羽前銀行 西置賜郡荒砥町 昭3・十奥山 源内
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇〇、〇〇〇圓
 株・新庄銀行 最上郡新庄町 昭7・三岸 三郎兵衛
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四四〇、〇〇〇圓
 株・第四十八銀行 秋田市茶町菊ノ丁 明12・一本間 金之助
 公稱 三、六〇〇、〇〇〇圓 拂込 二、七一〇、〇〇〇圓
 株・秋田銀行 同 大町三丁目 昭29・四辻 兵吉
 公稱 六、三三四、三五〇圓 拂込 三、八四〇、二八八圓
 株・秋田貯蓄銀行 同 本町五丁目 大10・十一辻 兵吉
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓

秋田縣

會社

宮城縣

株・羽後銀行 平鹿郡増田町 明28・五土田 萬助
 公稱 三、一二五、〇〇〇圓 拂込 一、五〇五、二〇〇圓
 株・湯澤銀行 秋田郡湯澤町 昭2・四小川 長右衛門
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓

所在地 設立年月 代表表

宮城殖林株式會社 仙臺市新名掛町 明26・三工藤 延治郎
 拂込 濟 四〇〇、〇〇〇圓
 仙臺瓦斯株式會社 同 清水小路 明42・三佐藤 十兵衛
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 三三〇、〇〇〇圓
 東京製綿株式會社 同 瀧前丁 明43・四手塚 五郎平
 公稱 一一五、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓
 宮城株式會社 同 東二番丁 明43・三中島 信
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 二二五、〇〇〇圓
 株・藤崎 同 大町五丁目 明45・二藤崎 三郎助
 公稱 七〇〇、〇〇〇圓 拂込 二四五、〇〇〇圓
 仙臺染織製綿株式會社 同 土橋通 大元・九伊澤 平勝
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 三七〇、〇〇〇圓
 東北土地建物株式會社 同 國分町 大元・十一本間 亮一郎
 拂込 濟 一〇〇、〇〇〇圓
 秋保電氣軌道株式會社 同 長町 大2・六小林 軍太郎
 公稱 八〇〇、〇〇〇圓 拂込 五六七、七三〇圓

東北無盡株式會社 同 國分町 大2・七村上 勇吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇〇、〇〇〇圓
 宮城實業株式會社 同 東二番丁 大2・三津國 清兵衛
 拂込 濟 一〇〇、〇〇〇圓
 大正印刷株式會社 同 東三番丁 大3・二櫻田 常吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五〇、〇〇〇圓
 松良商事株式會社 同 東四番丁 大3・二尾形 千代之助
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七五、〇〇〇圓
 株・東北糖業商會 同 東四番丁 大6・十鎌田 復三
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 新妻合資會社 同 北七番丁 大7・一新妻 一郎
 出資金 一三〇、〇〇〇圓
 日本キヤンドル株式會社 同 北目町 大7・九東海林 明二郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 一一二、五〇〇圓
 株・仙臺魚市場 同 肴町 大7・九青野 敏夫
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 株・杉田商店 同 東四番丁 大7・三伊東 信藏
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 東華商事株式會社 同 南光院丁 大8・三佐藤 松三
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓
 仙臺平機業株式會社 同 琵琶首町 大8・四伊澤 平勝
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一七五、〇〇〇圓
 東北印刷株式會社 同 教樂院丁 大8・七山本 晃
 拂込 濟 一五〇、〇〇〇圓
 共立商事株式會社 同 東一番丁 大8・十佐藤 重兵衛

東北六縣銀行會社一覽

公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 東北骨粉肥料株式會社 同 東五番丁 大8・十 櫻井伊之助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五、〇〇〇圓
 仙臺味噌醬油株式會社 同 行人塚 大8・十 佐々木重兵衛
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 三二〇、〇〇〇圓
 仙臺鐵道株式會社 同 堤通 大8・十 奥野七次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 九七〇、六六八圓
 仙臺三業株式會社 同 東二番丁 大8・十 畑中桑治
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 小林商事株式會社 同 南材木町 大9・一 小林八郎右衛門
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 株・宮城倉庫 同 裏五番丁 大9・二 塚民三郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 仙臺畜産株式會社 同 名掛丁 大9・五 尾形利三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三一〇、〇〇〇圓
 東北製靴株式會社 同 名掛丁 大9・六 遊佐廣太
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五、〇〇〇圓
 株・若生本店 同 南町 大9・十 若生憲雄
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 東北度量衡合資會社 同 北材木町 大10・十 遊佐廣太
 出資金 一四〇、〇〇〇圓
 宮城電氣鐵道株式會社 同 裏五番丁 大11・九 山本豊次
 拂込濟 五、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・實業商會 同 國分町 大12・四 脇坂安二

公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 日東度量衡株式會社 同 同心町通 大12・六 鈴木孝一
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇、〇〇〇圓
 森永製品東北販賣株式會社 同 元寺小路 大12・九 門間喜五郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三八〇、〇〇〇圓
 紅久株式會社 同 田町 大12・十 八木久兵衛
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 奧羽石油株式會社 同 東一番丁 大12・十 横良三
 拂込濟 三〇〇、〇〇〇圓
 仙臺信託株式會社 同 東二番丁 大13・十 齋藤善右衛門
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五〇、〇〇〇圓
 株・三丸商店 同 花京院通 大14・一 藤彌代二
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 東北送電株式會社 同 北目町通 大14・三 小林久治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 八〇〇、〇〇〇圓
 中山平溫泉土地株式會社 同 裏五番丁 大14・五 高橋太一
 公稱 一七五、〇〇〇圓 拂込 五四、二五〇圓
 仙臺製氷株式會社 同 肴町 大14・六 青野敏夫
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 宗庫株式會社 同 肴町 大14・九 北條伊平
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 二〇〇、〇〇〇圓
 三陸木材株式會社 同 東三番丁 大15・四 青木清
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓

仙臺合同運送株式會社 同 東五番丁 昭2・四 中島亨次郎
 拂込濟 六〇〇、〇〇〇圓
 三油販賣株式會社 同 國分丁 昭3・三 板垣金造
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六六、二五〇圓
 株・淺見商店 同 名掛丁 昭3・四 淺見かつ
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 仙臺不動產株式會社 同 大町四丁目 昭3・六 熱海彦彦
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 帝國硫黃株式會社 同 末無掃部丁 昭3・九 杉本潤三
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 資・岩久酒造店 同 東二番丁 昭3・十 岩井文助
 出資金 一二〇、〇〇〇圓
 株・仙臺青物市場 同 河原町 昭4・四 西利兵衛
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 昭和土地株式會社 同 東二番丁 昭4・十 崎寅吉
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一一五、〇五〇圓
 仙臺五城土地建物株式會社 同 長町 昭5・四 熱海彦彦
 拂込濟 五五〇、〇〇〇圓
 株・仙都ビルデング 同 東一番丁 昭5・六 小島眞助
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 株・島田家具製作所 同 東九番丁 昭5・九 島田利八
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓

株・仙臺金港堂 同 大町 昭5・十 藤原佐吉
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 昭和興業株式會社 同 小田原宮町 昭5・十 石垣眞治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 及川合資會社 同 北八番丁 昭7・三 及川清質
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 株・福田商會 同 名掛丁 昭8・五 野澤百藏
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 東北共濟株式會社 同 國分町 昭9・四 早坂忠
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二〇〇、〇〇〇圓
 仙臺證券株式會社 同 拂込 昭9・五 芹川里三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 三和商事株式會社 同 東一番丁 昭9・十 濱田鶴吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 弘進護謄株式會社 同 行人塚 昭10・六 杉江仙次郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 名・伊澤酒造本店 同 上杉山通 昭10・九 伊澤平勝
 出資金 二〇〇、〇〇〇圓
 株・フナミヤ書店 同 東一番丁 昭11・三 吉川秀子
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 株・宮城縣日魯組 同 肴町 昭11・九 鈴木政藏
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・仙臺ホテル 同 裏五番丁 昭11・十 大泉勘壽郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 東北興業株式會社 同 勾當臺通 昭11・十 川越丈雄

公稱 三〇、〇〇〇、〇〇〇圓	拂込 一五、〇〇〇、〇〇〇圓	昭11・十 川越 丈雄
東北振興電力株式會社 同	昭11・十一 伊藤 貞之助	仙臺鹽元賣物株式會社 同
公稱 三〇、〇〇〇、〇〇〇圓	昭11・十二 吉村 忠藏	拂込 一五〇、〇〇〇圓
日電々波工業株式會社 同	昭11・十三 横田 善兵衛	東北振興皮革株式會社 同
公稱 五〇〇、〇〇〇圓	昭11・十四 三浦 善作	公稱 五〇〇、〇〇〇圓
大泉保全株式會社 同	昭11・十五 芳賀 奈七郎	東北振興土地株式會社 同
公稱 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・十六 山田 百政	公稱 五〇〇、〇〇〇圓
株・青葉製作所 同	昭11・十七 東海林 祐五郎	株・本山製作所 同
公稱 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・十八 東海林 祐五郎	公稱 五〇〇、〇〇〇圓
日本興業合資會社 同	昭11・十九 東海林 祐五郎	東北振興土地株式會社 同
出資金 五五〇、〇〇〇圓	昭11・二十 東海林 祐五郎	公稱 五〇〇、〇〇〇圓
明治製菓仙臺販賣所 同	昭11・二十一 東海林 祐五郎	株・惠比壽屋 同
公稱 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十二 東海林 祐五郎	公稱 一〇〇、〇〇〇圓
東北特殊鋼株式會社 同	昭11・二十三 東海林 祐五郎	鹿島屋製氷冷蔵株式會社 同
公稱 三〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十四 東海林 祐五郎	拂込 一五〇、〇〇〇圓
宮城縣是共榮蠶絲株式會社 同	昭11・二十五 東海林 祐五郎	三友合資會社 同
拂込 一、二〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十六 東海林 祐五郎	出資金 一〇〇、〇〇〇圓
東北振興水産株式會社 同	昭11・二十七 東海林 祐五郎	鹽釜運輸株式會社 同
拂込 五〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十八 東海林 祐五郎	鹽釜町
資・小山 組 同	昭11・二十九 東海林 祐五郎	
出資金 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・三十 東海林 祐五郎	
東北金屬工業株式會社 同	昭11・三十一 東海林 祐五郎	
公稱 七〇〇、〇〇〇圓	昭11・三十二 東海林 祐五郎	
丸菱礦業株式會社 同	昭11・三十三 東海林 祐五郎	
公稱 七〇〇、〇〇〇圓	昭11・三十四 東海林 祐五郎	
	昭11・三十五 東海林 祐五郎	
	昭11・三十六 東海林 祐五郎	
	昭11・三十七 東海林 祐五郎	
	昭11・三十八 東海林 祐五郎	
	昭11・三十九 東海林 祐五郎	
	昭11・四十 東海林 祐五郎	
	昭11・四十一 東海林 祐五郎	
	昭11・四十二 東海林 祐五郎	
	昭11・四十三 東海林 祐五郎	
	昭11・四十四 東海林 祐五郎	
	昭11・四十五 東海林 祐五郎	
	昭11・四十六 東海林 祐五郎	
	昭11・四十七 東海林 祐五郎	
	昭11・四十八 東海林 祐五郎	
	昭11・四十九 東海林 祐五郎	
	昭11・五十 東海林 祐五郎	

公稱 五〇〇、〇〇〇圓	拂込 一二五、〇〇〇圓	昭11・三 伊藤 貞之助
名・丸イ伊藤商店 同	昭11・四 芳賀 奈七郎	松島電車株式會社 同
出資金 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・五 山田 百政	拂込 一〇〇、〇〇〇圓
株・吉村商店 同	昭11・六 東海林 祐五郎	東北製氷冷蔵株式會社 同
拂込 二五〇、〇〇〇圓	昭11・七 東海林 祐五郎	公稱 一五〇、〇〇〇圓
松島灣汽船株式會社 官城郡鹽釜町	昭11・八 東海林 祐五郎	鹽釜文化住宅株式會社 同
公稱 一二五、〇〇〇圓	昭11・九 東海林 祐五郎	拂込 一五〇、〇〇〇圓
株・鹽釜商會 同	昭11・十 東海林 祐五郎	三浦製材合資會社 同
拂込 二〇〇、〇〇〇圓	昭11・十一 東海林 祐五郎	出資金 一〇〇、〇〇〇圓
鹽釜繩匠株式會社 同	昭11・十二 東海林 祐五郎	白石汽船株式會社 同
公稱 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・十三 東海林 祐五郎	公稱 二〇〇、〇〇〇圓
宮城養魚株式會社 同	昭11・十四 東海林 祐五郎	株・鹽釜通運 同
公稱 一〇〇、〇〇〇圓	昭11・十五 東海林 祐五郎	拂込 三〇〇、〇〇〇圓
潜浦石材株式會社 同	昭11・十六 東海林 祐五郎	株・鹽釜仲仕組 同
公稱 二〇〇、〇〇〇圓	昭11・十七 東海林 祐五郎	拂込 一五〇、〇〇〇圓
双立製氷倉庫株式會社 同	昭11・十八 東海林 祐五郎	鹽釜商事株式會社 同
公稱 三〇〇、〇〇〇圓	昭11・十九 東海林 祐五郎	拂込 三〇〇、〇〇〇圓
鹽釜倉庫株式會社 同	昭11・二十 東海林 祐五郎	鹽釜瓦斯株式會社 同
公稱 五〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十一 東海林 祐五郎	公稱 五〇〇、〇〇〇圓
帝國印刷株式會社 同	昭11・二十二 東海林 祐五郎	株・惠比壽屋 同
公稱 三〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十三 東海林 祐五郎	公稱 一〇〇、〇〇〇圓
鹽釜土地株式會社 同	昭11・二十四 東海林 祐五郎	鹿島屋製氷冷蔵株式會社 同
拂込 九〇二、〇〇〇圓	昭11・二十五 東海林 祐五郎	拂込 一五〇、〇〇〇圓
株・東海林商店 同	昭11・二十六 東海林 祐五郎	三友合資會社 同
公稱 二〇〇、〇〇〇圓	昭11・二十七 東海林 祐五郎	出資金 一〇〇、〇〇〇圓
	昭11・二十八 東海林 祐五郎	鹽釜運輸株式會社 同
	昭11・二十九 東海林 祐五郎	鹽釜町
	昭11・三十 東海林 祐五郎	
	昭11・三十一 東海林 祐五郎	
	昭11・三十二 東海林 祐五郎	
	昭11・三十三 東海林 祐五郎	
	昭11・三十四 東海林 祐五郎	
	昭11・三十五 東海林 祐五郎	
	昭11・三十六 東海林 祐五郎	
	昭11・三十七 東海林 祐五郎	
	昭11・三十八 東海林 祐五郎	
	昭11・三十九 東海林 祐五郎	
	昭11・四十 東海林 祐五郎	
	昭11・四十一 東海林 祐五郎	
	昭11・四十二 東海林 祐五郎	
	昭11・四十三 東海林 祐五郎	
	昭11・四十四 東海林 祐五郎	
	昭11・四十五 東海林 祐五郎	
	昭11・四十六 東海林 祐五郎	
	昭11・四十七 東海林 祐五郎	
	昭11・四十八 東海林 祐五郎	
	昭11・四十九 東海林 祐五郎	
	昭11・五十 東海林 祐五郎	

公稱 株・龜井商店 同	拂達 昭7・三 龜井運藏	公稱 株・山田屋 互理郡互理町	拂達 大9・一 山田周藏
公稱 株・三亥商店 同	昭8・八 鈴木孝一	公稱 互理米穀肥料株式會社 同	拂達 大10・七 鈴木專治
公稱 高砂養魚株式會社 同	拂達 昭11・二 鈴木忠助	公稱 千葉株式會社 遠田郡北浦村	拂達 大7・十 千田利作
公稱 日東肥料株式會社 同	昭11・三 片倉直人	公稱 株・木村運送店 同	拂達 大11・三 扇谷淑造
公稱 鹽釜魚市場 同	昭12・十 横田善兵衛	公稱 齋藤株式會社 同	拂達 昭4・七 齋藤慎七
公稱 東北船渠鐵工株式會社 同	鹽釜町杉ノ入	公稱 名・川敬商會 同	昭5・十 川名敬吾
公稱 拂達濟 三〇〇、〇〇〇圓	昭13・四 藤澤進	公稱 出資金 一八〇、〇〇〇圓	昭8・三 高橋駒之助
公稱 宮城相互肥料株式會社 同	多賀城村 昭13・六 片倉直人	公稱 株・小富士醸造所 加美郡小野田村	拂達 大8・三 高橋駒之助
公稱 資・内ヶ崎酒造店 黒川郡富谷村	拂達 大7・八 内ヶ崎賢五郎	公稱 加美製絲株式會社 同	拂達 大9・三 小野昌雄
公稱 出資金 一〇〇、〇〇〇圓	吉岡町 大9・九 吉田潤平	公稱 東北酒造株式會社 同	拂達 昭8・二 小野寺文也
公稱 日東酒造株式會社 名取郡岩沼町	拂達 大10・七 武田淑郎	公稱 株・岩出山製絲場 玉造郡岩出山町	拂達 大8・十 坪田忠市郎
公稱 閉上製氷株式會社 同	閉上町 大11・六 相澤重吉	公稱 岩出山酒造株式會社 同	拂達 大9・四 佐藤利助
公稱 増東軌道株式會社 同	増田町 大14・七 丹野甚助	公稱 株・岩出山機業場 同	拂達 昭三・三 齋藤直吉

公稱 鬼首鑛業株式會社 同	鬼首村 昭11・五 高橋運之進	公稱 三陸自動車株式會社 同	氣仙沼町 大14・三 伊與田嘉三郎
公稱 栗原軌道株式會社 栗原郡若柳町	拂達濟 三七五、〇〇〇圓	公稱 氣仙沼土地建物株式會社 同	拂達 昭3・十 齋藤直吉
公稱 仙北鐵道株式會社 同	藤里村 大8・三 佐藤鐵郎	公稱 株・氣仙沼運送店 同	拂達 昭4・七 鈴木平兵衛
公稱 築館土地株式會社 同	築館町 大10・三 大庭長三郎	公稱 兩陸鹽元賣捌株式會社 同	拂達 昭13・六 齋藤龜松
公稱 門傳造株式會社 同	長崎村 昭4・九 門傳勝太郎	公稱 齋藤株式會社 桃生郡前谷地村	拂達 明42・三 齋藤善右衛門
公稱 仙北鹽元賣捌株式會社 同	若柳町 昭13・六 古座藤吉	公稱 出資金 一七三、五〇〇圓	昭3・三 黑澤はる
公稱 石越醸造株式會社 登米郡石越村	拂達 昭2・三 八島徳郎	公稱 出資金 五〇〇、〇〇〇圓	昭11・四 齋藤宗藏
公稱 東邦産業株式會社 同	佐沼町 昭11・二 伊藤一治	公稱 金華山軌道株式會社 牡鹿郡渡波町	拂達 大11・八 玉井庸四郎
公稱 氣仙沼商會 同	本吉郡氣仙沼町 大8・八 浦定治	公稱 東北水産株式會社 同	女川町 昭3・三 磯村音介
公稱 宮城無盡株式會社 同	拂達 大9・三 高橋幸市	公稱 阿部株式會社 同	稻井村 昭10・三 阿部丙三郎
公稱 氣仙沼港製氷株式會社 同	拂達 大11・六 小田源次郎	公稱 女川合同運輸株式會社 同	女川町 昭11・五 成澤豐之助
公稱 志津川殖林株式會社 同	志津川町 大13・十 佐藤彌代二	公稱 女川水産株式會社 同	拂達 昭11・八 飯山太平

株・阿部喜商店 同 昭12・一 阿部喜惣右衛門
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 渡邊製氷冷蔵株式會社 同 渡波町 昭12・十 松田義勝
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 白石醸造株式會社 刈田郡白石町 明32・三 渡邊 又四郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五二、二五〇圓
 株・白石倉庫 同 明33・六 渡邊 貞一
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 壽丸合名會社 同 明39・三 渡邊 又四郎
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 大味合名會社 同 明42・九 鈴木 雄介
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 株・渡邊醸造部 同 大2・九 渡邊 彦四郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 渡邊株式會社 同 大3・五 渡邊 貞一
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三二二、五〇〇圓
 菅野株式會社 同 大8・一 菅野 新五郎
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 宮城珪藻土株式會社 同 大9・三 佐藤 忠治郎
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 丸市株式會社白石魚市場 同 大9・四 松野 源喜治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二八、〇〇〇圓
 白石製絲株式會社 同 大9・六 鈴木 雄介
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二〇〇、〇〇〇圓

福島縣

白石興産株式會社 同 大10・十 鈴木 菊藏
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三六五、〇〇〇圓
 白石運送株式會社 同 昭2・二 山崎 常七
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 大味醸造株式會社 同 昭2・三 鈴木 俊一郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 白石溫泉土地株式會社 同 昭9・三 高橋 幸作
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 北條合名會社 柴田郡槻木町 明42・四 北條 伊平
 出資金 二五〇、〇〇〇圓
 大河原貯金株式會社 同 大河原町 大3・五 山家 小治郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 株・仙南鹽元賣捌所 同 槻木町 大11・二 菊池 吉兵衛
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 大所株式會社 同 村田町 大13・二 大沼所左衛門
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三七五、〇〇〇圓
 仙南自動車株式會社 伊具郡角田町 昭4・八 秋山 源之進
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓

株・民友新聞社 同 大町 大2・九 氏家 清
 拂込 三三〇、〇〇〇圓
 福島製氷株式會社 同 曾根田 大7・五 岩澤 岩次郎
 公稱 一三三、〇〇〇圓 拂込 六八、〇〇〇圓
 株・九笹機業場 同 大8・二 紺野 忠吉
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 株・東商會 同 五月町 大8・九 菊田 重藏
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 名・横田商店 同 荒町 大9・六 横田 慎治郎
 出資金 三〇〇、〇〇〇圓
 資・稻葉組 同 曾根田 大12・五 稻葉 常松
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 福島縣製絲株式會社 同 榮町 大12・六 海野 良澄
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 資・大島組 同 杉妻町 大13・四 大島 長十郎
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 福島銘醸株式會社 同道滿塚 大13・十 西谷 小兵衛
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 資・西形商店 同 本町 大15・十 西形 吉次郎
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 株・村上只七商店 同 置賜町 大13・十 村上 只七
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 株・松葉館 同 杉妻町 大15・七 伊藤 せん
 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 福島合同運送株式會社 同 榮町 昭2・一 尾越 寅次郎

株・福島モーター商會 同 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 荒川電力株式會社 同 中町 昭2・三 風間 善九郎
 公稱 一〇四、〇〇〇圓 拂込 七二、二五〇圓
 資・粉又商店 同 上町 昭3・六 田子 健吉
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五四、〇〇〇圓
 株・油井商店 同 大町 昭8・四 渡邊 嘉六
 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 資・大原病院 同 昭9・三 大原 一
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 名・ツタヤ洋品店 同 本町 昭10・二 齋藤 義助
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 共同證券合資會社 同 置賜町 昭10・八 鈴木 文七
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 福島電化株式會社 同 昭10・十 西形 吉次郎
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 帝國化學工業株式會社 同 矢劍町 昭11・五 菊野 長義
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 株・日産防水工業所 同 下釜 昭13・四 油井 宇八
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 眞野川電氣株式會社 同 仲間町 昭13・四 風間 善九郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 福島産業株式會社 同 榮町 昭13・五 風間 善九郎
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓

株・福島ニッサン商會 同	上町 昭13・八金子與左	拂込 昭13・八金子與左	二五、〇〇〇圓	橋本名合會社 郡山市大町	明41・十橋本萬右衛門	出資金 二〇〇、〇〇〇圓	郡山倉庫株式會社 同 燧田	大2・六湯淺音彌	拂込 大2・六湯淺音彌	五〇、〇〇〇圓	郡山無盡株式會社 同	大3・五遊佐丑松	拂込 大3・五遊佐丑松	七二、五〇〇圓	東北製氷株式會社 同 柳内	大6・六内藤傳之助	拂込 大6・六内藤傳之助	一六、〇〇〇圓	資・津野吳服店 同	大8・四津野子之吉	拂込 大8・四津野子之吉	一六、〇〇〇圓	株・丸伊吳服店 同 中町	大9・四今泉得三	拂込 大9・四今泉得三	一〇、〇〇〇圓	株・山口酒造店 同 本町	大9・七道山茂兵衛	拂込 大9・七道山茂兵衛	二五、〇〇〇圓	丸七土地建物株式會社 同 中町	大10・十佐藤波平	拂込 大10・十佐藤波平	二五、〇〇〇圓	名・小松醬油店 同 咲田町	大12・五渡邊佐久	拂込 大12・五渡邊佐久	二五、〇〇〇圓	出資金 一〇〇、〇〇〇圓	日東工業株式會社 同 兵庫田	大14・四高木治作	拂込 大14・四高木治作	三七、五〇〇圓	郡山通運株式會社 同 燧田	昭2・三錨彦可	拂込 昭2・三錨彦可	二五、〇〇〇圓
拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓	名・松葉商店 同 柳町	昭3・五松葉喜助	郡山合同證券株式會社 同 大町	昭3・六橋本萬右衛門	郡山湯本電鐵株式會社 同 燧田	昭4・一柳沼彌右衛門	公稱 四、〇〇〇、〇〇〇圓	郡山湯本電鐵株式會社 同 燧田	昭4・一柳沼彌右衛門	二〇〇、〇〇〇圓	公稱 二、〇〇〇、〇〇〇圓	名・うすゐ 同 中町	昭5・十薄井貢	公稱 一〇〇、〇〇〇圓	同盟起業株式會社 同 兵庫田	昭11・十石井伊兵衛	拂込 昭11・十石井伊兵衛	七五、〇〇〇圓	株・佐藤商店 同 本町	昭12・一岩崎吉之助	拂込 昭12・一岩崎吉之助	一〇、〇〇〇圓	株・マルシメ商店 同 中町	昭13・二藤田榮久	拂込 昭13・二藤田榮久	七五、〇〇〇圓	郡山自動車株式會社 同 燧田	昭13・三中谷保	拂込 昭13・三中谷保	五〇、〇〇〇圓	會津電力株式會社 若松市榮町	明33・三高瀬八郎	拂込 明33・三高瀬八郎	二〇〇、〇〇〇圓	會津勸業無盡株式會社 同 七日町	大2・六佐原豐八郎	拂込 大2・六佐原豐八郎	二〇〇、〇〇〇圓	名・白木屋漆器店 同	大7・十高瀬喜左衛門	拂込 大7・十高瀬喜左衛門	二〇〇、〇〇〇圓	林合名會社 同 材木町	大8・三林健次郎	拂込 大8・三林健次郎	二五、〇〇〇圓	

會津酒造株式會社 同 榮町	大9・四河野善九郎	拂込 大9・四河野善九郎	二五、〇〇〇圓	若松木材株式會社 同	大10・三林健次郎	拂込 大10・三林健次郎	一〇〇、〇〇〇圓	若松商事株式會社 同 大町	大10・四川島榮一郎	拂込 大10・四川島榮一郎	七五、〇〇〇圓	會津製氷株式會社 同 徒ノ町	大10・六白井榮一	拂込 大10・六白井榮一	一七五、〇〇〇圓	勸業商事株式會社 同 七日町	大10・十山内芳美	拂込 大10・十山内芳美	一七五、〇〇〇圓	林・紡織合名會社 同 老町	大13・八林平藏	拂込 大13・八林平藏	一〇〇、〇〇〇圓	株・塚原吳服店 同 七日町	大15・三塚原嘉吉	拂込 大15・三塚原嘉吉	一五〇、〇〇〇圓	株・小國屋本店 同 六日町	昭3・三長谷川敬治	拂込 昭3・三長谷川敬治	二五、〇〇〇圓	會津電力證券株式會社 同 榮町	昭4・二高瀬八郎	拂込 昭4・二高瀬八郎	五〇、〇〇〇圓	株・澁川商店 同 七日町	昭9・三澁川善太郎	拂込 昭9・三澁川善太郎	一〇〇、〇〇〇圓	會津タクシ一株式會社 同	昭12・七加藤幸平	拂込 昭12・七加藤幸平	一〇〇、〇〇〇圓	株・金萬岸商會 同 大町堅丁	昭13・三岸萬平	拂込 昭13・三岸萬平	一〇〇、〇〇〇圓	磐城商事株式會社 同 市四丁目	明34・三鈴木辰三郎	拂込 明34・三鈴木辰三郎	二四八、〇〇〇圓	
磐城勸業株式會社 同 鍛冶町	大元・三中野甲藏	拂込 大元・三中野甲藏	三七、五〇〇圓	製氷株式會社 同 五丁目	大8・三木村清治	拂込 大8・三木村清治	三二四、〇〇〇圓	木炭株式會社 同 榎樋小路	大8・三佐川辰次郎	拂込 大8・三佐川辰次郎	三七、五〇〇圓	堀江工業株式會社 同	大9・一鈴木唯治	拂込 大9・一鈴木唯治	一五〇、〇〇〇圓	土地株式會社 同 鍛冶町	大9・三中野甲藏	拂込 大9・三中野甲藏	五〇、〇〇〇圓	電力株式會社 同 田町	大13・六栗原一郎	拂込 大13・六栗原一郎	四二〇、〇〇〇圓	株・ホシ薬舗 同 三丁目	大13・三駒木根忠三	拂込 大13・三駒木根忠三	二五、〇〇〇圓	鹽屋山崎合名會社 同 古鍛冶町	大14・三山崎與三郎	拂込 大14・三山崎與三郎	二五、〇〇〇圓	出資金 一五〇、〇〇〇圓	株・百澤商店 同 四丁目	大15・三百澤易興	拂込 大15・三百澤易興	一五〇、〇〇〇圓	運輸株式會社 同 田町	大15・三阿部政右衛門	拂込 大15・三阿部政右衛門	一五〇、〇〇〇圓	株・平魚市場 同 大工町	昭3・三野崎滿藏	拂込 昭3・三野崎滿藏	一〇〇、〇〇〇圓	片倉磐城製絲株式會社 同 三倉	昭3・三今井五六	拂込 昭3・三今井五六	一〇〇、〇〇〇圓	資・丸山組 同 田町	昭4・一丸山喜一郎	拂込 昭4・一丸山喜一郎	一〇〇、〇〇〇圓

出資金 三二〇、〇〇〇圓
 株・丸ほん店 同 三町
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 諸橋合名會社 同 五丁目
 出資金 五〇〇、〇〇〇圓
 磐城無盡株式會社 同 大町
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 中村探炭株式會社 同 大町
 拂込濟 三〇〇、〇〇〇圓
 信達製絲株式會社 信夫郡飯坂町
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 日東紡績株式會社 同 杉妻村
 公稱 二九、六〇〇、〇〇〇圓
 飯坂倉庫株式會社 同 中野村
 公稱 一六〇、〇〇〇圓
 菅野合資會社 同 大笹生村
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 遠藤合資會社 同 大森村
 出資金 一七八、八〇〇圓
 森永東北農産工業株式會社 同
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓
 信夫温泉興業株式會社 同 水保村
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 奥山合名會社 伊達郡藤田村
 明43・一 奥山イシ

出資金 一九五、〇〇〇圓
 川俣委託株式會社 同 川俣町
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 福島電氣鐵道株式會社 同 長岡村
 公稱 一、八六〇、〇〇〇圓
 川俣運送株式會社 同 川俣町
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 東和石油株式會社 同 桑折町
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・和泉屋 同 梁川町
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 株・長岡製絲所 同 長岡村
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 資・武藤商店 同 川俣町
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 東海相互肥料株式會社 同 藤田町
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 安達實業株式會社 安達郡二本松町
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 小濱實業株式會社 同 小濱町
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓
 二本松保全株式會社 同
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 本宮肥料株式會社 同 本宮町
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 拂込 大2・八 渡邊眞藏 一一〇、〇〇〇圓

二本松商事株式會社 同 二本松町
 公稱 一一〇、〇〇〇圓
 株・七島商店 同
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 本宮合同運送株式會社 同 本宮町
 公稱 一五〇、〇〇〇圓
 株・會陽製紙工場 同 二本松町
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓
 資・佐原商店 同 本宮町
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 福島物産株式會社 同
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 本宮自動車株式會社 同 本宮村
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 大瀧根石材株式會社 田村郡大越村
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 三春鑛業株式會社 同 大越村
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 株・船引肥料倉庫 同 船引町
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 片會根製絲株式會社 同 片會根村
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓
 株・三盛社 同 日向町
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓
 移川水電株式會社 同 三春町

公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 常葉軌道株式會社 同 常葉町
 公稱 一五〇、〇〇〇圓
 三春合同運送株式會社 同 御木澤村
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 須賀川商事株式會社 岩瀬郡須賀川町
 公稱 七五〇、〇〇〇圓
 東北葡萄酒株式會社 同
 公稱 一〇五、〇〇〇圓
 須賀川酒造株式會社 同
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 株・須賀川倉庫 同
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 東北製綿株式會社 同
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 平和酒造株式會社 同
 公稱 一五〇、〇〇〇圓
 鏡石酒造株式會社 岩瀬郡鏡石村
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 須賀川醬油株式會社 同 須賀川町
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓
 須賀川通運株式會社 同
 拂込濟 二二〇、〇〇〇圓
 田島商事株式會社 南會津郡田島町
 公稱 三五〇、〇〇〇圓
 拂込 明29・九 渡部貞助 二二五、〇〇〇圓

會津製材株式會社 同 昭13・一 湯田長造
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 共立金融株式會社 耶麻郡猪苗代町 明26・五 松江四郎平
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 名・大善吳服店 同 喜多方町 明44・四 矢部善兵衛
 出資金 一、二五〇、〇〇〇圓
 會津機業株式會社 同 鹽川町 大8・五 深田佑助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 會陽製絲株式會社 耶麻郡喜多方町 大9・四 五十嵐小右衛門
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 會津勸業株式會社 同 大10・八 高橋新之介
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四五、〇〇〇圓
 喜多方合同運送株式會社 同 昭2・二 梅本兵意
 拂込濟 一、二二〇、〇〇〇圓
 風間合名會社 同 昭7・三 風間善九郎
 出資金 五〇〇、〇〇〇圓
 東北產金株式會社 耶麻郡一ノ木村 昭11・四 光瀬權四郎
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・新 東 山 北會津郡東山村 大14・三 星清吉
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 會津若松運送株式會社 同 東箕村 昭2・四 高橋倉市
 公稱 二、二五〇、〇〇〇圓 拂込 二〇七、〇〇〇圓
 白棚鐵道株式會社 西白河郡白河町 大3・六 佐久間平三郎
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 白河鑛造株式會社 同 大3・十 山口哲吉

公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 山福魚問屋合名會社 同 大3・三 佐藤虎之助
 出資金 一、二二五、〇〇〇圓
 東北石材株式會社 同 大8・三 木村仙吉
 公稱 三七五、〇〇〇圓 拂込 九三、七五〇圓
 株・白 清 館 同 大9・六 清水清助
 公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四五〇、〇〇〇圓
 白河倉庫株式會社 同 大9・九 安田平助
 公稱 一、二〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇、〇〇〇圓
 磐城鐵道株式會社 同 大11・八 件裕之
 公稱 七五〇、〇〇〇圓 拂込 四二五、〇〇〇圓
 御藏入開發株式會社 同 大14・四 都築充親
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 矢吹合同運送株式會社 西白河郡矢吹町 昭2・四 菊地長雄
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 白河合同運送株式會社 同 白河町 昭2・八 佐久間平三郎
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 白河製紙株式會社 同 昭10・九 天野潔
 拂込濟 一、五〇〇、〇〇〇圓
 福島合同自動車株式會社 同 昭13・九 矢野政男
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇、〇〇〇圓
 東白商事株式會社 東白川郡常豐村 大4・四 金澤春友
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 磐城造林株式會社 石城郡窪田村 明44・二 赤津庄兵衛

公稱 一二五、〇〇〇圓 拂込 六八、七五〇圓
 磐城海岸軌道株式會社 同 小名濱町 大4・六 中野友禮
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 植田物產株式會社 同 植田町 大5・四 金成通
 公稱 一、二〇〇、〇〇〇圓 拂込 七二、〇〇〇圓
 小名濱商事株式會社 同 小名濱町 大8・七 小野普平
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 小名濱水產株式會社 同 大8・七 水野政次郎
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 四倉産業株式會社 同 四倉町 大9・三 吉田保之助
 公稱 五五〇、〇〇〇圓 拂込 二二、五〇〇圓
 磐陽商事株式會社 同 小名濱町 大9・八 丹野彦太郎
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 常磐工業株式會社 同 鮫川村 大9・八 小野庄一
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 渡邊商事株式會社 同 小名濱町 大10・六 渡邊繁太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 石城植林株式會社 同 窪田村 大10・七 渡邊繁太郎
 拂込濟 一、五〇〇、〇〇〇圓
 萬年瓦工業株式會社 同 四倉町 大11・十 江口清
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四〇、〇〇〇圓
 株・共榮商會 同 江名町 大14・五 吉田政雄
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 磐城水產工業株式會社 同 小名濱町 大15・三 小野普平
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓

勿來運送株式會社 同 勿來町 昭2・一 赤津庄兵衛
 公稱 一、二五〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 湯本合同運送株式會社 同 湯本町 昭2・六 長岡義守
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四〇、〇〇〇圓
 資・小名濱大網漁場 同 小名濱町 昭3・五 郡司二郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 馬目合名會社 同 內鄉村 昭10・十 馬目太平治
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 昭和炭業株式會社 同 植田町 昭12・九 中村恭三
 込濟拂 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 隅田川鑛業株式會社 同 好間村 昭13・二 小西吉治
 拂込濟 八〇〇、〇〇〇圓
 東日本漁業株式會社 同 小名濱町 昭13・十 水野政次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 富岡煉瓦株式會社 双葉郡富岡町 大9・四 馬場忠俊
 公稱 一、六〇〇、〇〇〇圓 拂込 九六、〇〇〇圓
 資・久之濱大謀網漁場 同 久之濱町 昭3・九 新妻雄一
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 眞野川電力合資會社 相馬郡鹿島町 昭2・八 吉岡善藏
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 八澤浦産業株式會社 同 八澤村 昭3・四 山田茂治
 公稱 三五〇、〇〇〇圓 拂込 二二〇、〇〇〇圓
 相馬干拓株式會社 同 中村町 昭4・一 前川松次郎
 公稱 二、三〇〇、〇〇〇圓 拂込 二〇七、五〇〇圓
 株・油屋商店 同 原町 昭6・一 門馬直次郎

公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 六七、五〇〇圓
 株・綿屋吳服店 同 小高町 昭10・八 吉田 清兵衛
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓
 松井機器株式會社 同 原町 昭11・四 難波 秀吉
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓 大14・三 後藤 佐治郎
 杉峠金山株式會社 河沼郡柳津村
 拂込濟 三、〇〇〇、〇〇〇圓

岩手縣

盛岡電燈株式會社 盛岡市紺屋町 明37・七 中岡 孫一郎
 公稱 一〇、七八五、〇〇〇圓 拂込 八、三二七、二五〇圓
 岩手商會株式會社 同 茅町 明41・六 石川 嘉七
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 盛岡製綿株式會社 同 新庄田中 明44・五 川村 松助
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一八〇、〇〇〇圓
 川口荷札株式會社 同 日影門外小路 大3・八 田島 貞雄
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七二、五〇〇圓
 岩手農蠶株式會社 同 大澤川原小路 大7・二 國分 謙吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五、〇〇〇圓
 岩手林業株式會社 同 菜園 拂込 大7・四 三田 義一
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 二二五、〇〇〇圓
 盛岡無盡株式會社 同 吳服町 大8・六 宇部 政文
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓 大8・七 池野 三次郎
 株・木三商會 同 肴町

公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 岩手無盡株式會社 同 内丸 大9・一 吉田 庄四郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一七五、〇〇〇圓
 岩手興農株式會社 同 大澤川原小路 大9・二 内田 德四郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 岩手製氷株式會社 同 本町 拂込 大10・二 吉田 與平治
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓
 丸和組土地建物株式會社 同 志家 拂込 大10・七 會田 鍊一
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 盛岡倉庫株式會社 同 平戸 拂込 大10・七 中市 陸造
 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 東北衡器株式會社 同 馬場小路 大11・十 砂子田 賢之助
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 岩手製綿株式會社 同 西下臺 拂込 大11・三 鎌田 逸郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 盛岡土地建物株式會社 同 本町 拂込 大12・四 上野 正一郎
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇、〇〇〇圓
 盛岡農具株式會社 同 新穀町 拂込 大12・九 池野 藤兵衛
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 東北製綿株式會社 同 松尾前 拂込 大13・六 川村 清助
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 八二、五〇〇圓
 株・盛岡土地 同 茸手町 拂込 大13・十 龜島 重治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五、〇〇〇圓
 盛岡興信株式會社 同 紺屋町 拂込 大14・三 平野 安平
 公稱 二、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、二〇〇、〇〇〇圓

株・盛岡通運 同 下厨川平戸 昭2・一 石川 伊助
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一三八、〇〇〇圓
 株・絲屋吳服店 同 新穀町 昭2・三 中村 寅三郎
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 九〇、〇〇〇圓
 盛岡物産株式會社 同 下臺 昭2・六 大矢 權二郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 南部土地株式會社 同 菜園 昭2・八 白井 定民
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四五〇、〇〇〇圓
 松島川電氣工業株式會社 同 仁王菜園 昭3・五 福士 進
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 金田一同族株式會社 同 上衆小路 昭3・三 金田一 國土
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 株・松喜屋 同 仁王第五地割 昭4・一 鈴木 國雄
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 株・村源商店 同 肴町 昭4・一 村井 源一
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇、〇〇〇圓
 株・三田商店 同 内丸 昭4・四 三田 義一
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 岩手縣是製絲株式會社 同 下厨川 昭4・十 今井 伍介
 公稱 三、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、五〇〇、〇〇〇圓
 昭和商事株式會社 同 六日町 昭4・三 齋藤 德治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 三田合資會社 同 内丸 昭4・三 三田 義一
 出資金 一、四五〇、〇〇〇圓

東北六縣銀行會社一覽

盛岡不動產株式會社 同 昭5・二 川島 一郎
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 盛岡瓦斯株式會社 同 六日町 昭5・五 一戸 三矢
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 二二五、〇〇〇圓
 池野株式會社 同 新穀町 昭5・三 池野 豐松
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・木津屋本店 同 昭5・三 池野 藤兵衛
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・平金商店 同 肴町 昭6・一 平野 金八
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 盛岡食品市場株式會社 同 菜園 昭6・十 上野 正一郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二〇〇、〇〇〇圓
 名・川德吳服店 同 肴町 昭8・八 川村 德助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 株・中央映畫劇場 同 仁王菜園 昭10・六 小泉 多三郎
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 資・盛岡電化工業所 同 馬町 昭10・七 松本 彦左衛門
 出資金 二〇〇、〇〇〇圓
 振興自動車株式會社 同 仁王菜園 昭11・九 帷子 康一郎
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 名・濱藤酒造店 同 仙北町 昭11・九 關口 藤右衛門
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 旭山鑛業株式會社 同 仁王小路 昭12・十 石川 吉之進
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 株・盛岡精器製作所 同 仁王第三地割 昭13・九 遠藤 政直
 拂込濟 一、〇〇〇、〇〇〇圓

公稱 五〇〇,〇〇〇圓	東北振興織維工業株式會社 同	拂込 二五〇,〇〇〇圓	仁王第四地割
公稱 一,〇〇〇,〇〇〇圓	三陸汽船株式會社 釜石市	拂込 七五〇,〇〇〇圓	昭13・十 權野與七
公稱 五〇〇,〇〇〇圓	大洋製水株式會社 同	拂込 明41・四 中大路氏道	大13・九 澤田 權兵衛
公稱 一三〇,〇〇〇圓	釜石魚市場株式會社 同	拂込 昭4・八 佐藤 德四郎	昭5・十 丸木 榮之助
公稱 三〇〇,〇〇〇圓	資・釜石酒造商店 同	拂込 昭6・四 新里カッ	昭12・五 及川 新作
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・岩手商行 同	拂込 昭6・九 高橋 定吉	七二・五〇〇圓
公稱 一六〇,〇〇〇圓	株・釜石通運 同	拂込 昭10・一 米谷久左衛門	六〇,〇〇〇圓
公稱 一五〇,〇〇〇圓	株・黑澤尻金庫 和賀郡黑澤尻町	拂込 昭11・五 村上源吉	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	東北コンクリート工業株式會社 同	拂込 昭11・五 工藤 吉太郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一五〇,〇〇〇圓	平和醸造株式會社 同	拂込 昭2・五 郡司 種三	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・横黒運送店 同		
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・横黒運送店 澤田村		
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	黑澤尻運送株式會社 同		
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	川尻合同運送株式會社 同	拂込 昭2・三 工藤 吉太郎	七五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	川邊酒造株式會社 同	拂込 昭5・一 齋藤 四郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	名・宮澤商店 神貫郡花卷町	拂込 大2・四 宮澤 直治	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	花卷製綿株式會社 同	拂込 大8・六 市野川 周助	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	梅津合資會社 同	拂込 大8・六 梅津 東四郎	
公稱 一七〇,〇〇〇圓	株・箱崎庄吉商店 同	拂込 大8・十 箱崎 庄吉	
公稱 六〇〇,〇〇〇圓	東北興業株式會社 同	拂込 大8・十 金野 英三	
公稱 八〇〇,〇〇〇圓	花卷溫泉電氣鐵道株式會社 神貫郡湯本村	拂込 大15・九 中岡 孫一郎	
公稱 六〇〇,〇〇〇圓	株・花卷通運 同	拂込 昭2・八 小原 政治	
公稱 一四五,〇〇〇圓	株・花卷溫泉 同	拂込 昭3・十 中岡 孫一郎	
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	株・田村酒造商店 同	拂込 昭5・三 田村 德兵衛	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	東北電燈株式會社 膽澤郡水澤町	拂込 大12・十 小林 久治	

公稱 四,七三七,四〇〇圓	株・水澤通運 同	拂込 昭2・九 辻山 右平	二〇,〇〇〇圓
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	株・池田保全社 同	拂込 昭6・三 池田 省治郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	一關酒造株式會社 西磐井郡一關町	拂込 大8・十 菅原 義雄	三一,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	磐井興産株式會社 同	拂込 大8・十 田野崎幸右衛門	五〇,〇〇〇圓
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	株・横屋酒造店 同	拂込 昭8・十 佐藤 德藏	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・横屋酒造店 一關町	拂込 昭40・一 佐藤 良平	
公稱 五〇〇,〇〇〇圓	横屋株式會社 東磐井郡摺澤村	拂込 昭3・四 熊谷 秀松	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	熊谷合資會社 同	拂込 昭4・十 高橋 篤四	
公稱 二五〇,〇〇〇圓	高橋合名會社 同	拂込 昭4・十 伊藤 勇藏	三七,五〇〇圓
公稱 一五〇,〇〇〇圓	長部運送倉庫株式會社 氣仙郡氣仙町	拂込 昭11・四 澁谷 澄	四,二五〇,〇〇〇圓
公稱 五〇〇,〇〇〇圓	東北セメント株式會社 同	拂込 昭14・一 澤田 政藏	三〇,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	大槌味噌醬油株式會社 上閉伊郡大槌町	拂込 昭14・一 澤田 政藏	三〇,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	岩泉電氣株式會社 下閉伊郡岩泉町	拂込 昭14・一 澤田 政藏	三〇,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	岩泉電氣株式會社 同	拂込 昭14・一 澤田 政藏	三〇,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	久慈殖産株式會社 同	拂込 昭5・三 小笠原 龜次郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・若松 同	拂込 昭5・三 小笠原 龜次郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	久慈興業株式會社 九戸郡久慈町	拂込 昭3・十 宇部 勘五郎	
公稱 一五〇,〇〇〇圓	九戸水力電氣株式會社 同	拂込 大6・十 中野 清吉	
公稱 一八五,〇〇〇圓	輕米水力電氣株式會社 九戸郡輕米町	拂込 大7・八 國分 喜一	
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	久慈殖産株式會社 同	拂込 大10・五 中野 清吉	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・宮古通運 宮古郡于良町	拂込 昭8・十 菊池 長右衛門	七五,〇〇〇圓
公稱 一五〇,〇〇〇圓	名・中善商店 江刺郡岩谷堂	拂込 昭8・十 小原 善次郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	久慈興業株式會社 同	拂込 昭3・十 宇部 勘五郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	石神商事株式會社 同	拂込 昭12・二 中島 磯太郎	三七,五〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	日東水産工業株式會社 同	拂込 昭8・十 菊池 長右衛門	七五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	宮古物産市場株式會社 同	拂込 大12・五 山田 庄助	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	泉金合名會社 同	拂込 大14・三 八重樫 金十郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	出資金 同	拂込 昭8・十 玉山 初郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	熊谷證券株式會社 同	拂込 大10・九 熊谷 眞一	一六五,〇〇〇圓
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	宮古物産市場株式會社 同	拂込 大12・五 山田 庄助	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	泉金合名會社 同	拂込 大14・三 八重樫 金十郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	出資金 同	拂込 昭8・十 玉山 初郎	二五,〇〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	石神商事株式會社 同	拂込 昭12・二 中島 磯太郎	三七,五〇〇圓
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	日東水産工業株式會社 同	拂込 昭8・十 菊池 長右衛門	七五,〇〇〇圓
公稱 一五〇,〇〇〇圓	株・宮古通運 宮古郡于良町	拂込 昭8・十 小原 善次郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	名・中善商店 江刺郡岩谷堂	拂込 昭3・十 宇部 勘五郎	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	久慈興業株式會社 九戸郡久慈町	拂込 昭3・十 宇部 勘五郎	
公稱 一五〇,〇〇〇圓	九戸水力電氣株式會社 同	拂込 大6・十 中野 清吉	
公稱 一八五,〇〇〇圓	輕米水力電氣株式會社 九戸郡輕米町	拂込 大7・八 國分 喜一	
公稱 二〇〇,〇〇〇圓	久慈殖産株式會社 同	拂込 大10・五 中野 清吉	
公稱 一〇〇,〇〇〇圓	株・若松 同	拂込 昭5・三 小笠原 龜次郎	二五,〇〇〇圓

東北六縣銀行會社一覽

馬淵川電氣株式會社 二戶郡福岡町 大2・一國分市郎
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 五四〇、〇〇〇圓
 陸奥電力株式會社 同 大7・十國分市郎
 公稱 一〇五、〇〇〇圓 拂込 一〇一五、〇〇〇圓
 株・平六商店 紫波郡日詰町 昭4・九菊池長右衛門
 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 大東鐵業株式會社 岩手郡沼宮内町 昭2・八伊藤政久
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・岩手鐵工所 同 本宮村 昭12・八高橋佐太郎
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 四二五、〇〇〇圓

青森縣

名・若由商店 青森市安方町 明43・二若井由五郎
 出資金 一三〇、〇〇〇圓
 大濠木材株式會社 同 浪打 大元・八織田重信
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 株・大印運送店 同 安方町 大7・四松尾福次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 株・青森造船鐵工所 同 舘貝町 大7・三石館喜久造
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一四〇、〇〇〇圓
 橫内金融株式會社 同 濱町 大7・三橫内忠作
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 一三三、五〇〇圓
 青森運輸株式會社 同 新濱町 大8・二若井由五郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五六、〇〇〇圓

青森鹽元賣捌所 同 米町 大8・六和田喜左衛門
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇、〇〇〇圓
 株・東奥日報社 同 長島 大8・八山田金次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓
 青森製水株式會社 同 新濱町 大9・二福岡政次郎
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 小館木材株式會社 同 舘貝町 大9・三成見唯七
 拂込濟 一三〇、〇〇〇圓
 株・松木屋吳服店 同 新町 大10・四平山爲之助
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 青森製材製柱株式會社 同 大町 大10・七坂本周八郎
 公稱 一二五、〇〇〇圓 拂込 四二、二五〇圓
 青森不動產株式會社 同 寺町 大10・八川口榮之進
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇〇、〇〇〇圓
 株・東北タング商會 同 濱町 大10・三橫内忠作
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二二五、〇〇〇圓
 株・青森館 同 浦町 大11・二石岡由藏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七二、〇〇〇圓
 青森新炭株式會社 同 大11・七鈴木定次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 青森無盡株式會社 同 新安方町 大11・八藤林源右衛門
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五三〇、〇〇〇圓
 株・青森臨港倉庫 同 新町 大11・十山崎繁衛
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 五六、〇〇〇圓
 丸進青森廢物株式會社 同 新町 大11・十山崎繁衛

丸東運輸株式會社 同 安方町 拂込 二五、〇〇〇圓
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 株・三輪運送店 同 浦町 拂込 二五、〇〇〇圓
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 二葉商事株式會社 同 浦町 拂込 大13・九中村志加一
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 渡邊株式會社 同 米町 拂込 大13・九樋口喜一郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 青森保養株式會社 同 濱町 拂込 大13・十渡邊佐助
 拂込濟 一三〇、〇〇〇圓
 大東食品株式會社 同 造道 拂込 大14・五岩谷源吉
 拂込濟 四五〇、〇〇〇圓
 株・青森通運 同 古川 拂込 大15・四角野七藏
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓
 株・東奥自動車商會 同 濱町 拂込 昭2・二小田桐政信
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 株・盛喜商店 同 米町 拂込 昭2・二高野平内
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓
 青森工業碎石株式會社 同 造道 拂込 昭5・四盛田喜平治
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 資・石館藥房 同 大町 拂込 昭6・七竹内利佐吉
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 青森瓦斯株式會社 同 古川柳川 拂込 昭8・五石館喜久藏
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭8・九紅林直方
 五〇、〇〇〇圓

東北六縣銀行會社一覽

津輕急行自動車株式會社 同 新町 昭8・十長谷川與助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 九六、〇〇〇圓
 菊池商事株式會社 同 浦町 拂込 昭10・一菊池仁康
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 青森水産株式會社 同 新安方町 拂込 昭10・十千葉繁
 公稱 一五〇、〇〇〇圓
 宮川商事株式會社 同 大町 拂込 昭11・三宮川初太郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓
 株・磯野回漕店 同 新濱町 拂込 昭11・三田沼敬造
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 泰平産業株式會社 同 濱町 昭12・五黑崎勝治
 拂込濟 四九〇、〇〇〇圓
 青森縣振興漁業株式會社 同 舘貝町 昭12・六澤地甚藏
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 青森合同雜詰株式會社 同 新安方町 昭12・六郡彦吉
 拂込濟 四〇〇、〇〇〇圓
 株・青森商船 同 新濱町 昭12・三駒谷勝太郎
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 富國鑛産株式會社 同 黒石町 昭13・三小澤常次郎
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 森永製品興羽販賣株式會社 同 浦町 昭14・八山田正一
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 株・角弘鐵店 弘前市土手町 拂込 昭31・六福永安孝
 株・弘前倉庫 同 北瓦ヶ町 明32・八宮川光純

公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	四三,〇〇〇圓	公稱	一五〇,〇〇〇圓	拂込	一〇五,〇〇〇圓
株・北日本農園	同	親方町	大八・三	公稱	八〇〇,〇〇〇圓	八戸市本徒土町	明34・一
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	四三,〇〇〇圓	出資金	一〇〇,〇〇〇圓	八戸市本徒土町	明34・一
東北織物株式會社	同	代官町	大9・三	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	柏崎	大7・二
公稱	三三三,〇〇〇圓	拂込	一七三,八〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	小中野町	大8・八
弘前織物株式會社	同	龜甲町	大9・三	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	小中野町	大8・八
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	四〇,〇〇〇圓	公稱	二五〇,〇〇〇圓	類家	大8・十
福島醸造株式會社	同	富田	大11・十	公稱	二五〇,〇〇〇圓	類家	大8・十
公稱	五〇〇,〇〇〇圓	拂込	四八五,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	小中野町	大8・三
株・宮川吳服店	同	土手町	大12・一	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	宮川忠助	大12・一
公稱	三〇〇,〇〇〇圓	拂込	四八五,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	元寺町	大13・四
弘前無蓋株式會社	同	元寺町	大13・四	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	唐牛敏世	大13・四
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	四〇,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	本町	昭4・四
株・明治屋本店	同	本町	昭4・四	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	和徳松ヶ枝	昭12・八
公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	五〇,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	在府町	昭12・八
株・角美吳服店	同	土手町	昭4・八	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	和徳松ヶ枝	昭12・八
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	二五,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	和徳松ヶ枝	昭13・三
弘前油脂工業株式會社	同	紺屋町	昭11・八	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	富田	昭11・十
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	二五,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	成田匡之進	昭11・十
日本乾燥林檎株式會社	同	富田	昭11・十	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	成田匡之進	昭11・十
公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	五〇,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	在府町	昭12・八
岩木産業株式會社	同	在府町	昭12・八	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	木村隆三	昭12・八
公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	五〇,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	木村隆三	昭12・八
丸運弘前運送株式會社	同	和徳松ヶ枝	昭13・三	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	清藤唯七	昭13・三
公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	五〇,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	清藤唯七	昭13・三

公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	五〇,〇〇〇圓	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	一〇五,〇〇〇圓
株・金澤商店	同	八幡町	昭13・四	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	八幡町	昭13・四
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	二五,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	八幡町	昭13・四
陸奥鹽元賣捌株式會社	同	堀端町	昭13・六	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	堀端町	昭13・六
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	四〇,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	堀端町	昭13・六
東北電化工業株式會社	同	山伏小路	昭13・十	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	山伏小路	昭13・十
公稱	一五〇,〇〇〇圓	拂込	三七,五〇〇圓	公稱	一五〇,〇〇〇圓	山伏小路	昭13・十
酸湯温泉株式會社	同	東津經郡荒川村	昭8・六	公稱	一五〇,〇〇〇圓	東津經郡荒川村	昭8・六
公稱	二五〇,〇〇〇圓	拂込	二〇〇,〇〇〇圓	公稱	二五〇,〇〇〇圓	東津經郡荒川村	昭8・六
常盤興業株式會社	同	西津經郡木造町	大11・二	公稱	二五〇,〇〇〇圓	西津經郡木造町	大11・二
公稱	三五〇,〇〇〇圓	拂込	八七,五〇〇圓	公稱	三五〇,〇〇〇圓	西津經郡木造町	大11・二
鳴海共立株式會社	同	南津經郡黒石町	大5・三	公稱	三五〇,〇〇〇圓	南津經郡黒石町	大5・三
公稱	三〇〇,〇〇〇圓	拂込	二七〇,〇〇〇圓	公稱	三〇〇,〇〇〇圓	南津經郡黒石町	大5・三
金城株式會社	同	同	大6・三	公稱	三〇〇,〇〇〇圓	同	大6・三
公稱	三五〇,〇〇〇圓	拂込	大九・四	公稱	三五〇,〇〇〇圓	同	大6・三
大鰐造株式會社	同	大鰐村	大9・四	公稱	三五〇,〇〇〇圓	大鰐村	大9・四
公稱	二〇〇,〇〇〇圓	拂込	大11・十	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	大鰐村	大9・四
丸共運送株式會社	同	中郷村	大11・十	公稱	二〇〇,〇〇〇圓	中郷村	大11・十
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	三五,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	中郷村	大11・十
丸卜常盤運送株式會社	同	常盤村	大13・十	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	常盤村	大13・十
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	二五,〇〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	常盤村	大13・十
弘南鐵道株式會社	同	大光寺村	大15・三	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	大光寺村	大15・三
公稱	六〇〇,〇〇〇圓	拂込	五九三,四〇〇圓	公稱	六〇〇,〇〇〇圓	大光寺村	大15・三
山形金融株式會社	同	黒石町	昭3・十	公稱	六〇〇,〇〇〇圓	大光寺村	大15・三
公稱	一〇〇,〇〇〇圓	拂込	六二,五〇〇圓	公稱	一〇〇,〇〇〇圓	大光寺村	大15・三

對馬合名會社 同 中鄉村 昭3・三 前田 忠八郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 菊池合資會社 同 大光寺村 昭5・七 菊池 武英
 出資金 一四五、〇〇〇圓
 樹五株式會社關商店 中津輕郡和德村 大12・十 關 利三郎
 拂込濟 四〇〇、〇〇〇圓
 弘前合同運送株式會社 同 昭2・十 關 清六
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 株・佐々木倉庫 北津輕郡五所川原町 拂込 大8・八 佐々木 嘉太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 八〇、〇〇〇圓
 津輕酒造株式會社 同 大11・四 鳴海 周次郎
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 金木商事株式會社 同 金木町 拂込 大12・三 高橋 彌左衛門
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 津輕無盡株式會社 同 板柳町 拂込 大12・六 安田 道藏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三八、七五〇圓
 五榮株式會社 同 五所川原町 大13・五 小山 慶次郎
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 津輕土地建物株式會社 同 板柳町 昭2・十 安田 宗三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 津輕鐵道株式會社 同 五所川原町 昭3・二 平山 爲之助
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 安田物産株式會社 同 板柳町 昭6・一 大高 喜左衛門
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓

古川土地建物合資會社 同 中里村 昭6・三 古川 爲藏
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 大湊興業株式會社 下北郡大湊町 拂込濟 二、八〇〇、〇〇〇圓
 資・菊池同族社 同 川内町 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 株・軍港 組 同 大湊町 昭2・九 津幡 實
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 大湊土木建築株式會社 同 昭9・一 矢館 權次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 資・川村酒造店 上北郡野邊地町 拂込 大9・十 川村 福三郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 上北電氣株式會社 同 大10・六 木村 匡
 公稱 二二四、〇〇〇圓 拂込 一、二六、四〇〇圓
 三本木林業株式會社 同 三本木町 大13・三 稻本 胤氏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 株・村井酒造店 同 百石町 拂込 昭2・四 村井 松三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 十和田鐵道株式會社 同 三本木町 昭3・六 篠田 龍夫
 拂込濟 四〇〇、〇〇〇圓
 名・盛田 牧場 同 七戶町 昭4・七 盛田 德太郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 十和田醬油株式會社 三戶郡五戶町 大9・五 和田 寛次郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 東北桐材株式會社 同 向村 大11・二 田中 實

山形縣

公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五八、三二五圓
 劍吉運送株式會社 同 北川村 大12・三 中川 源貞機
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 五戶鐵道株式會社 同 五戶町 大15・二 三浦 善藏
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三三〇、〇〇〇圓
 三戶合同運送株式會社 同 向村 昭2・一 志賀 治助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓
 金五合資會社 同 三戶町 昭4・五 松尾 節三
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓 昭11・六 穗積 倉藏
 名・穗積 組 同 同心町 昭11・六 穗積 倉藏
 出資金 二〇〇、〇〇〇圓

株・山形自由新聞社 山形市七日町 明9・九 服部 敬吉
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 山形電氣株式會社 同 横町 明30・三 長谷川 兵五郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七、五〇〇、〇〇〇圓
 山形瓦斯株式會社 同 香澄町 明44・三 叶内 長兵衛
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一八〇、〇〇〇圓
 山形殖産無盡株式會社 同 十日町 大3・一 叶内 長兵衛
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 二二〇、〇〇〇圓
 兩羽製氷株式會社 同 香澄町 大6・六 五十嵐 太右衛門
 公稱 四二〇、〇〇〇圓 拂込 三九七、五〇〇圓

丸共水産株式會社 同 横町 大7・二 加川 竹治郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四〇、〇〇〇圓
 山八商事合資會社 同 香町 大8・十 新關 善吉
 出資金 二五〇、〇〇〇圓
 五百川合資會社 同 鍛冶町 大9・五 五百川 作助
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 名・至誠堂病院 同 香澄町 大10・十 田中 一策
 出資金 二二〇、〇〇〇圓
 山形鹽元賣捌株式會社 同 大11・四 長谷川 吉三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四〇、〇〇〇圓
 山形交道自動車商會株式會社 同 十日町 昭2・一 村井 三雄藏
 拂込濟 一七五、〇〇〇圓
 山形合同運送株式會社 同 香澄町 昭2・二 三浦 喜三郎
 拂込濟 二二五、〇〇〇圓
 資・一山川合酒造店 同 八日町 昭3・十 川合 孫四郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 山電工業株式會社 同 横町 昭4・一 鈴木 清助
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 八一〇、〇〇〇圓
 昭和セメント工業株式會社 同 宮町 昭4・五 中川 重春
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 山形酒造合資會社 同 諏訪町 昭4・三 濱田 五右衛門
 出資金 一四〇、〇〇〇圓
 高橋同族合名會社 同 宮町 昭7・七 高橋 伊之助

東北六縣銀行會社一覽

出資金 一五〇、〇〇〇圓
 資・山五商店 同
 出資金 一四〇、七〇〇圓
 資・荒屋 同 七日町
 出資金 三〇〇、〇〇〇圓
 株・丸谷長谷川吳服店 同 十日町
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭11・一 長谷川 吉内
 株・渡邊正三郎商店 同 旅籠町 昭11・二 渡邊 恒太郎
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 資・山岸 組 同 香澄町 昭12・二 山岸 又七
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 山形貸切自動車株式會社 同 七日町 昭12・三 村井 三雄藏
 拂込濟 一四三、〇〇〇圓
 株・吉井屋商店 同 六日町 昭13・一 鈴木 吉郎
 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 東洋紙工業株式會社 同 小白川町 昭13・三 今野・正吉
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 山形電鋼株式會社 同 宮町 昭13・三 戸田 虎雄
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 東北振興精密機械株式會社 同 旅籠町 昭13・七 金森 太郎
 公稱 一、五〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭13・七 金森 太郎
 兩羽日産自動車株式會社 同 十日町 昭13・八 新關 善吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭14・一 鈴木 吉助
 株・吉井屋自動車販賣部 同 宮町 昭14・一 鈴木 吉助

拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 米澤商業株式會社 米澤市大町 大2・十 戸田 虎雄
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大5・十 椿 一郎
 棒合名會社 同 御廟町
 出資金 一八〇、〇〇〇圓
 古川商事株式會社 同 住ノ江町 大9・六 古川 常次
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大10・七 近藤 勝太郎
 資・近藤商店 同 門東町
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 株・下山商店 同 今町 大11・二 下山 又兵衛
 拂込濟 五〇〇、〇〇〇圓
 濱田酒造合資會社 同 花澤仲町 大13・十 濱田 忠喜
 出資金 七〇〇、〇〇〇圓
 米澤合同運送株式會社 同 旭町 大15・九 色 摩 勝力
 拂込濟 一七〇、〇〇〇圓
 第二絹襪株式會社 同 玉ノ木町 昭2・五 戸田 虎雄
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭2・七 内藤 榮吉
 置賜共榮無盡株式會社 同 表町 昭2・七 内藤 榮吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭6・一 栗野 陽吉
 名・栗野商店 同 立町 昭6・一 栗野 陽吉
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 名・長谷川酒造本店 同 門東町 昭9・五 長谷川 吉藏
 出資金 三〇〇、〇〇〇圓
 株・鶴岡米穀取引所 鶴岡市三日町 明28・十 中村 作右衛門
 拂込濟 二五〇、〇〇〇圓

鶴岡水力電氣株式會社 同 一日市町 明31・十 兼子 孫一郎
 公稱 三、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、八七五、〇〇〇圓
 鶴岡正米合資會社 同 三日町 明34・八 菅 澤 久五郎
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 羽前絹練株式會社 同 中新町 明39・五 石川 兵三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 明40・三 風間 幸右衛門
 羽前織物株式會社 同 拂込濟 三〇〇、〇〇〇圓
 鶴岡瓦斯株式會社 同 與力町 明44・十 阿部 榮治
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、二八、〇〇〇圓
 鶴岡建物株式會社 同 大寶寺町 大9・三 豐田 龜三
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 大11・四 中里 治兵衛
 鶴岡酒造株式會社 同 寶町 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭3・一 古川 篤敬
 鶴岡運輸倉庫株式會社 同 大寶寺町 昭3・一 古川 篤敬
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 莊内電氣鐵道株式會社 同 最上町 昭3・九 中野 忠太郎
 拂込濟 六〇〇、〇〇〇圓
 鶴岡共成株式會社 同 三日町 昭4・六 佐藤 政吉
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 鶴岡出羽自動車株式會社 同 大寶寺嘉口田 昭7・四 今野 龜吉
 公稱 一一七、五〇〇圓 拂込 六七、五〇〇圓

眞立株式會社 同 荒町 昭7・五 眞島 藤右衛門
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 金屋合名會社 同 馬場町 昭7・九 風間 幸右衛門
 公稱 一、〇〇五、〇〇〇圓
 鶴岡倉庫株式會社 同 三日町 昭9・九 中村 作右衛門
 公稱 一二五、〇〇〇圓 拂込 昭11・三 菅 澤 久五郎
 東北自動車商事株式會社 同 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 株・酒田米穀取引所 酒田市秋田町 明17・七 酒井 忠孝
 拂込濟 三〇〇、〇〇〇圓
 本立株式會社 同 本町 明21・四 本間 光正
 拂込濟 七二〇、〇〇〇圓
 信成合資會社 同 本町 明40・二 本間 光正
 出資金 七二〇、〇〇〇圓
 酒田酒造株式會社 同 傳馬町 大8・五 鎌田 德助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大8・十 三 矢正敏
 酒田運輸倉庫株式會社 同 本町 大8・十 三 矢正敏
 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 酒田醬油株式會社 同 船場町 大9・三 荒木 幸吉
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 莊内無盡株式會社 同 上内匠町 大10・四 齋藤 近尙
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 大14・十 中村 弘
 鳥海電力株式會社 同 本町 昭2・六 酒井 忠孝
 山居貸倉庫株式會社 同 山居町 昭2・六 酒井 忠孝

河北年鑑

公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 東北振興酒田農機工業株式會社 同 本町 昭13・二 齋藤長一
 公稱 五二〇、〇〇〇圓 拂込 三九〇、〇〇〇圓
 株・漆山倉庫 東村山郡出羽村 明39・二 大内清三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二八、七五〇圓
 莊内電氣株式會社 同 天童町 大15・六 棚橋寅五郎
 公稱 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 東北振興ニッポン絨氈株式會社 同 山邊町 昭12・十 椎野與七
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・山形機業場 同 長崎町 昭13・一 石川正次郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇〇、〇〇〇圓
 國井酒造合資會社 西村山郡寒河江町 大8・九 國井經崇
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 羽前社製絲株式會社 同 川土居町 大9・二 笹島長左衛門
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 二八五、八四七、五〇錢
 三山電氣鐵道株式會社 同 西山村 大13・八 佐藤啓
 拂込濟 九〇〇、〇〇〇圓
 株・大石田製絲所 北村山郡大石田町 大9・三 須藤茂
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五五、〇〇〇圓
 兩羽電氣株式會社 同 大11・六 佐藤茂兵衛
 公稱 三、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 二、一〇〇、〇〇〇圓
 尾花澤鐵道株式會社 同 尾花澤町 大14・八 鈴木彌兵衛
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 兩羽證券株式會社 同 大石田町 昭4・一 佐藤茂兵衛
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 資・丸屋酒造店 同 尾花澤町 昭6・九 鈴木彌兵衛
 出資金 一〇七、〇〇〇圓
 三光合資會社 最上郡舟形村 明43・五 堀義順
 出資金 二二〇、〇〇〇圓
 最上酒造株式會社 同 新庄町 大7・四 佐藤理吉
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 最上溫泉土地株式會社 同 八向村 大8・五 高山惠太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 釜淵製材株式會社 同 及位村 大9・六 栗田勇
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 羽前生絲株式會社 同 新庄町 大11・十 平林猪太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 新庄共益運送株式會社 同 拂込 昭2・八 近岡卯吉
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 昭榮合名會社 同 昭9・四 近岡忠次郎
 出資金 三〇〇、〇〇〇圓
 酒田運送株式會社 酒田市本町 昭3・一 古川篤敬
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一七五、五〇〇圓
 酒田無盡株式會社 同 寺町 昭6・六 桐屋千代三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 協保株式會社 同 肴町 昭6・八 本間線
 拂込濟 三〇〇、〇〇〇圓
 株・菊池商店 同 染屋小路 昭9・三 菊池九郎

公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 丸松合資會社 飽海郡北平田村 大3・五 松澤亮治郎
 公稱 一二六、〇〇〇圓
 金樹合資會社 同 鶴渡川原村 大14・六 伊藤伊登
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 加美酒造株式會社 同 西荒瀬村 大11・八 齋藤一郎
 公稱 一二〇、〇〇〇圓 拂込 三〇、〇〇〇圓
 吉出銘醸株式會社 同 遊佐村 大15・十 佐々木二郎
 拂込濟 一七七、六〇〇圓
 河北酒造株式會社 同 南平田村 大15・十 小野寺鑑吾
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 大山酒造株式會社 西田川郡大山町 大14・九 加藤長三郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 尾形商事株式會社 同 加茂町 大15・十 尾形太郎兵衛
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 資・丸屋本店 同 大山村 昭4・四 丸谷才兵衛
 出資金 一五〇、〇〇〇圓
 日本製乳株式會社 東置賜郡高島町 大8・五 梅津徳多良
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓
 東京紙料工業株式會社 同 屋代村 大8・三 五十嵐益三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 中山葡萄酒株式會社 同 中川村 大8・三 堀米四郎兵衛
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 資・宮内製絲所 同 宮内町 大9・六 石黒徳助
 出資金 三〇四、〇〇〇圓

東北六縣銀行會社一覽

秋田縣

磐城炭販賣株式會社 同 大11・三 須藤永次
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 高島鐵道株式會社 同 高島町 大12・二 長谷川平五郎
 拂込濟 五五〇、〇〇〇圓
 長谷川合名會社 同 屋代町 大13・五 長谷川平五郎
 出資金 八六、〇〇〇圓
 嵐山酒造株式會社 同 小松町 大13・八 佐藤新右衛門
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三八〇、〇〇〇圓
 置賜酒造株式會社 同 窪田村 昭11・十 長谷川一郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 豐原一心株式會社 西置賜郡豐原村 大13・三 小松保
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓
 宗川旅館合名會社 南置賜郡山下村 明43・七 宗川きく
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 辻合資會社 秋田市大町 明41・十 辻兵吉
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 株・那波商店 同 川反三丁目 大5・七 那波三郎右衛門
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 秋田釀造株式會社 同 龜ノ丁虎ノ口 大8・五 田中太吉
 公稱 一三八、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、三七五圓
 秋田運輸倉庫株式會社 同 龜ノ丁外張 大8・五 大岩輝

拂込濟 一二五、〇〇〇圓
 秋田演藝株式會社 同 大町一丁目 大8・土 田口 松太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六五、〇〇〇圓
 東北物産商事株式會社 同 土手長町 大9・土 石川 定辰
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 那波合名會社 同 川反三丁目 大10・七 那波三郎右衛門
 出資金 五〇〇、〇〇〇圓
 秋田魁新報社 同 大町 大12・一 井上 廣居
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 二七五、〇〇〇圓
 秋田合同運送株式會社 同 橋山長沼 昭2・四 高橋 金太郎
 拂込濟 一一一、六〇〇圓
 秋田信託株式會社 同 茶町 昭2・五 土田 萬助
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇〇、〇〇〇圓
 秋田製材合資會社 同 龜ノ丁 昭3・五 野田 吉三郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 鳥海運輸株式會社 同 長野下堀反町 昭4・七 今野 常藏
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 秋田電車株式會社 同 新大工町 昭5・六 栗原 源藏
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 秋田倉庫株式會社 同 牛島町 昭5・十三 浦傳 六
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 名・河周商店 同 茶町 昭6・四 河村 周吉
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 資・木内雜貨店 同 上長町 昭7・一 木内 隆一
 出資金 一五〇、〇〇〇圓

三傳商事株式會社 同 上看町 昭9・十三 浦傳 六
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 資・栗原組 同 龜ノ丁 昭10・七 栗原 源藏
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 秋田油脂工業株式會社 同 川尻町 昭12・九 山形屋 堅吉
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 第一石油鑛業株式會社 同 上中城町 昭12・十三 岩崎 光太郎
 拂込濟 二〇〇、〇〇〇圓
 東北振興秋田農機具株式會社 同 牛島下窪 昭13・二 古城 和助
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 秋田土木建築株式會社 同 川反二丁目 昭13・九 相澤 重吉
 公稱 一九九、七五〇圓 拂込 四九、九八七、五〇錢
 大島合名會社 同 河邊郡新屋町 明34・六 大島 榮太郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 小玉合名會社 同 南秋田郡飯田川村 明40・二 小玉 友吉
 出資金 三七五、〇〇〇圓
 株・村金商店 同 土崎港町 大4・三 村山 金治
 拂込濟 二五〇、〇〇〇圓
 船川電氣株式會社 同 船川港町 大5・七 中川 重春
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一七〇、〇〇〇圓
 出羽林業株式會社 同 土崎港町 大7・七 村山 喜一郎
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 株・船川倉庫 同 大7・土 沼田 專太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七〇、〇〇〇圓

刈田鑛業株式會社 同 大8・十三 刈田 義門
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓
 男鹿醸造株式會社 同 北浦町 大9・九 佐藤 新三郎
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 五城目軌道株式會社 同 五城目町 大10・一 渡邊 綱彦
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一八〇、〇〇〇圓
 飯田川酒造株式會社 同 飯田川村 大10・土 諸橋 竹次
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 九八、八九〇圓
 株・柴忠商店 同 土崎港町 大15・十三 柴田 忠吉
 拂込濟 一五〇、〇〇〇圓
 中川汽船株式會社 同 船川港町 昭2・三 中川 重春
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五八七、五〇〇圓
 土崎雄物川合同運送株式會社 同 土崎港町 昭2・土 金子 爲吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六五、〇〇〇圓
 五城目木材株式會社 同 五城目町 昭3・三 菊池 庄之助
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 資・永井商會 同 大久保町 昭9・三 永井 金太郎
 出資金 二〇〇、〇〇〇圓
 中川運輸株式會社 同 船川港町 昭13・二 中川 重春
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一六〇、〇〇〇圓
 船川鐵工株式會社 同 昭13・六 齋藤 久太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 小坂鐵道株式會社 同 鹿角郡小坂町 明42・一 吉平 吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇〇、〇〇〇圓

資・關善商店 同 花輪町 昭9・五 關 善次郎
 出資金 一三一、〇〇〇圓
 資・田村鐵工場 同 山瀬村 昭10・七 田村 松助
 出資金 五〇〇、〇〇〇圓
 北秋木材株式會社 同 北秋田郡大館町 大8・九 綠川 賢作
 拂込濟 八〇〇、〇〇〇圓
 乳安商事株式會社 同 扇山町 大8・十三 乳井 安太郎
 公稱 一二〇、〇〇〇圓 拂込 六〇、〇〇〇圓
 千葉酒造株式會社 同 大9・四 千葉 金右衛門
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一二〇、〇〇〇圓
 宮島酒造株式會社 同 大11・一 宮島 勝
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三二、〇〇〇圓
 米内澤運輸倉庫株式會社 同 米内澤町 大11・一 森澤 德造
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 三五、〇〇〇圓
 丸力大館鋼鐵株式會社 同 大館町 大11・三 櫻庭 文藏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 資・大勇商店 同 大11・十三 大塚 勇助
 出資金 一九九、〇〇〇圓
 共同運輸株式會社 同 早口村 大12・六 吉田 季吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 長岐酒造株式會社 同 扇田町 大12・九 長岐 與助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 大館醸造器株式會社 同 大館町 大14・二 綠川 賢作
 拂込濟 一〇〇、〇〇〇圓

株・野口商店同 昭6・三野口 民治郎
 拂込済 一〇〇、〇〇〇圓
 大館製板株式會社 同 釋迦内村 昭8・一木村 庄之助
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 資・田村鐵工場 同 山瀬村 昭10・七田村 松助
 出資金 六二五、〇〇〇圓
 秋田木材株式會社 山本郡能代港町 明40・三相澤 治一郎
 公稱 八、二五〇、〇〇〇圓 拂込 六、四五〇、〇〇〇圓
 市川合資會社 同 富根村 大5・三鈴木 勝易
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 杉本材木店株式會社 同 能代港町 大8・九杉本 國太郎
 公稱 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 二ツ井製材株式會社 同 二ツ井町 大9・三成田 謙輔
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇、〇〇〇圓
 能代無盡株式會社 能代港町 大10・九竹内 甚之助
 拂込済 一四五、〇〇〇圓
 能代商事株式會社 同 大13・四安岡 長四郎
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 名・西村醸造店 同 大13・九西村 節朗
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 安岡木材株式會社 同 大14・六安岡 易太郎
 拂込済 一二五、〇〇〇圓
 富根温泉株式會社 同 昭2・四竹内 平太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 昭和木材株式會社 同 昭2・三館岡 篤

公稱 四五、〇〇〇圓 拂込 三三七、五〇〇圓
 東北木材株式會社 同 拂込済 三六〇、〇〇〇圓
 昭3・三塚 勇助
 能代魚市場株式會社 同 公稱 一〇〇、〇〇〇圓
 昭3・三出雲 吉治郎
 名・平 清 同 昭4・三平山 清十郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 能代製板株式會社 同 昭5・十高階 長吉
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六二、五〇〇圓
 秋田杉材株式會社 同 昭5・三相澤 卯右衛門
 拂込済 一五〇、〇〇〇圓
 安岡土地證券合名會社 同 昭6・四安岡 孝吉
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 昭和ベニヤ工業株式會社 同 昭11・四館岡 篤
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 能代自動車株式會社 同 昭12・八平山 清十郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 四〇、〇〇〇圓
 株・秋木機械製作所 同 昭13・七相澤 治一郎
 拂込済 一〇〇、〇〇〇圓
 渡邊醸造合資會社 同 昭13・三伊藤 忠吉
 出資金 一五二、〇〇〇圓
 資・本莊商會 由利郡本莊町 昭32・三辻 彦五郎
 出資金 一二五、〇〇〇圓
 下郷酒造株式會社 同 下郷村 大8・三遠藤 莊藏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六九、九六二圓

新波酒造株式會社 同 大正寺村 大9・五加藤 金司
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六〇、〇〇〇圓
 岩谷酒造株式會社 同 岩谷村 大10・三齋藤 彌太郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 六五、〇〇〇圓
 金浦醸造株式會社 同 金浦町 大12・九北能 喜市郎
 公稱 一八〇、〇〇〇圓 拂込 六三、〇〇〇圓
 株・本莊倉庫 同 本莊町 大13・三瀧澤 潜
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 羽山軌道株式會社 同 矢島町 昭2・三白土 義有
 拂込済 一八〇、〇〇〇圓
 澁谷興業合資會社 同 本莊町 昭10・三澁谷 定二郎
 出資金 三〇〇、〇〇〇圓
 株・仙北倉庫 仙北郡大曲町 大6・三三村 長七
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 七二、五〇〇圓
 仙南醸造株式會社 同 藤木村 大8・三川 越守固
 拂込済 一〇〇、〇〇〇圓
 東北醬油株式會社 同 神宮寺町 大9・八奥田 重右衛門
 公稱 四〇〇、〇〇〇圓 拂込 一八八、〇〇〇圓
 東北醸造株式會社 同 飯詰村 大9・一梅川 官藏
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓
 株・福の友酒造店 同 神宮寺町 大12・三細谷 直孝
 公稱 一六〇、〇〇〇圓 拂込 一四四、〇〇〇圓
 角館運送株式會社 同 角館町 昭2・一田口 純輔
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 大曲合同運送株式會社 同 大曲町 昭2・六榑田 憲藏

公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 一〇五、〇〇〇圓
 名・庚申 社 同 昭3・六石川 彌七
 出資金 一二〇、〇〇〇圓
 角六電氣軌道株式會社 同 飯詰村 昭5・三田中 龜治
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一〇、〇〇〇圓
 共和土地株式會社 同 刈和野町 昭6・二土肥 味右衛門
 公稱 四三五、〇〇〇圓 拂込 二一七、五〇〇圓
 親和土地合資會社 同 六郷町 昭9・六栗林 直治
 出資金 一六〇、〇〇〇圓
 共濟合資會社 同 高梨村 昭9・三池田 文一郎
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 池田合資會社 同 昭10・四池田 文一郎
 出資金 七〇〇、〇〇〇圓
 增田水力電氣株式會社 平鹿郡增田町 明43・九松浦 千代松
 公稱 二、九〇〇、〇〇〇圓 拂込 二、六八二、五〇〇圓
 横莊鐵道株式會社 同 横手町 大5・三伊藤 文吉
 拂込済 三、〇〇〇、〇〇〇圓
 植田土地金融株式會社 同 植田村 大6・七鹽田 國平
 拂込済 二五〇、〇〇〇圓
 淺舞酒造株式會社 同 淺舞町 大6・三柿崎 宗光
 拂込済 一〇〇、〇〇〇圓
 阿櫻酒造株式會社 同 横手町 大7・一石川 卯一郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 一〇七、五〇〇圓
 舞鶴酒造株式會社 同 淺舞町 大7・三鈴木 順治
 公稱 二五〇、〇〇〇圓 拂込 一二五、〇〇〇圓

株・長坂商店同 增田町 大7・八長坂 又兵衛
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 二二二、三五七、五〇錢
 平鹿酒造株式會社同 角間川町 大8・九本郷吉右衛門
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 資・小柳農園同 館合村 大9・三小柳道彦
 出資金 一〇五、〇〇〇圓
 沼館酒造株式會社同 沼館町 大9・七小柳道彦
 公稱 二〇〇、〇〇〇圓 拂込 一七〇、〇〇〇圓
 日の丸醸造株式會社同 增田町 大14・四小泉金八郎
 公稱 七〇〇、〇〇〇圓 拂込 二六四、〇〇〇圓
 直利山酒造株式會社同 横手町 大15・三細谷直孝
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 十文字運送株式會社同 十文字町 昭2・六長坂 又兵衛
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 横手運送株式會社同 横手町 昭2・九鹽田 儀三郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓
 高易合資會社同 昭5・一高橋トク
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 羽州興業株式會社同 增田町 昭5・九松浦千代松
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 松浦合資會社同 昭6・三松浦千代松
 出資金 一〇〇、〇〇〇圓
 昭和合資會社同 横手町 昭8・十杉田 榮
 出資金 三九七、四八〇圓
 西馬音内酒造株式會社 雄勝郡西馬音内町

宮城縣

公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大4・十柴田政藏
 雄勝殖林株式會社同 湯澤町 大7・一山内三郎兵衛
 湯澤製材株式會社同 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 大8・五最上米吉
 名・京野殖林社同 出資金 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大9・七京野兵右衛門
 縣是秋田製絲株式會社同 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大10・三小川德助
 秋田銘醸株式會社同 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大11・二伊藤忠吉
 川連漆器株式會社同 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 大11・五佐藤久一
 雄勝鐵道株式會社同 湯澤町 拂込 大14・十長谷川泰三
 湯澤運送株式會社同 湯澤町 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 大15・三高久儀助
 名・伊藤仁右衛門商店同 出資金 六〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭10・九伊藤仁右衛門

〔補遺〕

福島縣

株・柴田商會 仙臺市元寺小路 昭14・二伊藤太藏
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 新興産業株式會社 石卷市立町 昭15・四古座藤吉
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 東北油肥株式會社 宮城郡鹽釜町字港 昭14・二龜井運藏
 公稱 一八〇、〇〇〇圓 拂込 九〇、〇〇〇圓
 東北工業株式會社 本吉郡鹿折村 昭14・二丸尾儀兵衛
 公稱 一八〇、〇〇〇圓 拂込 七二、〇〇〇圓

青森縣

株・浦町通運 青森市大字浦町 昭14・二小田桐政信
 拂込 一七〇、〇〇〇圓
 株・下北通運 下北郡田名部町 昭14・二川島準藏
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 三七、五〇〇圓
 株・東北牧場 上北郡浦野館村 昭9・二小林長兵衛
 公稱 三〇〇、〇〇〇圓 拂込 一一〇、〇〇〇圓
 寶田石油株式會社 野邊地町 昭10・二武井治一
 拂込 一〇、〇〇〇圓

株・福島縣石油販賣 福島市本町 昭15・一佐藤傳吉
 株式會社 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 三〇〇、〇〇〇圓
 小野炭礦株式會社 平市字田町 昭14・三菊地德太郎
 拂込 一二〇、〇〇〇圓
 三春通運株式會社 田村郡御木 昭14・八横山傳七
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 五〇、〇〇〇圓
 築前興業株式會社 石城郡四倉町 大9・二山口繁
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓

山形縣

株・みはるや商店 山形市十日町 昭14・三坂野茂三郎
 公稱 一〇〇、〇〇〇圓 拂込 二五、〇〇〇圓
 株・東北振興山形發動機 山形市鐵砲町 昭15・四澤藤忠藏
 株式會社 五〇〇、〇〇〇圓 拂込 昭10・三中村良聿
 上越石油株式會社 東置賜郡赤湯町 昭10・三中村良聿
 拂込 一〇〇、〇〇〇圓

岩手縣

岩手縣石油販賣 盛岡市仁王 昭15・二中川米治
 株式會社 第四地割 拂込 四八、七五〇圓
 陸奥製粉株式會社 二戸郡福岡町 昭14・三丹野彌太郎
 公稱 一五〇、〇〇〇圓 拂込 七五、〇〇〇圓

秋田縣

株・吉田鐵工所 南秋田郡土崎港町 昭14・三吉田傳藏
 拂込 二五〇、〇〇〇圓
 土崎通運株式會社 同 拂込 一五〇、〇〇〇圓
 太平土地金融株式會社 平鹿郡横手町 昭14・二山崎慶治
 公稱 一五〇、〇〇〇圓

東北六縣銀行會社一覽

雄物金鑛精錬株式會社	雄勝郡院内町	大9・三	近藤憲介
神正鑛業株式會社	同 横堀町	大11・六	嘉村彦四郎
日本産金鑛業株式會社	同 院内町	昭9・七	飯島正彦
大和機械製作株式會社	同 同	昭14・三	山田勝次郎
日本金鑛株式會社	同 同	昭14・九	西野哲夫
東北振興株式會社	同 湯澤町	昭14・三	近 利左衛門
株式會社	同 同		

六縣外に本店又
は本社を有する
銀行・會社一覽

昭和十五年七月調査

銀行支店

支店名	本店所在地	支店所在地	支店長
日本銀行福島支店	東京	福島市本町	鈴木亨市
同 秋田支店	同	秋田市大町	齋藤良弼
日本興業銀行東北支店	同	福島市大町	住吉四郎

日本勸業銀行仙臺支店	同	吉田 登一	仙臺市東二番丁
盛岡支店	同	神馬 喜助	盛岡市本町
青森支店	同	戸谷 梅彦	青森市米町
山形支店	同	宇多 健三	山形市七日町
秋田支店	同	鳥羽 誠義	鶴岡市馬場町
安田銀行仙臺支店	同	西澤 定義	秋田市大町
福島支店	同	林 長三郎	仙臺市大町
郡山支店	同	莊田 次郎	福島市本町
會津支店	同	大熊 貫二	郡山市中町
仙臺駐在員事務所	同	今井 精三郎	郡山市中町
同	同	岩井 常夫	若松市大町
盛岡支店	同	名護屋 三郎	仙臺市勾當臺通
青森支店	同	玉城 俊雄	盛岡市吳服町
山形支店	同	松原 米次	山形市旗籠町
米澤支店	同	伊藤 一郎	米澤市立町
鶴岡支店	同	江口 敬實	鶴岡市三日町
酒田支店	同	西村 金平	酒田市上中町
秋田支店	同	内田 民治	秋田市本町
安田貯蓄銀行仙臺支店	同	小玉 豊	仙臺市大町
弘前支店	同	入江 勝徳	弘前市土手町
常陽銀行仙臺支店	同	田土部 勝徳	仙臺市元寺小路
同	同	宮澤 修彌	同 南町

諸會社・營業所・工場

支社名	本社	主任名	所在地
旭紡績仙臺工場	長崎工場	鮫島 嘉弘	仙臺市長町
鐘ヶ淵紡績福島工場	東京同	最首 操	福島市下釜
同 野田工場	同	楠原 卓馬	福島縣信夫郡野田村
片倉製絲紡績岩代製絲所	同		
大日本電力郡山事務所	同	板山 茂	郡山市境橋
大日本電力秋田事務所	同	秋山 惠司	同 藏場町
同	同	安藤 惟親	秋田市中谷地町
東洋双物仙臺工場	同	寒川 末男	仙臺市米ヶ袋
福島支店	同	神永 勳	福島市中町
梁川支店	同	山本 謙藏	福島縣梁川町
桑折支店	同	酒井 盛一	同 桑折町
平支店	同	中山 毅雄	平市二丁目
植田支店	同	菅谷 潔	福島縣植田町
湯本支店	同	島海 菊五郎	湯本町
原町支店	同	吉見 宗太郎	同 原町
同 浪江出張所	代理	竹石 三郎	浪江町
同 不動貯金銀行仙臺支店	同	山村 輝雄	仙臺市東二番丁
三和銀行秋田支店	大阪	三井 淑	秋田市大町

銀行會社一覽

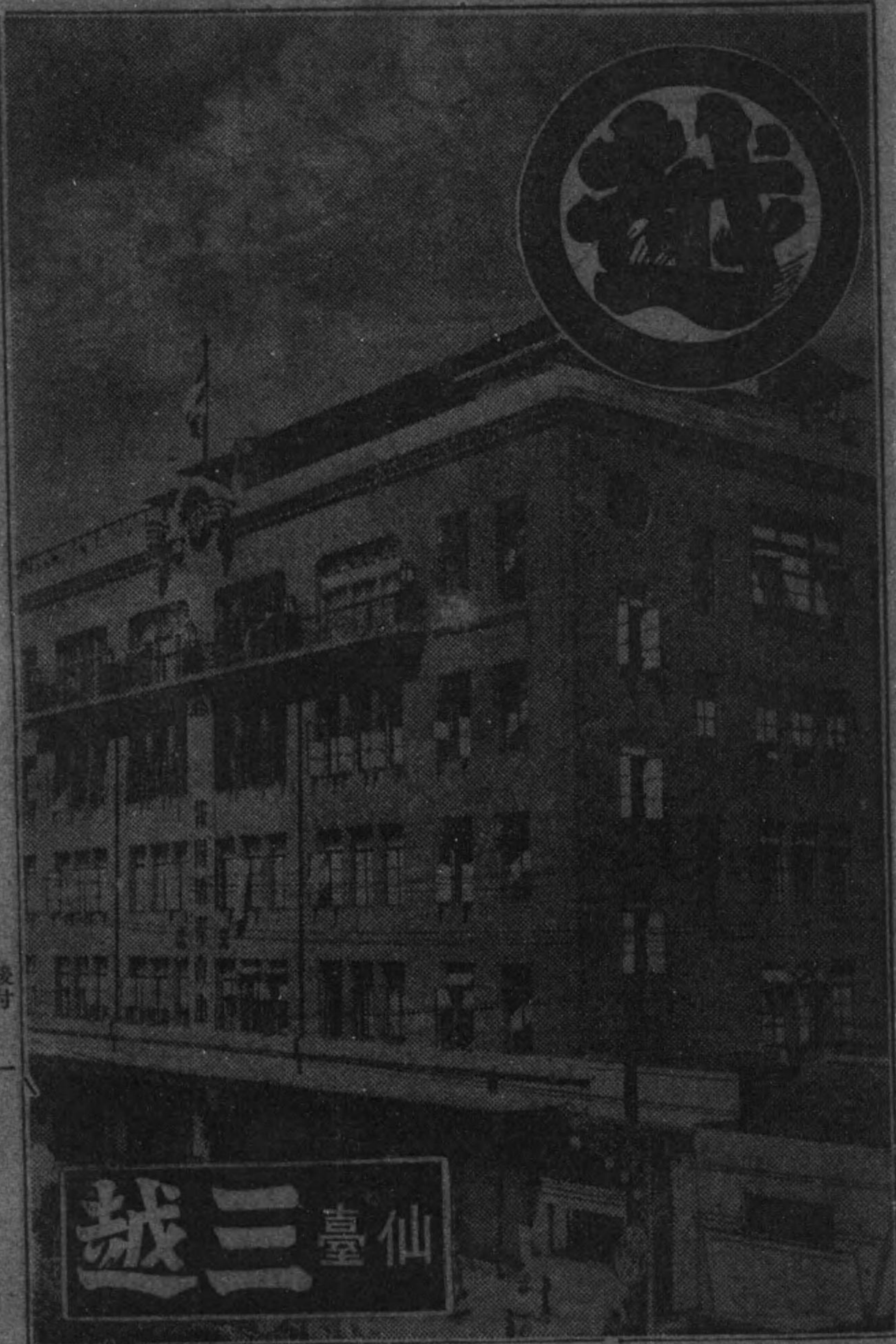
日本金屬工業仙臺工場	同	齊藤 定八	小田原
キリンビール仙臺工場	同	時國 益夫	同
同 仙臺支店	同	徳水 長司	同 一番丁
大日本ビール仙臺出張所	東京	田口 茂雄	同 東三番丁
ビール共同販賣仙臺出張所	同	同	同 南町
三越 仙臺支店	同	松田 伊三雄	同 東一番丁
丸善 仙臺支店	同	支配人 齊藤 巨	同 南町通
明治屋 仙臺支店	同	支店長 中井 義雄	同 小田原
帝國製菓仙臺工場	同	支店長 専田 菊治郎	同 東一番丁
千代田組仙臺支店	同	支店長 伊藤 菊治郎	同 小田原
日本紙管仙臺工場	同	支店長 八木原 辯二	同 小田原
日本水産仙臺出張所	同	支店長 宮城 千之	同 東七番丁
仙臺冷凍工場	同	主任 津場 正吉	同 清水小路
盛岡同	同	富田 權太郎	同 清水小路
宮古同	同	秋山 定治	盛岡市下厨川
釜石同	同	富田 權太郎	岩手縣宮古町
釜石同	同	新田 恒一	釜石市釜石
釜石同	同	宮城縣氣仙沼町	
釜石同	同	高橋 喜久松	同 女川町
釜石同	同	秋山 金作	石巻市湊御所浦

石崎株式會社仙臺支店	支店長 荒川 倉吉	同 名掛町	日鐵鑛業釜石鑛山	同 小倉 進
タイガー計算器東北出張所	所長 辻 保信	同 東一番丁	日本鑛業上北鑛山	同 坂田 禾麿
日本タイプライター仙臺出張所	主任 岡崎 剛三	宮城縣本吉郡大谷村	古河合名永松鑛山	同 青森縣上北郡天間林村
日本鑛業大谷鑛山	同 大坪 輝雄	栗原郡鷲澤村	藤田組小坂鑛山	同 白石 保四郎
三菱鑛業細倉鑛山	同 大貫 經次	福島縣湯本町	三菱鑛業尾去澤鑛山	同 白石 慶太郎
入山採炭湯本坑務所	同 下野 十朗	石城郡好間村	花岡鑛山	同 秋田縣小坂町
古河石炭好間坑務所	同 戸部 光衛	勿來町	板谷生命仙臺支店	本社 主任 耕一
大日本炭鑛勿來鑛業所	同 一ノ瀬 亮一	石城郡内郷村	同 秋田支店	東京 藏重 耕一
磐城炭鑛内郷鑛業所	同 厚母 庸二	安達郡高川村	同 郡山支店	大阪 青木 象太郎
日本鑛業高玉鑛山	同 同 人	安積郡月形村	同 青森支店	同 高橋 敏夫
同 日山鑛山	同 同 岩手縣下閉伊郡田老村	保田準四郎	同 日本生命仙臺支店	同 村田 敏夫
ラサ工業田老鑛山	同 同 和賀郡湯田村	小川 松義	同 日本生命仙臺支店	同 大泉 宗次
三菱鑛業鷲合森鑛山	同 同 同	同	同 日本生命仙臺支店	同 渡邊 喜一
日本鑛業赤石鑛山	同 同 同	同	同 日本生命仙臺支店	同 前川 利作

保險會社支店

千代田生命仙臺支部	同 植松 茂雄	仙臺市大町	安田生命仙臺支店	同 小野寺 正理	仙臺市大町
同 秋田支部	同 鈴木 龜次	秋田市大町	同 秋田出張所	同 高橋 直藏	同 秋田市上米町
同 秋田支店	同 清水 定勝	仙臺市南町通	同 郡山監督所	同 安藤 三郎	同 郡山市池ノ臺
同 秋田支店	同 宮崎 美文	秋田市南町	同 盛岡監督所	同 小山 文之助	同 盛岡市内丸ノ下ノ橋
同 秋田支店	同 神田 孝一	秋田市南町	同 郡山出張所	同 小林 茂夫	同 郡山市新傳馬町
同 秋田支店	同 栗山 吾一	秋田市南町	同 郡山出張所	同 齋藤 健治	同 郡山市燧田
同 秋田支店	同 千村 幸次郎	仙臺市南町	同 郡山出張所	同 小田中 善七	同 青森市榮町
同 秋田支店	同 松浦 四郎	青森市南町	同 郡山出張所	同 工藤 進	同 青森市榮町
同 秋田支店	同 島津 龜之助	仙臺市南町	同 郡山出張所	同 若松 壯宣	同 仙臺市多門通
同 秋田支店	同 福田 秀助	秋田市大町	同 郡山出張所	同 藏田 有久	同 秋田市本町
同 秋田支店	同 香川 金助	仙臺市大町	同 郡山出張所	同 寺澤 辰二	同 秋田市本町
同 秋田支店	同 伊藤 才吉	秋田市長野新丁	同 郡山出張所	同 河野 拾松	同 秋田市保戸野川反
同 秋田支店	同 真木 四郎	盛岡市仁王町	同 郡山出張所	同 佐野 直	同 仙臺市國分町
同 秋田支店	同 三輪 光治郎	青森市古川町	同 郡山出張所	同 西澤 幸藏	同 郡山市燧田
同 秋田支店	同 福原 六之助	酒田市下町	同 郡山出張所	同 渡邊 寛一	同 郡山市開運橋通
同 秋田支店	同 磯井 安光	米澤市立町	同 郡山出張所	同 伊藤 信義	同 盛岡市造道澤田
同 秋田支店	同 溝口 爲次郎	仙臺市國分町	同 郡山出張所	同 大塚 助治	同 青森市造道澤田
同 秋田支店	同 矢納 朝吉	盛岡市天神町	同 郡山出張所	同 瀧谷 良徳	同 酒田市舟場町通
同 秋田支店	同 竹村 百二	青森市太字大町	同 郡山出張所	同 宮村 茂次	同 山形市十日町
同 秋田支店	同 高橋 政治	山形市香澄町	同 郡山出張所	同 清水 利助	同 秋田市手形上町
同 秋田支店	同 原田 光吉	秋田市本町	同 郡山出張所	同 久保澤 久	同 仙臺市大町
同 秋田支店	同 山下 彌一	仙臺市南町	同 郡山出張所	同 久保澤 久	同 仙臺市大町
同 秋田支店	同 宮川 安太郎	秋田市上着町	同 郡山出張所	同 久保澤 久	同 仙臺市大町

銀行會社一覽



後付

河北年鑑

- | | | |
|---|---|--|
| <p>興中公司
社長 山西 恒郎
取締役 内田 敬三 弟子丸 相造
荒木 章 和田 忠義
滿洲電信電話株式會社
總裁 廣瀬 壽助
副總裁 三 多
滿洲拓殖公社
總裁 二宮 治重
理事 生駒 高常 安江 好治
楊玉書 花井 脩治
中村孝二郎 憲 眞
東洋拓殖株式會社
總裁 佐々木 駒之助
副總裁 池邊 龍一
鮮滿拓殖株式會社
理事長 二宮 治重
南洋拓殖株式會社
社長 男 深尾 隆太郎
台灣拓殖株式會社
社長 加藤 恭平
副社長 久宗 董
台灣電力株式會社</p> | <p>社長 林 安繁
副社長 田端 幸三郎
帝國燃料興業株式會社
總裁 工博 牧田 環
副總裁 大淵 三樹
商工組合中央金庫
理事長 寶來 市松
產業組合中央金庫
理事長 荷見 安
副理事長 元尾 光輝
庶民金庫
理事長 青木 得三
恩給金庫
理事長 三井清一郎
日本發送電力株式會社
總裁 增田 次郎
副總裁 小野 猛
大日本航空株式會社
總裁 中川 健藏
副總裁 齋藤 武夫
總務理事 片岡 直道
常務理事 有地 十五郎
永淵 三郎
日本米穀株式會社</p> | <p>日本肥料株式會社
理事長 松村 眞一郎
副理事長 成田 努
森 蘆昶
矢崎 總治
苫米地 義三郎
子 織田 信恒
中支那振興株式會社
總裁 兒玉 謙次
副總裁 山西 恒郎
神輦 常孝
賀屋 與宣</p> |
|---|---|--|

昭和十五年十一月二十日印刷
昭和十五年十一月廿五日發行

發行兼印刷人 仙臺市北三番丁八〇番地 門 間 正 順
發行所 仙臺市東三番丁一七〇番地 河北新報社
印刷所 仙臺市軟樂院丁六番地 東北印刷株式會社
發賣所 仙臺市東三番丁一七〇番地 電話二八七・八六〇番 河北新報社
同 東京市東區區銀座六・交詢社ビル内 河北新報社東京支社

河北年鑑
定價金壹圓



後付

河北年鑑

興中公司

社長 山西 恒郎
取締役 内田敬三 弟子丸相造
荒木 章 和田 忠義

滿洲電信電話株式會社

總裁 廣瀬 壽助
副總裁 三 多

滿洲拓殖公社

總裁 二宮 治重
理事 生駒高常 安江 好治
楊玉書 花井 脩治
中村孝二郎 憲 眞

東洋拓殖株式會社

總裁 佐々木胸之助
副總裁 池邊 龍一

鮮通拓殖株式會社

理事長 二宮 治重

南洋拓殖株式會社

社長 男 深尾隆太郎

台灣拓殖株式會社

社長 加藤 恭平
副社長 久宗 董

台灣電力株式會社

社長 林 安繁
副社長 田端幸三郎

帝國燃料興業株式會社

總裁 工博 牧田 環
副總裁 大淵 三樹

商工組合中央金庫

理事長 寶來 市松

産業組合中央金庫

理事長 荷見 安
副理事長 元尾 光輝

庶民金庫

理事長 青木 得三

恩給金庫

理事長 三井清一郎

日本發送電力株式會社

總裁 增田 次郎
副總裁 小野 猛

大日本航空株式會社

總裁 中川 健藏
副總裁 齋藤 武夫
總務理事 片岡 直道
常務理事 有地十五郎 永淵 三郎

日本米穀株式會社

總裁 齊藤 武夫
副總裁 片岡 直道
總務理事 有地十五郎
常務理事 永淵 三郎

一三二

北支那開發株式會社
總裁 賀屋 興宣
副總裁 神樂 常孝
松村眞一郎 成田 努

日本肥料株式會社
理事長 森 嘉穂
副理事長 矢崎 德治

中支那振興株式會社
總裁 見玉 謙次
副總裁 平澤 要

青木地義三郎 織田 信恒

昭和十五年十一月二十日印刷
昭和十五年十一月廿五日發行

河北年鑑

定價金壹圓

仙臺市北三番丁八〇番地 門 正 順

仙臺市東三番丁一七〇番地 河北新報社

仙臺市新豊院丁六番地 東北印刷株式會社

仙臺市東三番丁一七〇番地 河北新報社

東京市京橋區區六・交詢社ビル内 河北新報社東京支社

發行兼 印刷所
發行所
發賣所
同

興亞の晴衣國民服と作業服

品質格低本廉位
 品評の
 大丈買價品
 好夫に造つて
 製大丈買價品
 好夫に造つて
 品評の



能率増進は服装から

動力専用特殊機械ミシン
 數十臺新設ス

營業品目
 作團事務體業
 警防學務體業
 其他一團校
 般服服服服服



諸官衙各工業會社御用

ほまれや被服工場

本店工場 仙臺市長町驛前(廣岡)
 電話三四八六番
 販賣部 仙臺市大町五丁目

後付 三

2600

三百年の
 光輝ある歴史!

春夏秋冬



健全なる
 母體は
 國家の礎



さぬらん湯

本舗

遊佐一貫堂

遊佐壽助

陸前鹽釜

後付 二



株式
會社

日本興業銀行
東北支店

福島市大町三十二番地

(電一、一八一番)

仙臺駐在員事務所

仙臺市商工獎勵館内

(電三、九三番)

營業科目

一般事業金融
中小工業金融
手形割引
各種預金
證券業務
爲替
有價證券保護預り

資本金貳億圓

秋保温泉

仙臺近郊の

名湯

風光明媚



名勝

磊々峽

大温泉

プール完備

秋保電気軌道株式會社
直營

温泉ブラック

大小御宴會
結婚御披露
出張調達

仙臺精養軒

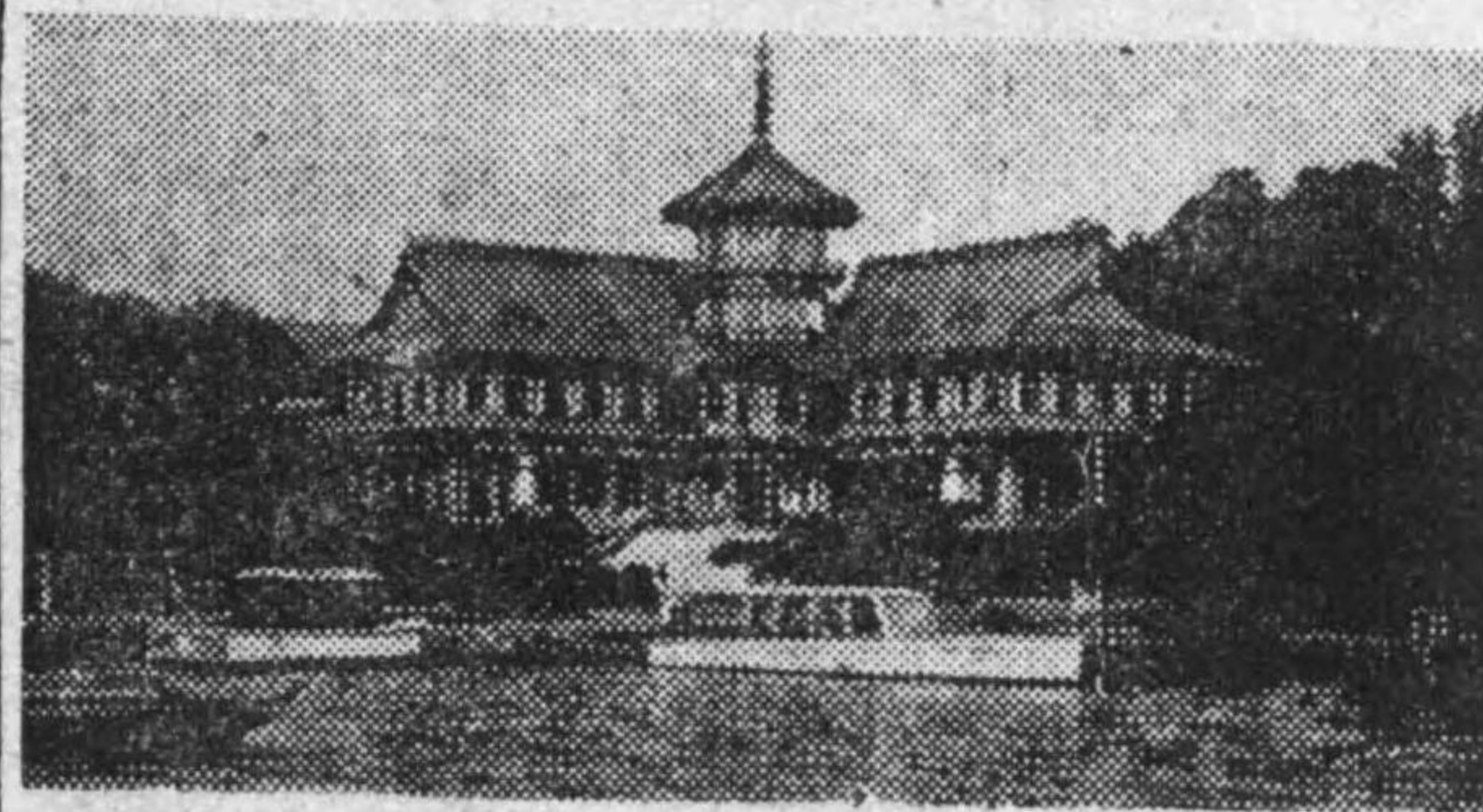
芭蕉ノ辻

電話一七九九三番

御泊りと御休憩
は御食事は

パターホテ

電話代表(島松)三五番



貸事務室の御需めに應ず

仙臺商工ビル

仙臺市大町五丁目 電話四七五〇番

タイピストの健康と事務能率の増進に理想的なる

菅沼パイプライター

(型録進呈)

日滿華蒙
文文文文
各種

菅沼パイプライター
仙臺出張所
仙臺市大町五丁目(仙臺商工ビル内)
電話四七五〇番

紀念品・贈答品に最適

工 金屬材料研究所
藝 指導所 御指導

仙臺特産

玉蟲塗工藝品

並-K.S磁石罏

仙臺市大町五丁目(仙臺商工ビル内)

東北工藝製作所

電話四七五〇番

後付 六

送配電線路
屋內電氣一般工
其他電氣工
其 他 電 氣 工 事 請 負

仙臺驛前

電氣器具材料販賣
諸機械器具材料販賣

電話 四六一番
三二四六番

佐藤電氣工業所

土木建築請負業

阿久津

代表社員 阿久津 初太郎
事務所 仙臺市東七番丁 電話三四五〇番
仙臺市國分町六 電話一一五四番

後付 七

貯蓄トシテ有利確實
金融トシテ信用月賦償還

東北無盡株式會社

本社 仙臺市國分町(肴町角)
出張所 宮城縣下十八ヶ所

後付 八

御結婚御見合御記念の

御寫眞は

大武寫眞館

仙臺市東一番丁

電話(代表)二九四二番

御婚禮御見合御着附

其他美容一般

菅原美容院

仙臺市東一番丁二四

電話一五三四番



株式會社 塩釜通運

營業種目

運送 運送 運送 運送 運送
運送 運送 運送 運送 運送
運送 運送 運送 運送 運送

宮城縣鹽釜町字千賀浦十一番地

鹽釜驛前
鐵道省指定運送取扱人
稅關貨物取扱免許人

營業課 三三番
雜貨發送部 六六番
鮮魚部 二〇三番
卸部 四九番
應務會計部 一二九番
電話(〇ツ)又ハ(ツ) 振替仙臺八五四番

宮城縣鹽釜港驛前

株式會社 塩釜通運 港支店

電話(二一三番)三八七番

本社 仙臺市元寺小路 電話一、三五六番

森永製品東北販賣株式會社

社長 若生直治

工場 仙臺市原町(電話一、六四八番)

出張所 山形市六日町(電話六八四番)
福島市荒町(電話九八九番)

販賣所 若松市馬場一ノ堅町(電話八五九番)
米澤市門東町(電話三五一番)

後付 九

資本金貳拾萬圓

大洋無盡株式會社

仙臺市東五番丁二六

電話 三八四九七番

後付一〇



株式會社

服部紙店

仙臺支店

仙臺市分町五丁目一七八
電話一三九七番三三三番七三番五五番一
振替口 仙臺 六七二番

本

店

東京市日本橋本町二丁目四番地

電話 四四四四番

電話 四四四四番

電話 四四四四番

電話 四四四四番

札

幌

支

店

振替口 東京

電話 四四四四番

電話 四四四四番

電話 四四四四番

電話 四四四四番

旭

川

出張所

電話 三三三番

電話 三三三番

電話 三三三番

電話 三三三番

電話 三三三番

電話 三三三番

營業品目

重油、輕油、石油、礦油、揮發油、植物油其他諸油、肥料、魚油、船具塗料、豆炭、煉炭、其他雜貨空罐賣買



株式會社

鹽

釜

商

會

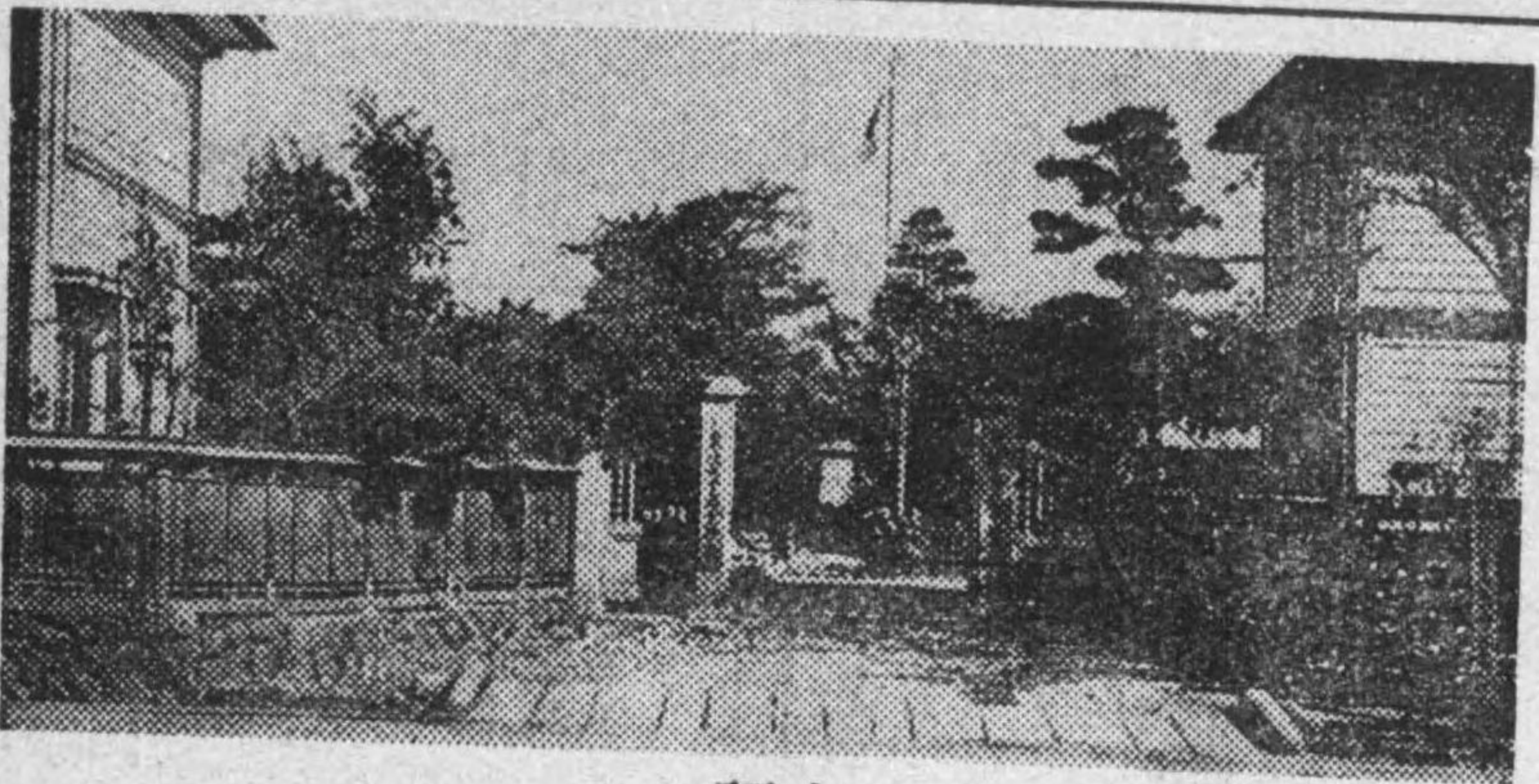
ライオン石油株式會社
小倉石油株式會社
日本油脂株式會社
大日本煉炭株式會社

代理店

出張所 女川町、釜石市、大槌町、宮古町
陸前鹽釜港
電話 〇三三三番
電話 〇三三三番
電話 〇三三三番
電話 〇三三三番

宮城縣鹽釜町役場

後付一一



創立 明治三十六年十月廿七日
 創立以降三十七年 卒業生九千貳百餘名
特典 縫裁科、中等教員無試験檢定
〔高師卒業者ハ專正
 資格ヲモ併セ受領〕
 中等教員免許狀受領者四百三十餘名
〔自高等師範科第一回卒業生
 至昭和十五年三月第十三回卒業生〕
 財團法人三島學園

校長 三島よし
 教職員七十餘名

文部大臣
 認可

東北女子職業學校

仙臺市清水小路

電話 六八五番

- 各科**
- 本科 二年 一〇〇名
 - 師範科 二年 一〇〇名
 - 裁縫專修科 一〇〇名
 - 高等師範科 一年 八〇名
 - 專攻科 一五〇名
 - 商業科 一年 一〇〇名
 - 洋裁科 五〇名
 - 商業專修科 五〇名

校舎増築規模擴張 昭和十
 六年度 生徒募集人員約八百五十名

明治四十二年創立

仙臺市清水小路二十番地



仙臺瓦斯株式會社

電話 一六六番
 四二七八

取締役社長 佐藤十兵衛
 同 支配人 淺井忠之助
 同 技師 村上倉治

日本 松島遊覽ト
 三景 鹽釜神社
 奥州 一ノ宮
 靈島 金華山 參拜ハ

宮城電鐵デ

風光 觀光バス

鹽釜、松島間ドライブウェイ連轉

日本一ノ臨海電車トバスデ短時間ニ經濟的ニ
 御愉快ニ御見物御參拜ガ出來マス

仙臺市裏五番丁一九

宮城電氣鐵道會社

電話 一五〇・一三三七番

仙臺

金華山

宮電
 石巻

松島
 公園

本塩釜

宮城縣鹽釜港(港橋際)

日本石油株式會社代理店

石油株式會社 龜井商店

電話 一五九・二五九番 交換臺 振替仙臺七五七番

營業課目

石油部
飲料水・雜貨部
米穀部
魚油魚粕部
葯工品部
セメント部

鹽	門前出張所	電話四八番
	北濱油槽所	電話二四番
	代ヶ崎貯油所	電話專用線
釜	魚市場出張所	電話五五番
	築港精米所	電話四二番
	西埠頭倉庫	電話七四番
石	卷油槽所	電話六九〇番
	女川油槽所	電話四三番
	女川魚市場出張所	電話一三番
	仙臺自動車營業所	電話二七番
	氣仙沼出張所	電話二七番

氣仙沼油槽所	電話三九九番
釜石油槽所	電話三五番
宮古油槽所	電話一三四番
宮古魚市場出張所	電話四二番
八戶市鮫油槽所	電話七四〇番
八戶市湊出張所	電話三六番
八戶市湊驛前油槽所	電話一四六番
神奈川縣配給所	電話一四六番
三崎港	電話一四六番
浦賀港魚市場駐在員	電話一〇七番
福島小名濱駐在員	電話一〇七番

東北振興水產株式會社

八戶市鮫町 電話 五五五番

業務

遠洋漁業經營
罐詰水產加工業
小型漁船貸付

取締役社長	夏堀源三郎
取締役	河野榮藏
同	根市兼次郎
同	熊谷義雄
同	山中鍊治
同	菊谷龜吉
同	安田吉助
同	監查役

青森市新安方町

傳 千葉傳商店船舶部

青森市新安方町 電話二一七一

傳 青森水產株式會社

青森市浪打 電話二一七〇・二三五九

傳 千葉傳水產加工製造所

青森市長島町 電話二九三三五

商 千葉商事株式會社

電話二七八一



青森縣電氣局

(電三六二〇・三九三八・三九七七・二九八二・四三一五)

一、供給區域

青森縣一圓

二、業績 (昭和十四年度)

事業收入實績 四・三四八・五三六圓
同當初豫算 三・六五四・五八四圓
差引增收 六九三・九五二圓

工業適地青森縣

電力潤澤
資源豐富
資金低廉
工場適地廣大

局長 齋藤維一郎
總務課長 猪股 綱博
主任技術者 水無瀨 綱德

青森營業所 (電四・三三一四番)

弘前營業所 (電一五五・五六四番)

八戸營業所 (電九〇・九一四番)

五所川原營業所 (電二〇・九一四番)

七戸營業所 (電二四番)

田名部營業所 (電一七番)

鰺ヶ澤營業所 (電一七番)

秋田放送局
山形放送局

仙臺中央放送局

弘前放送局
盛岡放送局

社是

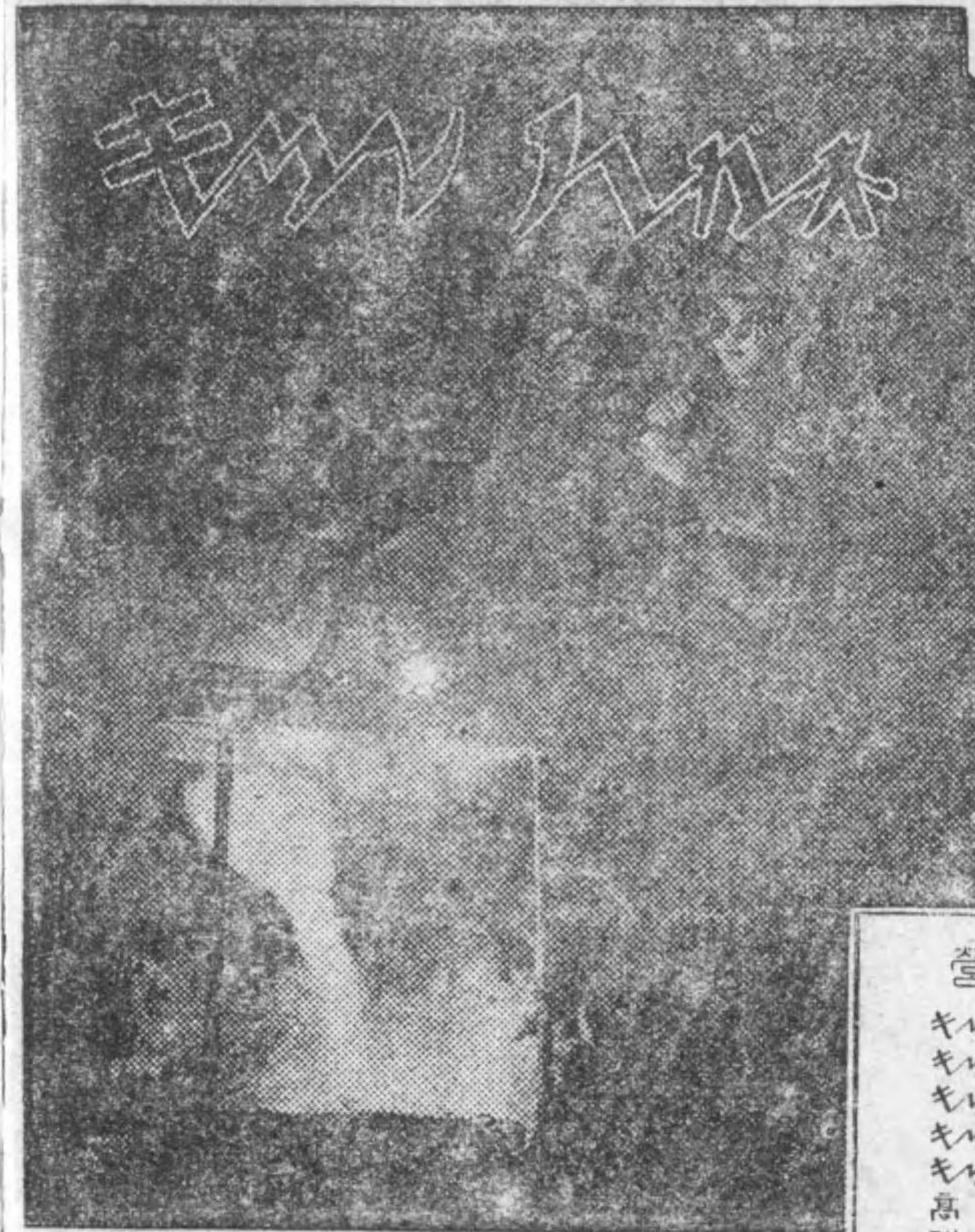
修德 鍊技
協心 戮力
至誠 報國

仙臺市郡山字諏訪脇南一〇

東北金屬工業株式會社

諏訪工場 仙臺市郡山字諏訪脇南一〇
長町工場 仙臺市長町字東裏北三〇
東京出張所 東京丸ノ内一丁目二住友ビル内

高級高速度鋼



カダログ贈呈

營業種目

- キルン超高速度鋼第一種
- キルン高速度鋼第二種
- キルン高速度鋼第三種
- キルン高速度鋼第四種
- キルン高速度鋼レイ種
- 高級特殊鋼
- 附刃ハイト
- 熔接ハイト
- 精密工具類

後付 三三

東北特殊鋼株式會社

本社工場

仙臺市長町〔電話(代表) 4887 4888, 4889〕
 設信略號 (ト又はトク)
 受信略號 (ナガマチトクシユコウ)
 郵便口座 仙臺二〇一六三

營業所

東京市麹町區丸ノ内三菱二十一號館
 電話丸ノ内 (23) 代表 5787
 大阪市西區江戸堀北通五丁目
 電話土佐堀 (44) 代表 4021 4022

仙臺東一番丁

鐘測製品

東北販賣店

電話 二六五四五六番
 電話 二六五四五六番

後付 三三

仙臺東一番丁

鐘淵製品

東北販賣店

電話 二二五五六番

後付 二三

高級高速度鋼



カダログ掲載

営業種目

- キリン超高速鋼第一種
- キリン超高速鋼第二種
- キリン超高速鋼第三種
- キリン超高速鋼第四種
- キリン超高速鋼第五種
- 高級特殊鋼
- 鋼材加工
- 鋼材密着

後付 二三

東北特殊鋼株式會社

本社工場

仙臺市基町(電話(代表)4887 4888 4889)
 製造所(トキハトク)
 受領所(ナガマチトクシエコウ)
 事務所(仙臺)二〇一六三

營業所

東京市麹町區丸の内三番二十一號
 電話丸の内(23)代番5787
 大阪市西區江戸堀北通五丁目
 電話土佐堀(64)代番4021 4022

14.4
1081

株式會社 **日本勸業銀行**

不動產抵當貸付 (田畑、宅地建物、各種財團)
 無抵當貸付 (公共團體、各種組合)
 手形割引 (國債、地方債、勸債擔保)
 短期貸付 (公共團體一時借入)
 預金有價證券保護預り

山形支店	鶴岡支店	秋田支店	仙臺支店	盛岡支店	青森支店
山形市七日町	鶴岡市馬場町	秋田市大町	仙臺市東二番丁	盛岡市本町	青森市米町

支店所在地

縣外 (東京市日本橋區茅場町一丁目一四(東京支店)
 福島縣平町、相馬原町、中村町
 仙臺市内 (名掛丁、國分町、二日町、木町通、新傳馬町
 元寺小路、宮町、荒町、河原町、原町)

仙臺市大町

電話代表四、五〇〇番

日本銀行
代理店



株式會社 **七十七銀行**

取締役頭取 氏家清吉
 副頭取 中村梅三
 專務取締役 木村清五郎
 常務取締役 山田万七

縣内支店 (石巻、鹽釜、青川、氣仙沼、若槻、角田、中新田、渡波、大河原、吉岡、
 岩手、盛岡、小生田、紫館、佐野、飯野川、志津川、耳垣、田尻、岩手、
 所在地 (稗、中津山、丸、高水、増田、岩沼、槻木、村田、白石、松島)

終



Y1.00